
富士市

転入者アンケート調査 結果報告書

令和6年(2024年)12月

富士市

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本市に転入してきた人から、本市へ転入した理由や転入後の暮らしに関する状況等を伺い、今後の移住定住推進事業の参考にするため、アンケート調査を実施した。

2. 調査概要

調査対象	2019年8月1日～2024年7月31日の期間に本市に転入した人の中から無作為抽出した1,300人
調査方法	・対象者に回答依頼文書を郵送配布 ・インターネットによる無記名の匿名回答
調査期間	2024年9月26日～2024年10月25日 ※発送日～回答締切日
回収数	390件(依頼書送付件数:1,300件)
回収率	30%

3. その他

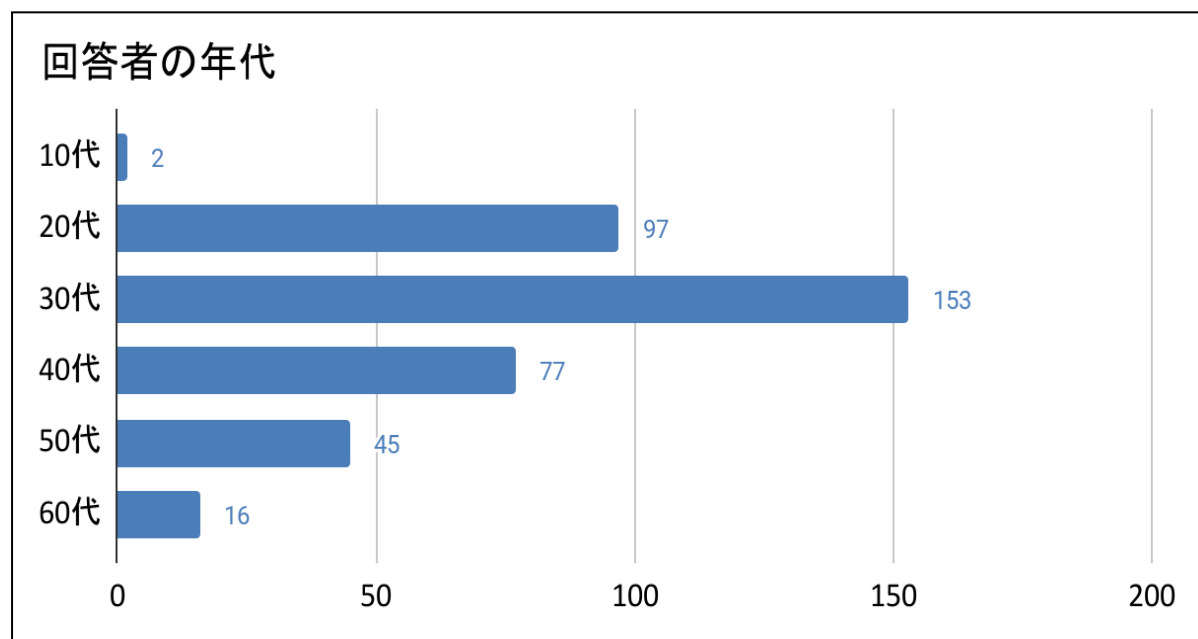
- ・調査の企画・分析は、総務部シティプロモーション課移住定住推進室が実施した。
- ・基数となるべき実数は、各設問に対する有効回答数である。
- ・複数回答の設問では、割合の合計が100%を超える。

第2章 単純集計の結果

問1. あなたの年齢を教えてください。

年齢	回答数	割合
18～19歳	2	0.5%
20～24歳	24	6.2%
25～29歳	73	18.7%
30～34歳	84	21.5%
35～39歳	69	17.7%
40～44歳	47	12.1%
45～49歳	30	7.7%
50～54歳	24	6.2%
55～59歳	21	5.4%
60～64歳	8	2.1%
65～69歳	8	2.1%
総計	390	-

年代	回答数	割合
10代	2	0.5%
20代	97	24.9%
30代	153	39.2%
40代	77	19.7%
50代	45	11.5%
60代	16	4.1%
総計	390	-

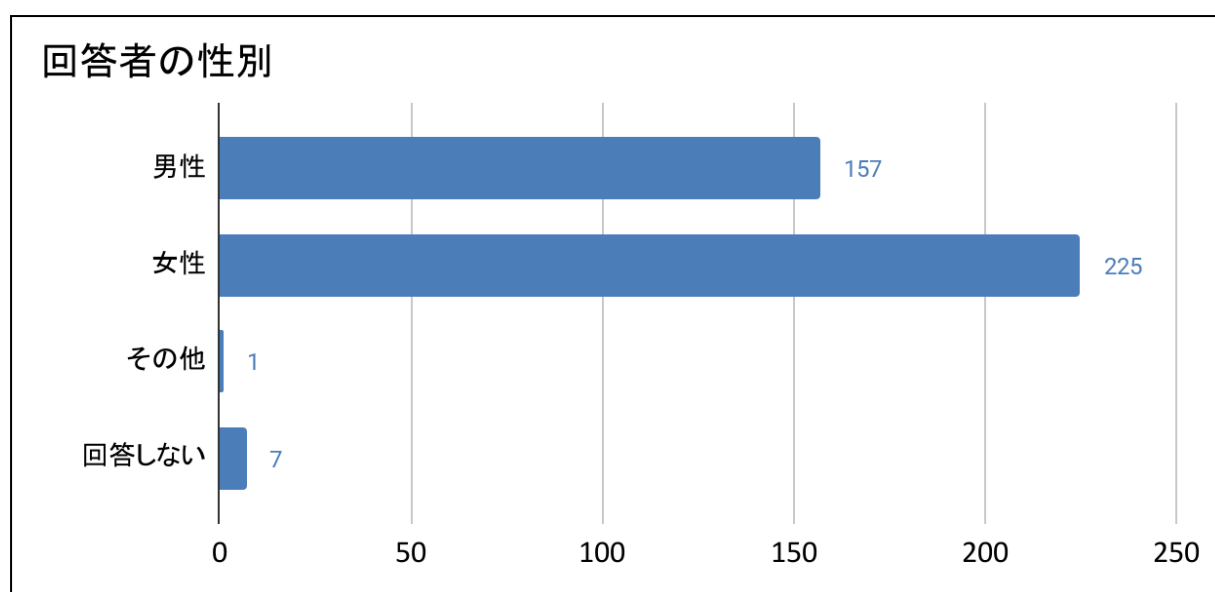


▼解説

「30代」が153件 (39.2%) と最も多く、次いで「20代」が97件 (24.9%)、「40代」が77件 (19.7%) だった。

問2. あなたの性別を教えてください。

性別	回答数	割合
男性	157	40.3%
女性	225	57.7%
その他	1	0.3%
回答しない	7	1.8%
総計	390	-



▼解説

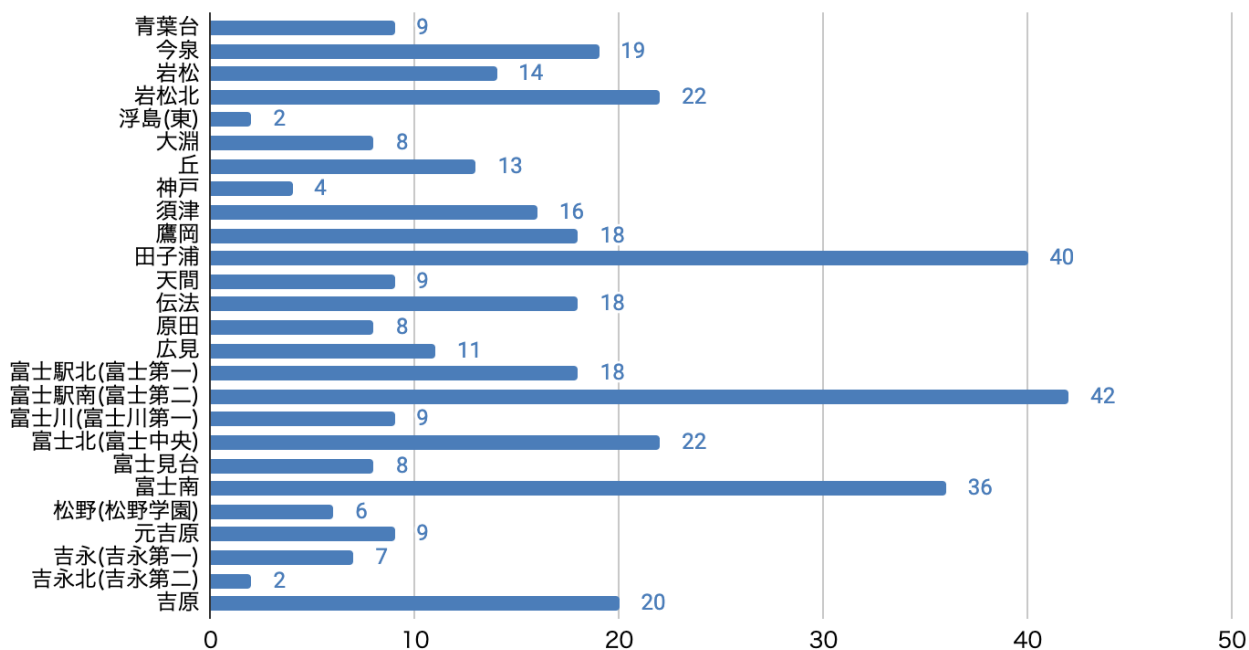
「女性」が225件(57.7%)と半数以上を占めており、次いで「男性」が157件(40.3%)、「回答しない」が7件(1.8%)、「その他」が1件(0.3%)だった。

問3. あなたのお住まいの地区を教えてください。(地区が分からない場合は最寄りの小学校名)

お住まいの地区	回答数	割合
青葉台	9	2.3%
今泉	19	4.9%
岩松	14	3.6%
岩松北	22	5.6%
浮島(東)	2	0.5%
大淵	8	2.1%
丘	13	3.3%
神戸	4	1.0%
須津	16	4.1%
鷹岡	18	4.6%
田子浦	40	10.3%
天間	9	2.3%
伝法	18	4.6%

お住まいの地区	回答数	割合
原田	8	2.1%
広見	11	2.8%
富士駅北(富士第一)	18	4.6%
富士駅南(富士第二)	42	10.8%
富士川(富士川第一)	9	2.3%
富士北(富士中央)	22	5.6%
富士見台	8	2.1%
富士南	36	9.2%
松野(松野学園)	6	1.5%
元吉原	9	2.3%
吉永(吉永第一)	7	1.8%
吉永北(吉永第二)	2	0.5%
吉原	20	5.1%
総計	390	-

お住まいの地区



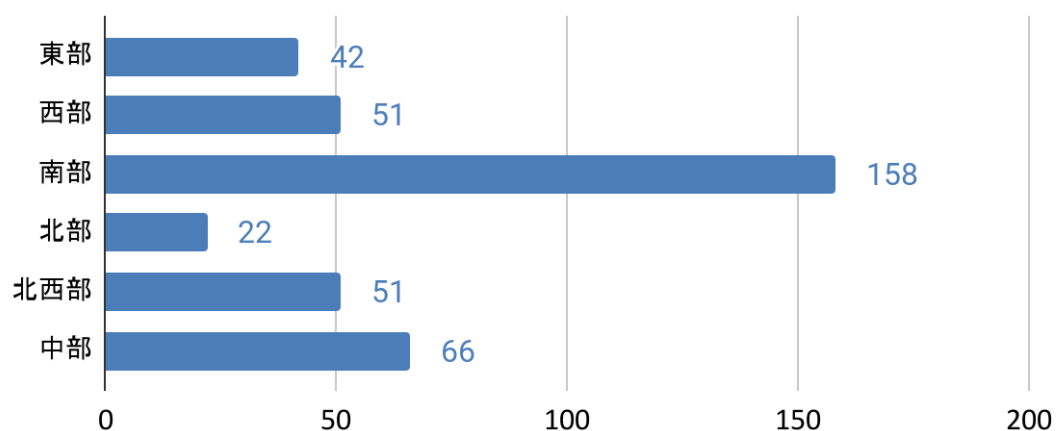
▼解説

「富士駅南(富士第二)」が42件(10.8%)と最も多く、次いで「田子浦」が40件(10.3%)、「富士南」が36件(9.2%)だった。

現在の居住区(エリア区分別)

エリア区分	回答数	割合	(まちづくりセンターのブロック単位)
東部	42	10.8%	吉永、元吉原、須津、浮島、原田
西部	51	13.1%	岩松、岩松北、富士川、松野
南部	158	40.5%	富士駅北、富士北、富士駅南、田子浦、富士南
北部	22	5.6%	富士見台、神戸、吉永北、大淵
北西部	51	13.1%	鷹岡、広見、天間、丘
中部	66	16.9%	吉原、伝法、今泉、青葉台
総計	390	-	

お住まいの地区(エリア区分別)

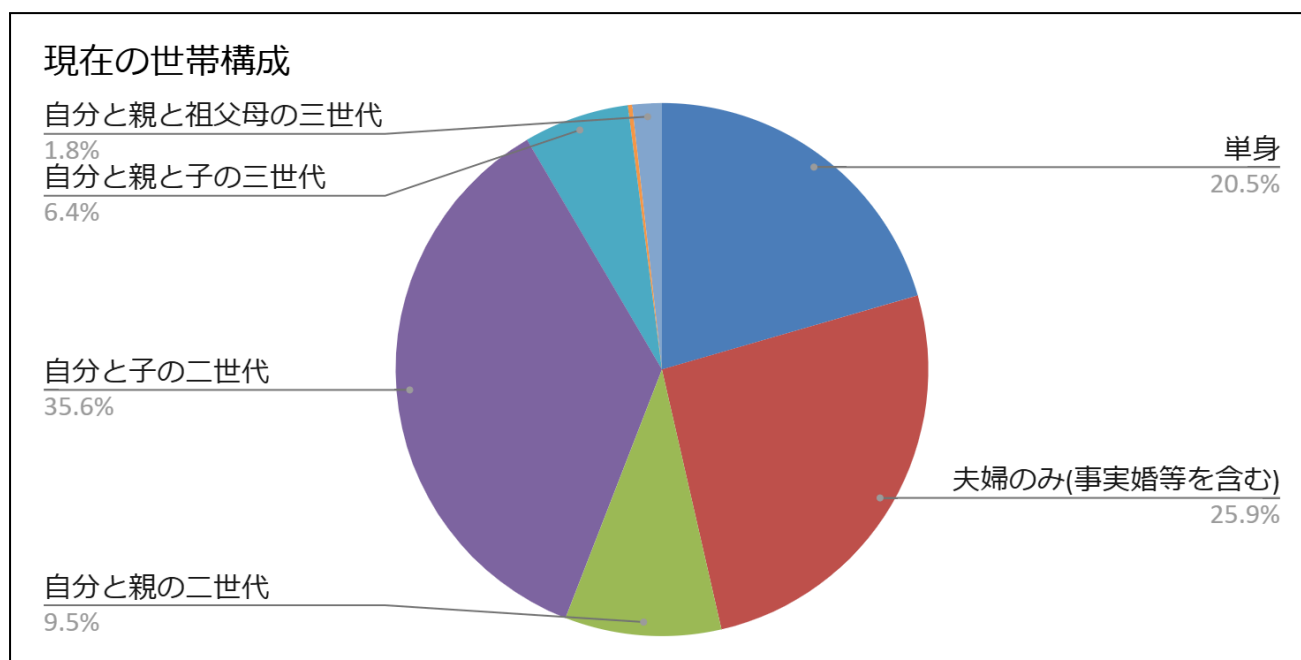


▼解説

「南部(富士駅北、富士北、富士駅南、田子浦、富士南)」が158件(40.5%)と最も多く、次いで「中部(吉原、伝法、今泉、青葉台)」が66件(16.9%)、「西部(岩松、岩松北、富士川、松野)」と「北西部(鷹岡、広見、天間、丘)」が51件(13.1%)だった。

問4. 現在のあなたの世帯構成を教えてください。

現在の世帯構成	回答数	割合
単身	80	20.5%
夫婦のみ(事実婚等を含む)	101	25.9%
自分と親の二世帯	37	9.5%
自分と子の二世帯	139	35.6%
自分と親と子の三世帯	25	6.4%
自分と子と孫の三世帯	1	0.3%
自分と親と祖父母の三世帯	7	1.8%
自分と親と子と孫の四世代	0	0.0%
総計	390	-

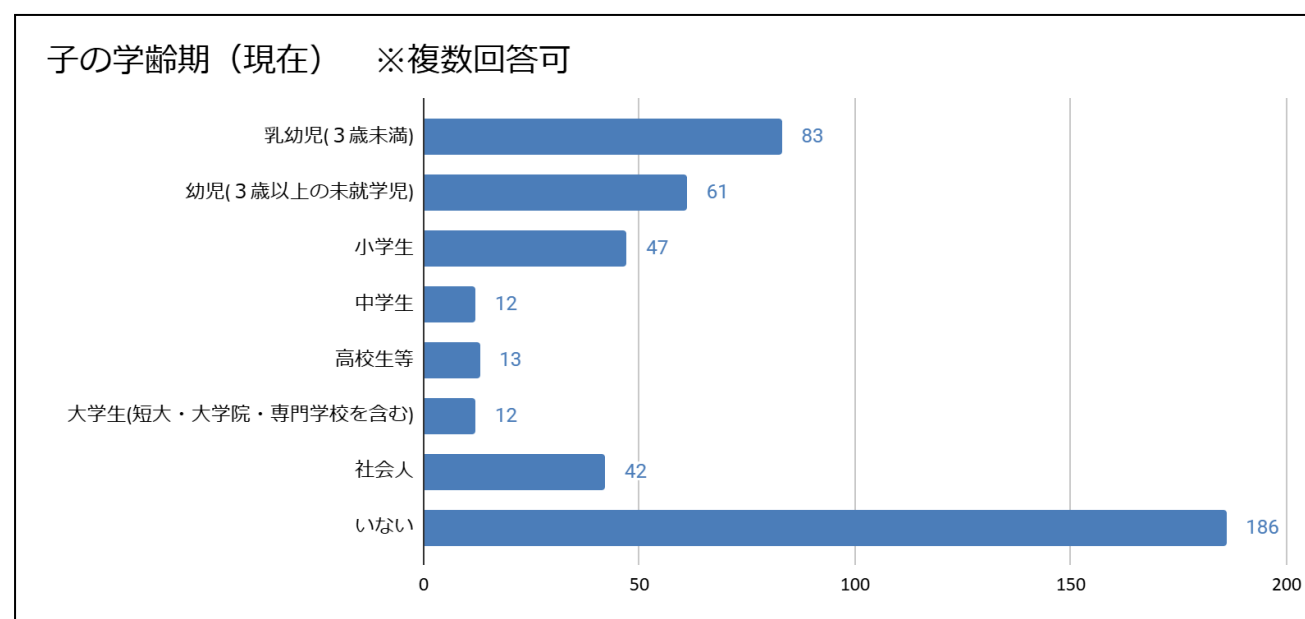


▼解説

「自分と子の二世帯」が139件(35.6%)と最も多く、次いで「夫婦のみ(事実婚等を含む)」が101件(25.9%)、「単身」が80件(20.5%)だった。

問5. 現在お子さんはどちらに当てはまりますか。(2人以上のお子さんがある場合は、該当する項目をすべて選択してください)

子の学齢期(現在) ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
乳幼児(3歳未満)	83	18.2%
幼児(3歳以上の未就学児)	61	13.4%
小学生	47	10.3%
中学生	12	2.6%
高校生等	13	2.9%
大学生(短大・大学院・専門学校を含む)	12	2.6%
社会人	42	9.2%
いない	186	40.8%
回答総数	456	-
回答者数	390	-



▼解説

「いない」が186件(40.8%)と最も多く、次いで「乳幼児(3歳未満)」が83件(18.2%)、「幼児(3歳以上の未就学児)」が61件(13.4%)だった。

問6.7 富士市へ転入した時期を教えてください。(年・月)

転入時期(年月別)

年月	回答数	割合
2019年3月	3	0.8%
2019年4月	2	0.5%
2019年5月	2	0.5%
2019年6月	1	0.3%
2019年7月	1	0.3%
2019年8月	8	2.1%
2019年9月	6	1.5%
2019年10月	6	1.5%
2019年11月	4	1.0%
2019年12月	3	0.8%
2020年1月	1	0.3%
2020年2月	5	1.3%
2020年3月	12	3.1%
2020年4月	12	3.1%
2020年5月	6	1.5%
2020年6月	7	1.8%
2020年7月	5	1.3%
2020年8月	3	0.8%
2020年9月	4	1.0%
2020年10月	7	1.8%
2020年11月	3	0.8%
2020年12月	5	1.3%

年月	回答数	割合
2021年1月	1	0.3%
2021年2月	11	2.8%
2021年3月	12	3.1%
2021年4月	15	3.8%
2021年5月	3	0.8%
2021年6月	4	1.0%
2021年7月	10	2.6%
2021年8月	3	0.8%
2021年9月	7	1.8%
2021年10月	6	1.5%
2021年11月	4	1.0%
2021年12月	4	1.0%
2022年1月	2	0.5%
2022年2月	3	0.8%
2022年3月	26	6.7%
2022年4月	14	3.6%
2022年5月	3	0.8%
2022年6月	4	1.0%
2022年7月	8	2.1%
2022年8月	3	0.8%
2022年9月	4	1.0%
2022年10月	6	1.5%
2022年11月	6	1.5%
2022年12月	5	1.3%

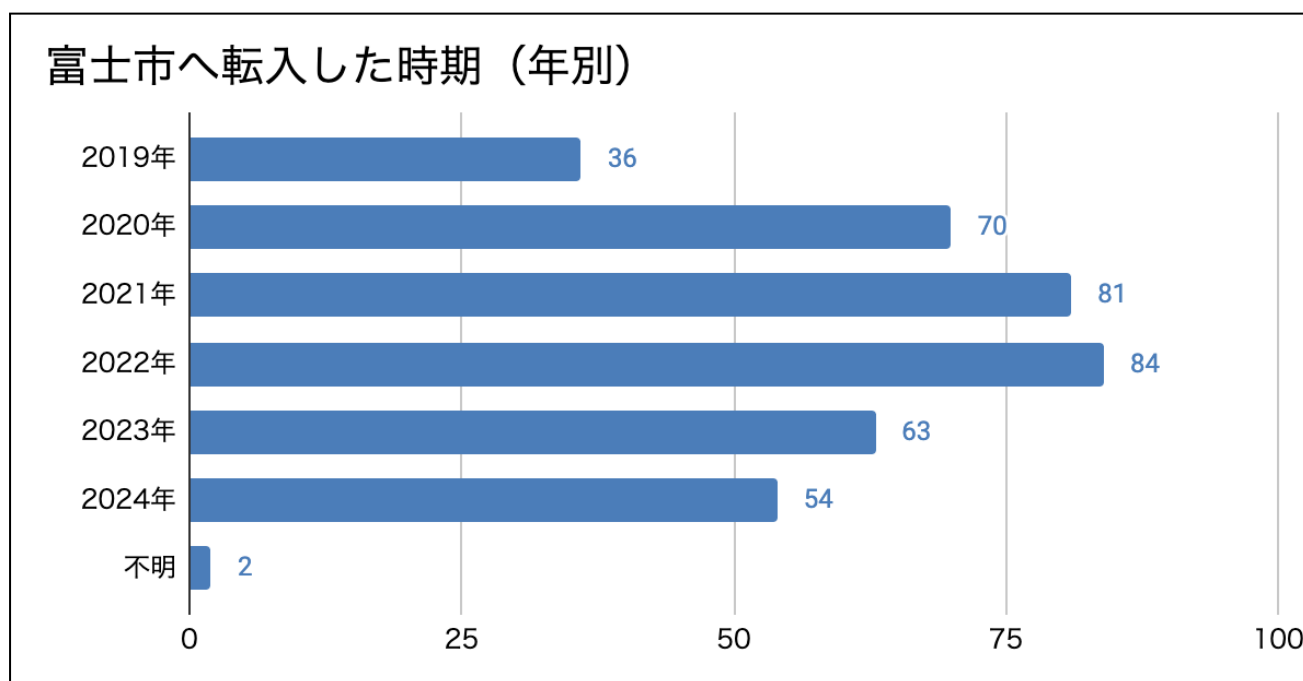
年月	回答数	割合
2023年1月	2	0.5%
2023年2月	4	1.0%
2023年3月	12	3.1%
2023年4月	13	3.3%
2023年5月	4	1.0%
2023年6月	5	1.3%
2023年7月	5	1.3%
2023年8月	1	0.3%
2023年9月	5	1.3%
2023年10月	5	1.3%
2023年11月	3	0.8%
2023年12月	4	1.0%
2024年1月	7	1.8%
2024年2月	4	1.0%
2024年3月	12	3.1%
2024年4月	11	2.8%
2024年5月	6	1.5%
2024年6月	5	1.3%
2024年7月	9	2.3%
2021年 月 不明	1	0.3%
年不明 4月	1	0.3%
不明	1	0.3%
総計	390	-

▼解説

「2022年3月」が26件(6.7%)と最も多く、次いで「2021年4月」が15件(3.8%)、「2022年4月」が14件(3.6%)だった。

転入時期（年別）

転入年	回答数	割合
2019年	36	9.2%
2020年	70	17.9%
2021年	81	20.8%
2022年	84	21.5%
2023年	63	16.2%
2024年	54	13.8%
不明	2	0.5%
総計	390	-



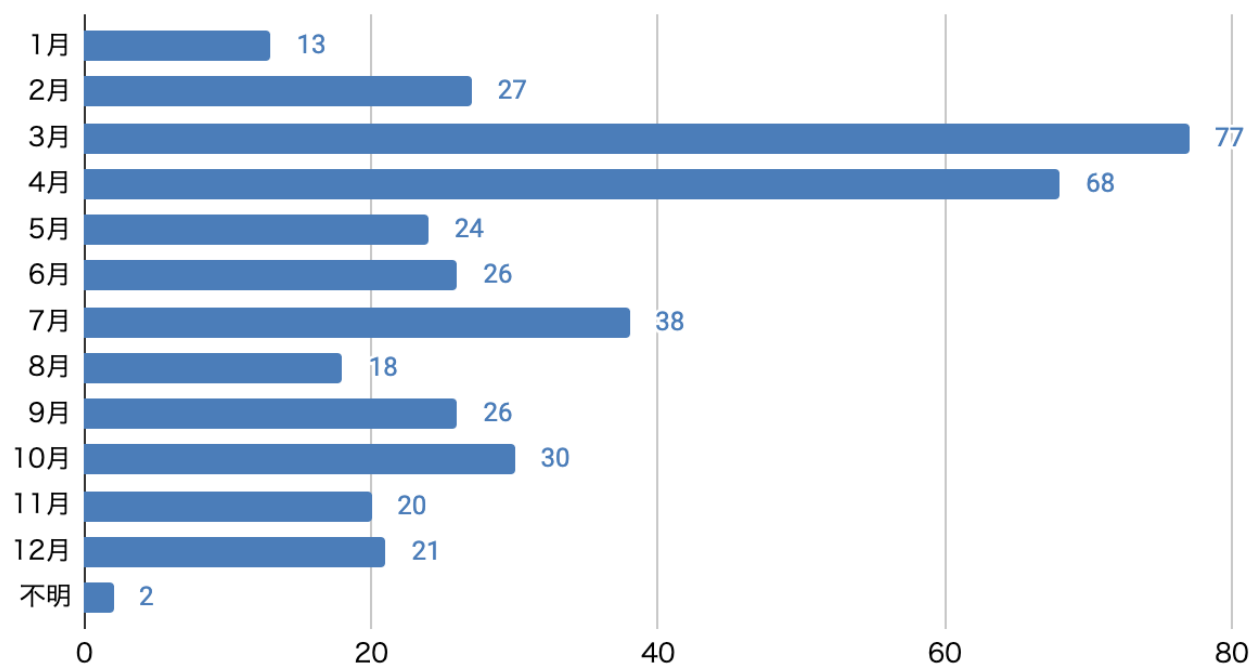
▼解説

「2022年」の84件（21.5%）が最も多く、次いで「2021年」の81件（20.8%）、「2020年」の70件（17.9%）だった。

転入時期（月別）

転入月	回答数	割合	転入月	回答数	割合
1月	13	3.3%	8月	18	4.6%
2月	27	6.9%	9月	26	6.7%
3月	77	19.7%	10月	30	7.7%
4月	68	17.4%	11月	20	5.1%
5月	24	6.2%	12月	21	5.4%
6月	26	6.7%	不明	2	0.5%
7月	38	9.7%	総計	390	-

富士市へ転入した時期（月別）



▼解説

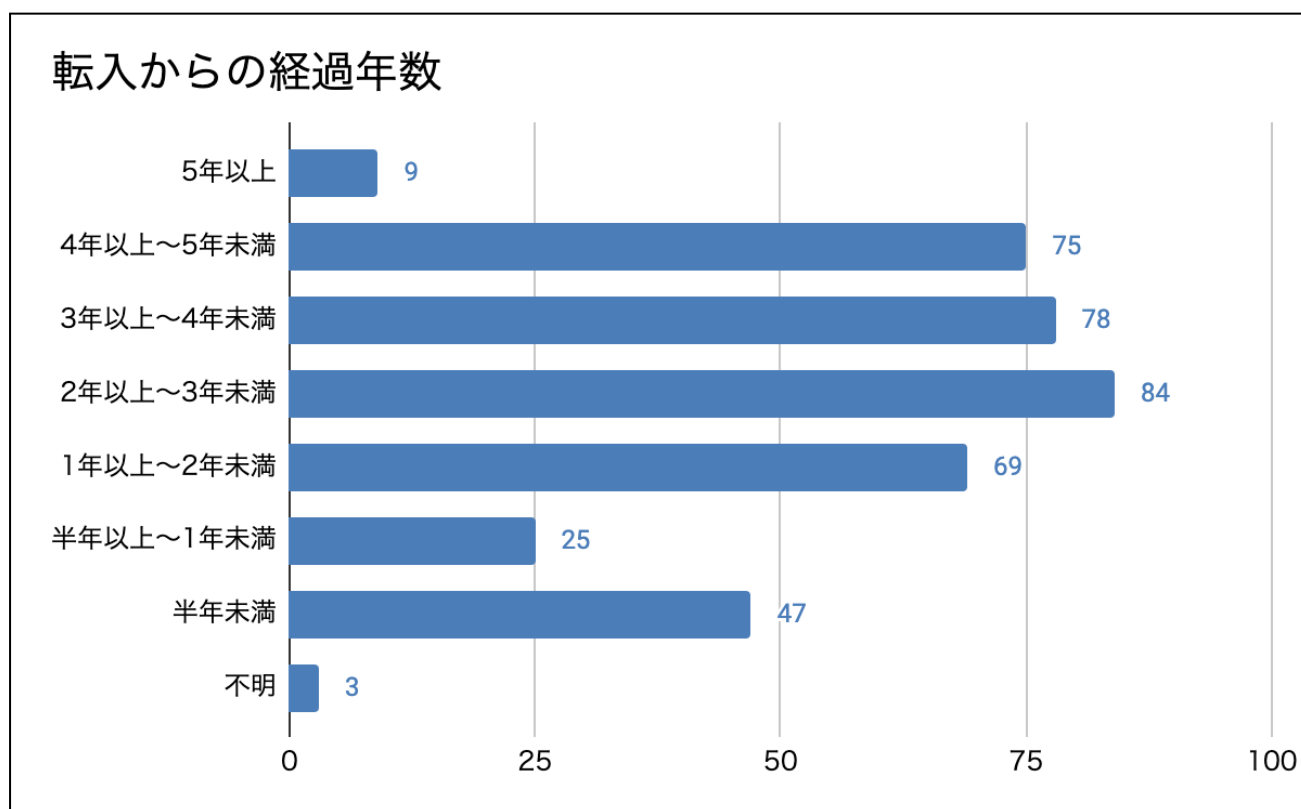
「3月」が77件(19.7%)と最も多く、次いで「4月」が68件(17.4%)、「7月」が38件(9.7%)だった。

▼考察

「3月」と「4月」は卒業・入学・就職による転居が考えられる。「7月」は、夏休みの長期休暇に合わせた転居や、9月始業である海外からの帰国に合わせた転居の可能性が考えられる。

転入時期(経過年数)

経過年数	回答数	割合
5年以上	9	2.3%
4年以上～5年未満	75	19.2%
3年以上～4年未満	78	20.0%
2年以上～3年未満	84	21.5%
1年以上～2年未満	69	17.7%
半年以上～1年未満	25	6.4%
半年未満	47	12.1%
不明	3	0.8%
総計	390	-



▼解説

「2年以上～3年未満」が84件(21.5%)と最も多く、次いで「3年以上～4年未満」が78件(20.0%)、「4年以上～5年未満」が75件(19.2%)だった。

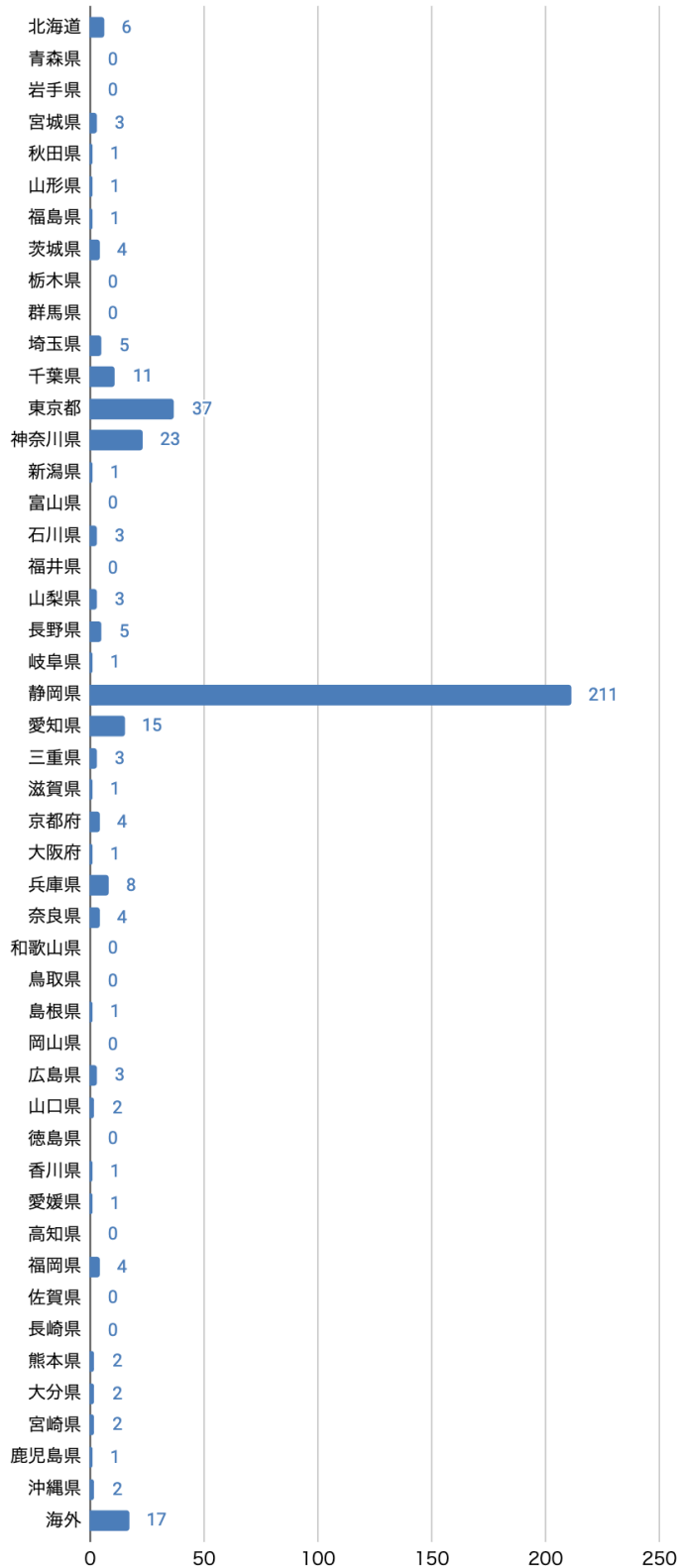
問8. あなたの転居前の居住地を教えてください。

転居前の居住地(都道府県別)

転居前の居住地(都道府県)	回答数	割合
北海道	6	1.5%
青森県	0	0.0%
岩手県	0	0.0%
宮城県	3	0.8%
秋田県	1	0.3%
山形県	1	0.3%
福島県	1	0.3%
茨城県	4	1.0%
栃木県	0	0.0%
群馬県	0	0.0%
埼玉県	5	1.3%
千葉県	11	2.8%
東京都	37	9.5%
神奈川県	23	5.9%
新潟県	1	0.3%
富山県	0	0.0%
石川県	3	0.8%
福井県	0	0.0%
山梨県	3	0.8%
長野県	5	1.3%
岐阜県	1	0.3%
静岡県	211	54.1%
愛知県	15	3.8%
三重県	3	0.8%

転居前の居住地(都道府県)	回答数	割合
滋賀県	1	0.3%
京都府	4	1.0%
大阪府	1	0.3%
兵庫県	8	2.1%
奈良県	4	1.0%
和歌山県	0	0.0%
鳥取県	0	0.0%
島根県	1	0.3%
岡山県	0	0.0%
広島県	3	0.8%
山口県	2	0.5%
徳島県	0	0.0%
香川県	1	0.3%
愛媛県	1	0.3%
高知県	0	0.0%
福岡県	4	1.0%
佐賀県	0	0.0%
長崎県	0	0.0%
熊本県	2	0.5%
大分県	2	0.5%
宮崎県	2	0.5%
鹿児島県	1	0.3%
沖縄県	2	0.5%
海外	17	4.4%
総計	390	-

転居前の居住地（都道府県）



▼解説

「静岡県」が211件 (54.1%)と半数以上を占めており、次いで「東京都」が37件 (9.5%)、「神奈川県」が23件 (5.9%)だった。

転居前の居住地(市区町村別)

転居前の居住地 (都道府県/市町村)	回答数	割合
北海道網走市	1	0.3%
北海道白老郡白老町	1	0.3%
北海道札幌市	2	0.5%
北海道釧路市	1	0.3%
北海道 市町村不明	1	0.3%
宮城県仙台市	2	0.5%
宮城県石巻市	1	0.3%
秋田県にかほ市	1	0.3%
山形県米沢市	1	0.3%
福島県いわき市	1	0.3%
茨城県神栖市	1	0.3%
茨城県守谷市	1	0.3%
茨城県つくば市	1	0.3%
茨城県 市町村不明	1	0.3%
埼玉県和光市	1	0.3%
埼玉県川口市	1	0.3%
埼玉県所沢市	1	0.3%
埼玉県戸田市	1	0.3%
埼玉県日高市	1	0.3%
千葉県野田市	1	0.3%
千葉県柏市	1	0.3%
千葉県船橋市	2	0.5%
千葉県千葉市	2	0.5%
千葉県成田市	1	0.3%
千葉県松戸市	1	0.3%
千葉県市原市	1	0.3%
千葉県浦安市	1	0.3%
千葉県 市町村不明	1	0.3%
東京都練馬区	1	0.3%
東京都墨田区	1	0.3%
東京都北区	3	0.8%
東京都文京区	1	0.3%

転居前の居住地 (都道府県/市町村)	回答数	割合
東京都品川区	1	0.3%
東京都板橋区	2	0.5%
東京都日野市	1	0.3%
東京都調布市	1	0.3%
東京都町田市	1	0.3%
東京都中央区	1	0.3%
東京都大田区	2	0.5%
東京都足立区	3	0.8%
東京都青梅市	2	0.5%
東京都世田谷区	6	1.5%
東京都昭島市	3	0.8%
東京都国分寺市	2	0.5%
東京都江東区	1	0.3%
東京都江戸川区	1	0.3%
東京都東村山市	1	0.3%
東京都 市町村不明	3	0.8%
神奈川県平塚市	1	0.3%
神奈川県南足柄市	1	0.3%
神奈川県藤沢市	1	0.3%
神奈川県大和市	1	0.3%
神奈川県川崎市	5	1.3%
神奈川県小田原市	2	0.5%
神奈川県鎌倉市	1	0.3%
神奈川県横浜市	6	1.5%
神奈川県厚木市	1	0.3%
神奈川県相模原市	1	0.3%
神奈川県 市町村不明	3	0.8%
新潟県長岡市	1	0.3%
石川県白山市	1	0.3%
石川県金沢市	1	0.3%
石川県野々市市	1	0.3%
山梨県都留市	1	0.3%

転居前の居住地 (都道府県/市町村)	回答数	割合
山梨県笛吹市	1	0.3%
山梨県甲府市	1	0.3%
長野県飯田市	1	0.3%
長野県上田市	1	0.3%
長野県松本市	1	0.3%
長野県塩尻市	1	0.3%
長野県長野市	1	0.3%
岐阜県瑞穂市	1	0.3%
静岡県牧之原市	1	0.3%
静岡県富士市	4	1.0%
静岡県富士宮市	41	10.5%
静岡県浜松市	13	3.3%
静岡県磐田市	4	1.0%
静岡県田方郡函南町	2	0.5%
静岡県熱海市	1	0.3%
静岡県島田市	3	0.8%
静岡県駿東郡長泉町	6	1.5%
静岡県袋井市	3	0.8%
静岡県静岡市	51	13.1%
静岡県賀茂郡西伊豆町	1	0.3%
静岡県裾野市	4	1.0%
静岡県焼津市	4	1.0%
静岡県沼津市	34	8.7%
静岡県賀茂郡松崎町	2	0.5%
静岡県駿東郡清水町	6	1.5%
静岡県周智郡森町	1	0.3%
静岡県三島市	6	1.5%
静岡県御殿場市	6	1.5%
静岡県湖西市	1	0.3%
静岡県掛川市	5	1.3%
静岡県賀茂郡南伊豆町	1	0.3%
静岡県賀茂郡河津町	1	0.3%

転居前の居住地 (都道府県/市町村)	回答数	割合
静岡県下田市	1	0.3%
静岡県伊豆市	4	1.0%
静岡県伊豆の国市	1	0.3%
静岡県伊東市	2	0.5%
静岡県 市町村不明	2	0.5%
愛知県名古屋	3	0.8%
愛知県豊橋市	1	0.3%
愛知県西尾市	1	0.3%
愛知県瀬戸市	3	0.8%
愛知県春日井市	2	0.5%
愛知県蒲郡市	1	0.3%
愛知県額田郡幸田町	1	0.3%
愛知県 市町村不明	3	0.8%
三重県四日市市	2	0.5%
三重県鈴鹿市	1	0.3%
滋賀県大津市	1	0.3%
京都府福知山市	1	0.3%
京都府相楽郡精華町	1	0.3%
京都府京都市	1	0.3%
京都府 市町村不明	1	0.3%

転居前の居住地 (都道府県/市町村)	回答数	割合
大阪府 市町村不明	1	0.3%
兵庫県宝塚市	1	0.3%
兵庫県姫路市	1	0.3%
兵庫県神戸市	3	0.8%
兵庫県高砂市	1	0.3%
兵庫県 市町村不明	2	0.5%
奈良県奈良市	1	0.3%
奈良県生駒市	1	0.3%
奈良県橿原市	1	0.3%
奈良県 市町村不明	1	0.3%
島根県江津市	1	0.3%
広島県東広島市	1	0.3%
広島県広島市	1	0.3%
広島県竹原市	1	0.3%
山口県岩国市	1	0.3%
山口県下関市	1	0.3%
香川県 市町村不明	1	0.3%
愛媛県四国中央市	1	0.3%
福岡県福岡市	4	1.0%
熊本県水俣市	1	0.3%

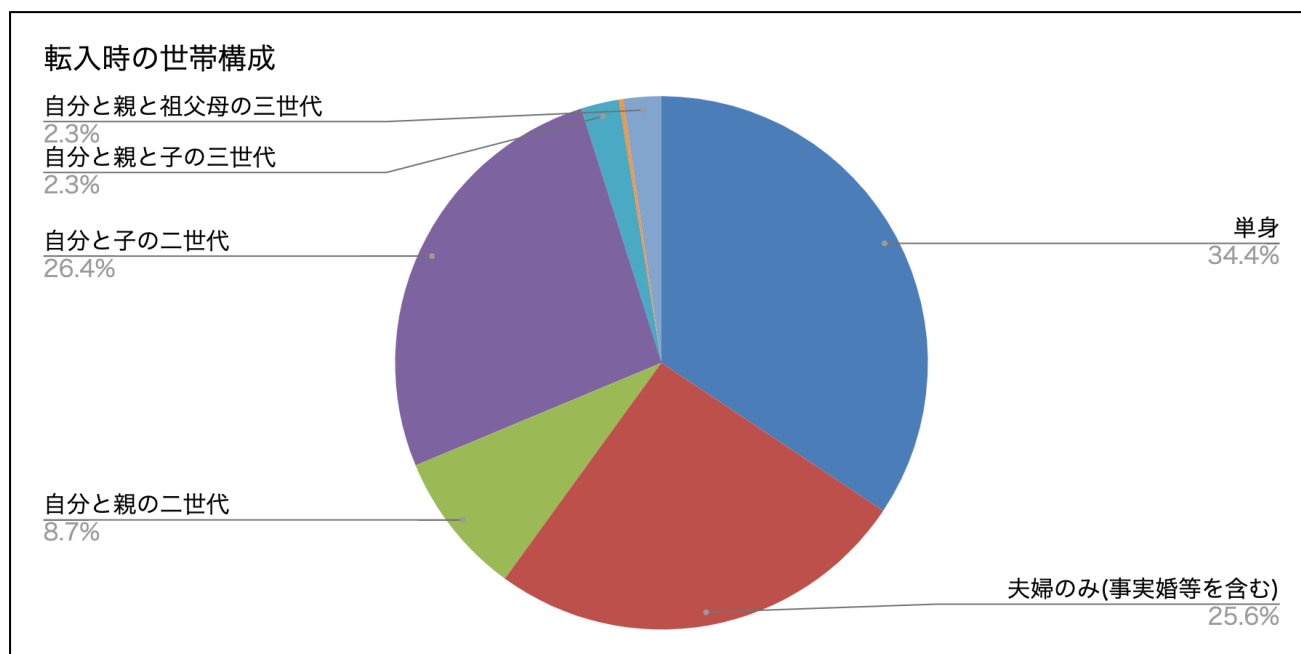
転居前の居住地 (都道府県/市町村)	回答数	割合
熊本県熊本市	1	0.3%
大分県中津市	1	0.3%
大分県大分市	1	0.3%
宮崎県延岡市	2	0.5%
鹿児島県鹿児島市	1	0.3%
沖縄県島尻郡南風原町	1	0.3%
沖縄県沖縄市	1	0.3%
中国蘇州	1	0.3%
中国 州不明	1	0.3%
タイ	1	0.3%
メキシコ アグアスカリエンテス市	2	0.5%
メキシコ 市町村不明	3	0.8%
ポーランド	1	0.3%
ドイツ デュッセルドルフ市	1	0.3%
シンガポール	1	0.3%
コロンビア ボゴタ	1	0.3%
オーストラリア	1	0.3%
海外 国不明	4	1.0%
総計	390	-

▼解説

「静岡県静岡市」が51件(13.1%)と最も多く、次いで隣市である「静岡県富士宮市」が41件(10.5%)、同じく隣市の「静岡県沼津市」が34件(8.7%)だった。

問9. 転入時のあなたの世帯構成を教えてください。

転入時の世帯構成	回答数	割合
単身	134	34.4%
夫婦のみ(事実婚等を含む)	100	25.6%
自分と親の二世帯	34	8.7%
自分と子の二世帯	103	26.4%
自分と親と子の三世帯	9	2.3%
自分と子と孫の三世帯	1	0.3%
自分と親と祖父母の三世帯	9	2.3%
自分と親と子と孫の四世代	0	0.0%
総計	390	-

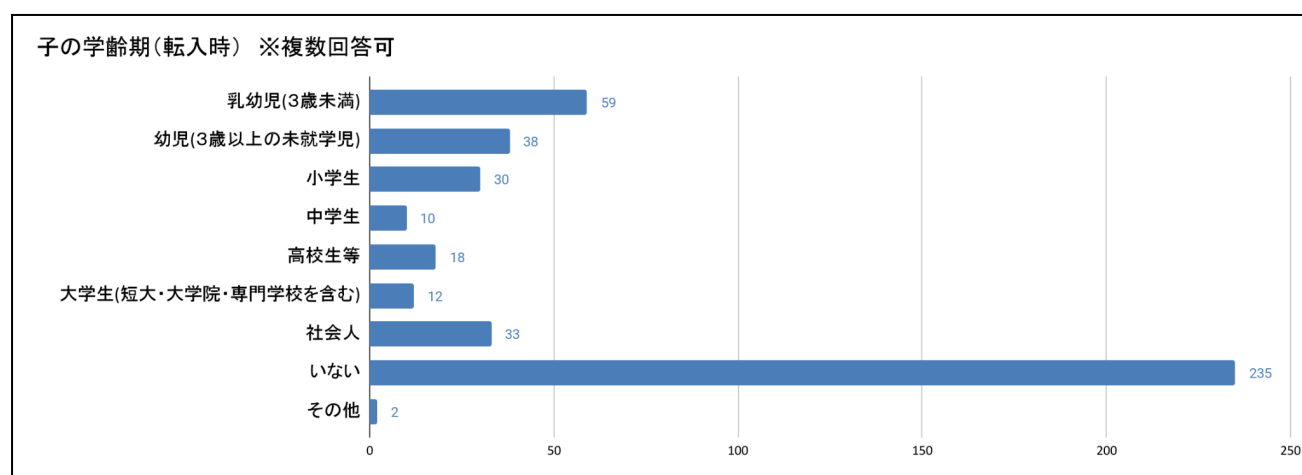


▼解説

「単身」が134件(34.4%)と最も多く、次いで「自分と子の二世帯」が103件(26.4%)、「夫婦のみ(事実婚等を含む)」が100件(25.6%)だった。

問10. 転入したときのお子さんはどちらに当てはまりますか。(2人以上のお子さんがいる場合は、該当する項目を全て選択してください)

子の学齢期(転入時) ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
乳幼児(3歳未満)	59	13.5%
幼児(3歳以上の未就学児)	38	8.7%
小学生	30	6.9%
中学生	10	2.3%
高校生等	18	4.1%
大学生(短大・大学院・専門学校を含む)	12	2.7%
社会人	33	7.6%
いない	235	53.8%
その他	2	0.5%
回答総数	437	-
回答者数	390	-



▼解説

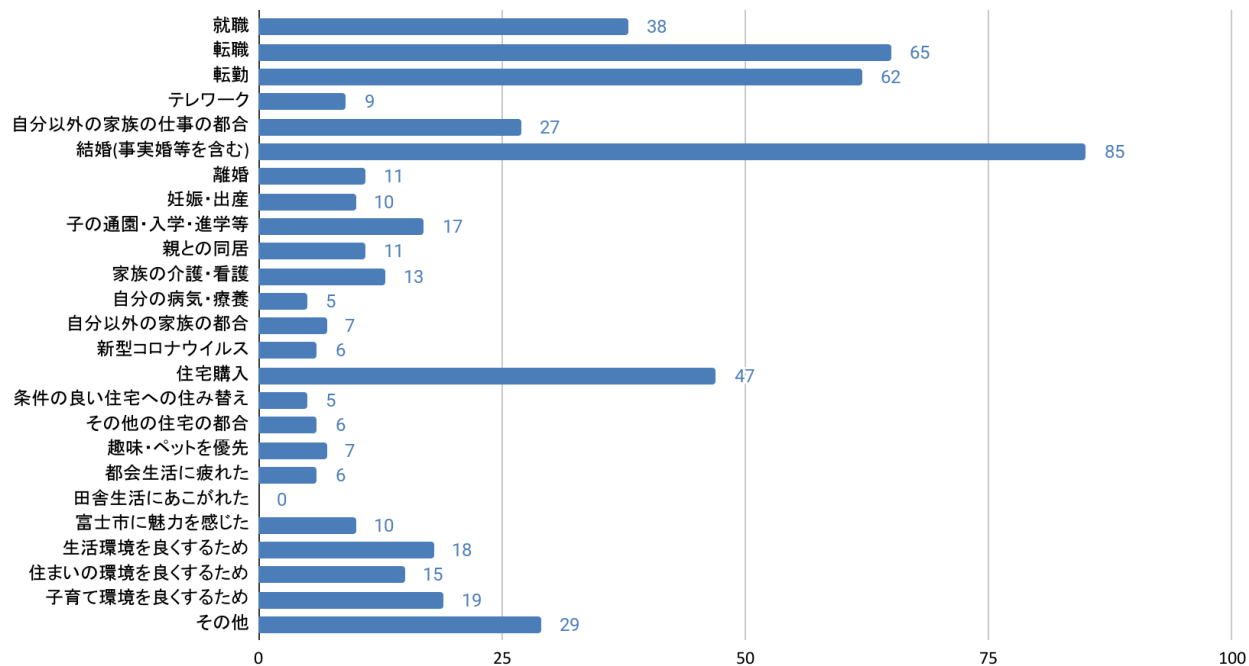
「いない」が235件(53.8%)と最も多く、次いで「乳幼児(3歳未満)」が59件(13.5%)、「幼児(3歳以上の未就学児)」が38件(8.7%)だった。

「その他」2件は「高校中退」だった。

問11. 転入のきっかけを教えてください。

転入のきっかけ ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
就職	38	9.7%
転職	65	16.7%
転勤	62	15.9%
テレワーク	9	2.3%
自分以外の家族の仕事の都合	27	6.9%
結婚(事実婚等を含む)	85	21.8%
離婚	11	2.8%
妊娠・出産	10	2.6%
子の通園・入学・進学等	17	4.4%
親との同居	11	2.8%
家族の介護・看護	13	3.3%
自分の病気・療養	5	1.3%
自分以外の家族の都合	7	1.8%
新型コロナウイルス	6	1.5%
住宅購入	47	12.1%
条件の良い住宅への住み替え	5	1.3%
その他の住宅の都合	6	1.5%
趣味・ペットを優先	7	1.8%
都会生活に疲れた	6	1.5%
田舎生活にあこがれた	0	0.0%
富士市に魅力を感じた	10	2.6%
生活環境を良くするため	18	4.6%
住まいの環境を良くするため	15	3.8%
子育て環境を良くするため	19	4.9%
その他	29	7.4%
回答総数	528	-
回答者数	390	-

転入のきっかけ ※複数選択可



▼解説

「結婚(事実婚等を含む)」が85件(21.8%)で最も多く、次いで「転職」が65件(16.7%)、「転勤」が62件(15.9%)となっている。

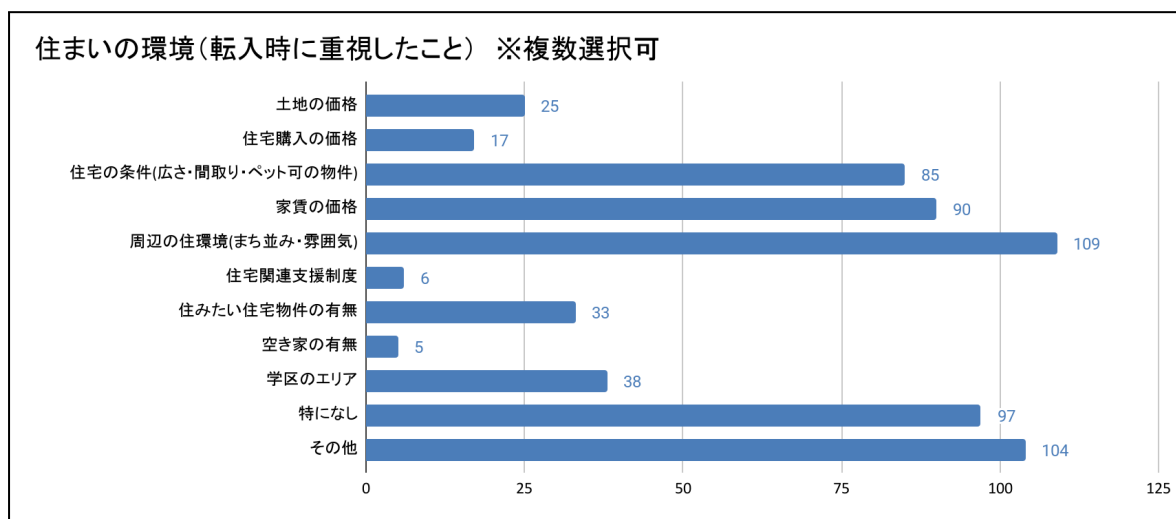
「その他」には、「元々職場が富士市のため」や「海外からの帰国・帰任」といった仕事に関する回答が多く、次いで「親の体調を考慮」や「恋人と同棲」など、家庭(家族)や恋人との事情・都合に関する回答があった。他に「元々富士市出身で戻ってきたかったから」、「以前住んでいたため」といった地元回帰や出身に関する回答、自身の学業に関する回答があった。

▼考察

「結婚(事実婚等を含む)」85件(21.8%)や「転職」65件(16.7%)・「転勤」62件(15.9%)といった仕事に係る項目が主要であり、「住宅購入」47件(12.1%)や生活環境の向上を目的とした転入も一定数ある。また、「自分以外の家族の都合」7件(1.8%)や「家族の介護・看護」13件(3.3%)、「親との同居」11件(2.8%)といった家族関連の理由も見られ、生活や家族構成の変化に応じている傾向がわかる。

問12. 住まいの環境(転入時に重視したこと)

住まいの環境(転入時に重視したこと) ※複数選択可	回答数	割合(回答者数)
土地の価格	25	6.4%
住宅購入の価格	17	4.4%
住宅の条件(広さ・間取り・ペット可の物件)	85	21.8%
家賃の価格	90	23.1%
周辺の住環境(まち並み・雰囲気)	109	27.9%
住宅関連支援制度	6	1.5%
住みたい住宅物件の有無	33	8.5%
空き家の有無	5	1.3%
学区のエリア	38	9.7%
特になし	97	24.9%
その他	104	26.7%
回答総数	609	-
回答者数	390	-



▼解説

「周辺の住環境(まち並み・雰囲気)」が109件(27.9%)で最も多く、次いで「その他」が104件(26.7%)、「特になし」が97件(24.9%)、「家賃の価格」が90件(23.1%)となっている。

「その他」には、「出身地・地元だったため」や「家・土地があった」、「実家・義実家があった」といった血縁・地縁に関する回答や、「会社がある」や「転勤先」といった仕事に関する回答があった。他に「生まれる子を綺麗な新しい家で育てたかった」、「子が帰ってきても安心な環境」といった子に関する回答などもあった。

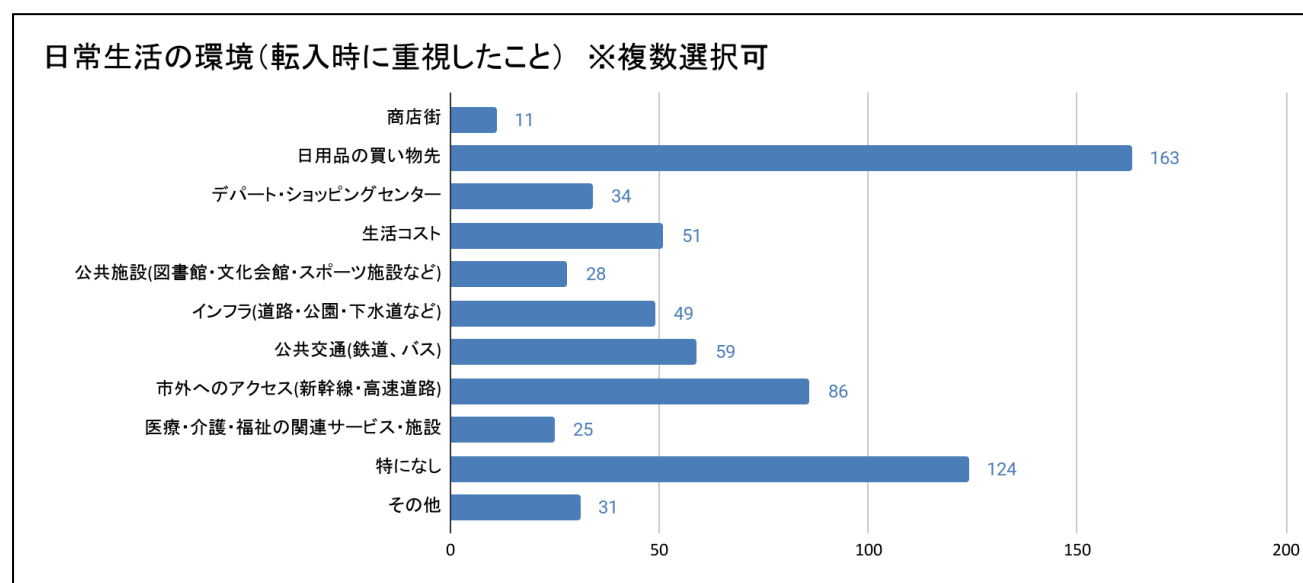
▼考察

「周辺の住環境(まち並み・雰囲気)」109件(27.9%)や「家賃の価格」90件(23.1%)が重要視される傾向があることがわかる。

一方で「住宅関連支援制度」6件(1.5%)や「空き家の有無」5件(1.3%)の割合は低く、あまり重要視されていない。

問13. 日常生活の環境(転入時に重視したこと)

日常生活の環境(転入時に重視したこと) ※複数選択可	回答数	割合(回答者数)
商店街	11	2.8%
日用品の買い物先	163	41.8%
デパート・ショッピングセンター	34	8.7%
生活コスト	51	13.1%
公共施設(図書館・文化会館・スポーツ施設など)	28	7.2%
インフラ(道路・公園・下水道など)	49	12.6%
公共交通(鉄道、バス)	59	15.1%
市外へのアクセス(新幹線・高速道路)	86	22.1%
医療・介護・福祉の関連サービス・施設	25	6.4%
特になし	124	31.8%
その他	31	7.9%
回答総数	661	-
回答者数	390	-



▼解説

「日用品の買い物先」が163人(41.8%)で最も多く、次いで「特になし」が124件(31.8%)、「市外へのアクセス(新幹線・高速道路)」が86件(22.1%)となっている。

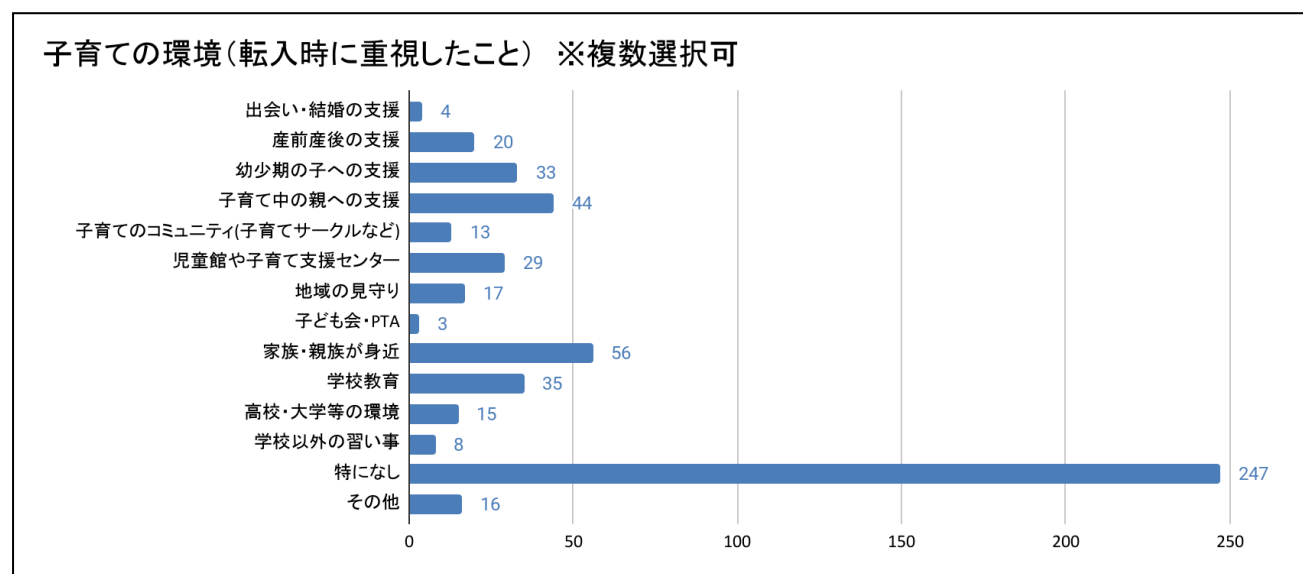
「その他」には、「勤務先からの距離」や「通勤」「通学・通園」、「住宅から幹線道路への出やすさ」といった交通に関する回答が多かった。「住み慣れていたから」、「治安の良さ」、「水害の少ない地域」といった回答もあった。

▼考察

「日用品の買い物先」が最も重視されており、163人(41.8%)が回答している。日常生活に欠かせない買い物のしやすさが、住みやすさに大きく影響していると考えられる。

問14. 子育ての環境(転入時に重視したこと)

子育ての環境(転入時に重視したこと) ※複数選択可	回答数	割合(回答者数)
出会い・結婚の支援	4	1.0%
産前産後の支援	20	5.1%
幼少期の子への支援	33	8.5%
子育て中の親への支援	44	11.3%
子育てのコミュニティ(子育てサークルなど)	13	3.3%
児童館や子育て支援センター	29	7.4%
地域の見守り	17	4.4%
子ども会・PTA	3	0.8%
家族・親族が身近	56	14.4%
学校教育	35	9.0%
高校・大学等の環境	15	3.8%
学校以外の習い事	8	2.1%
特になし	247	63.3%
その他	16	4.1%
回答総数	540	-
回答者数	390	-



▼解説

「特になし」が247件(63.3%)で最も多く、次いで「家族・親族が身近」が56件(14.4%)、「子育て中の親への支援」が44件(11.3%)となっている。

「その他」には、「幼稚園の延長保育」や「小学校の受け入れ体制」といった教育環境に関する回答や、「英会話教室が駅前にあった」といった習い事に関する回答、「療育センターがあつて、手厚い療育が受けられると思ったから」といった療育に関する回答などがあつた。

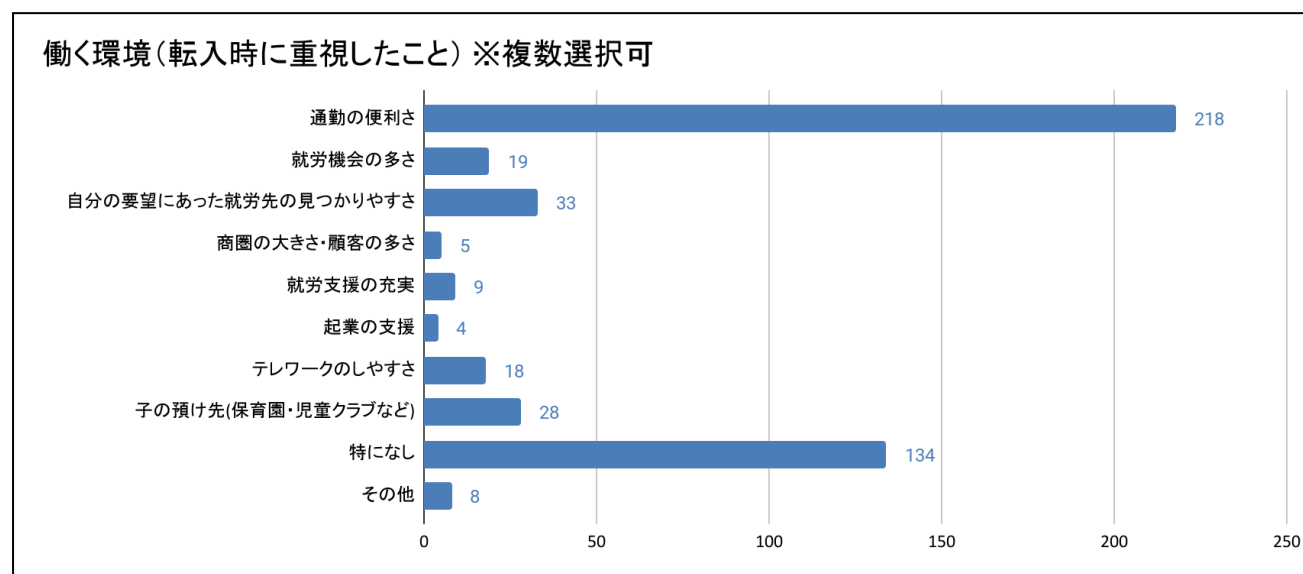
▼考察

転入時に子がない世帯も多く「特になし」が247件(63.3%)と多い。

「特になし」以外の回答では、「家族・親族が身近」56件(14.4%)や「子育て中の親への支援」44件(11.3%)など、直接的なサポートや教育面での環境が重要視されることがわかる。

問15. 働く環境(転入時に重視したこと)

働く環境(転入時に重視したこと) ※複数選択可	回答数	割合(回答者数)
通勤の便利さ	218	55.9%
就労機会の多さ	19	4.9%
自分の要望にあった就労先の見つかりやすさ	33	8.5%
商圏の大きさ・顧客の多さ	5	1.3%
就労支援の充実	9	2.3%
起業の支援	4	1.0%
テレワークのしやすさ	18	4.6%
子の預け先(保育園・児童クラブなど)	28	7.2%
特になし	134	34.4%
その他	8	2.1%
回答総数	476	-
回答者数	390	-



▼解説

「通勤の便利さ」が218件(55.9%)で最も多く、次いで「特になし」が134件(34.4%)、「自分の要望にあった就労先の見つかりやすさ」が33件(8.5%)となっている。

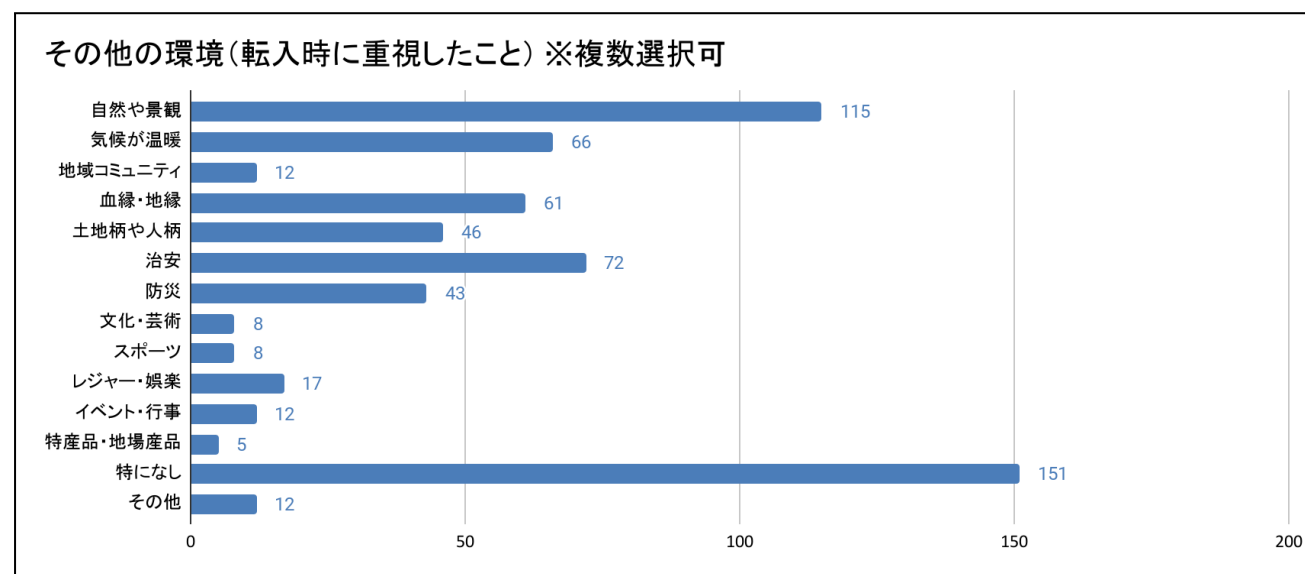
「その他」には、「今までの仕事を活かせる就労に期待」といったキャリアに関する回答や、賃金に関する回答などがあった。

▼考察

「通勤の便利さ」が最も重視されており、他の項目と比べて大きな差が見られる。転入時に最も重視されるのは、交通の利便性であると言える。

問16. その他の環境(転入時に重視したこと)

その他の環境(転入時に重視したこと) ※複数選択可	回答数	割合(回答者数)
自然や景観	115	29.5%
気候が温暖	66	16.9%
地域コミュニティ	12	3.1%
血縁・地縁	61	15.6%
土地柄や人柄	46	11.8%
治安	72	18.5%
防災	43	11.0%
文化・芸術	8	2.1%
スポーツ	8	2.1%
レジャー・娯楽	17	4.4%
イベント・行事	12	3.1%
特産品・地場産品	5	1.3%
特になし	151	38.7%
その他	12	3.1%
回答総数	628	-
回答者数	390	-



▼解説

「特になし」が151件(38.7%)で最も多く、次いで「自然や景観」が115件(29.5%)、「治安」が72件(18.5%)となっている。

「その他」には、「公害レベル」や「製紙工場の臭い」といった地域の環境に関する回答や、「住宅地の静かさや街灯の充実」、「車やバイクがたくさん置けること」といった回答などがあつた。

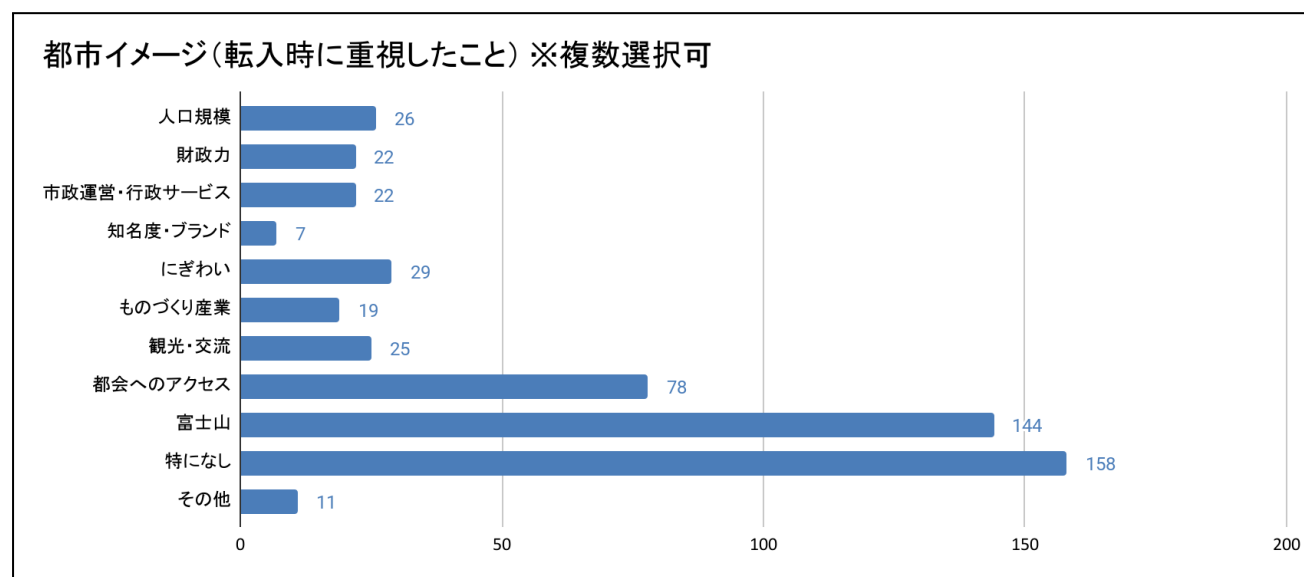
▼考察

「自然や景観」115件(29.5%)や「気候の温暖さ」66件(16.9%)、「治安」72件(18.5%)が重視される傾向があることがわかる。一方「特になし」も多い。

全体的に、自然や安全、気候など生活の質に関わる要素が重視されていることが読み取れる。

問17. 都市イメージ(転入時に重視したこと)

都市イメージ(転入時に重視したこと) ※複数選択可	回答数	割合(回答者数)
人口規模	26	6.7%
財政力	22	5.6%
市政運営・行政サービス	22	5.6%
知名度・ブランド	7	1.8%
にぎわい	29	7.4%
ものづくり産業	19	4.9%
観光・交流	25	6.4%
都会へのアクセス	78	20.0%
富士山	144	36.9%
特になし	158	40.5%
その他	11	2.8%
回答総数	541	-
回答者数	390	-



▼解説

「特になし」が158件(40.5%)で最も多く、次いで「富士山」が144件(36.9%)、「都会へのアクセス」が78件(20.0%)となっている。

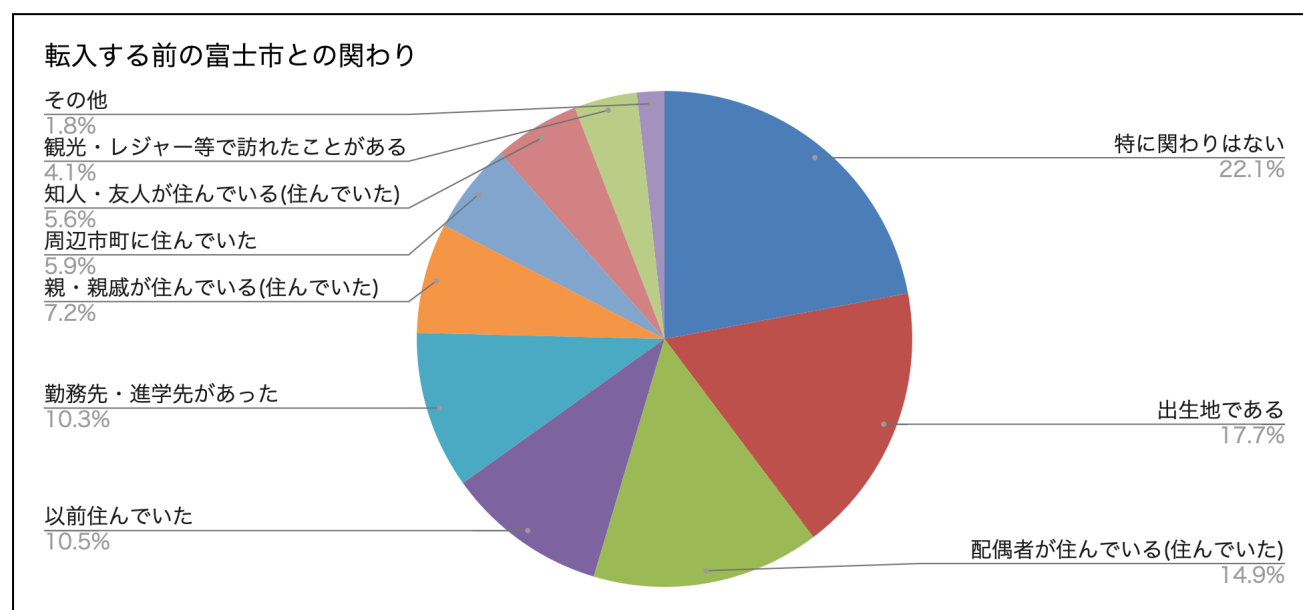
「その他」には、子育て支援に関する回答や市政の運営に関する意見などがあった。

▼考察

「富士山」144件(36.9%)と「都会へのアクセス」78件(20.0%)が際立っており、富士市の特徴・強みと一致している。

問18. 転入する前の富士市との関わりについて教えてください。

転入する前の富士市との関わり	回答数	割合
特に関わりはない	86	22.1%
出生地である	69	17.7%
配偶者が住んでいる(住んでいた)	58	14.9%
以前住んでいた	41	10.5%
勤務先・進学先があった	40	10.3%
親・親戚が住んでいる(住んでいた)	28	7.2%
周辺市町に住んでいた	23	5.9%
知人・友人が住んでいる(住んでいた)	22	5.6%
観光・レジャー等で訪れたことがある	16	4.1%
その他	7	1.8%
総計	390	-



▼解説

「特に関わりはない」が86件 (22.1%) で最も多く、次いで「出生地である」が69件 (17.7%)、「配偶者が住んでいる(住んでいた)」が58件 (14.9%) となっている。

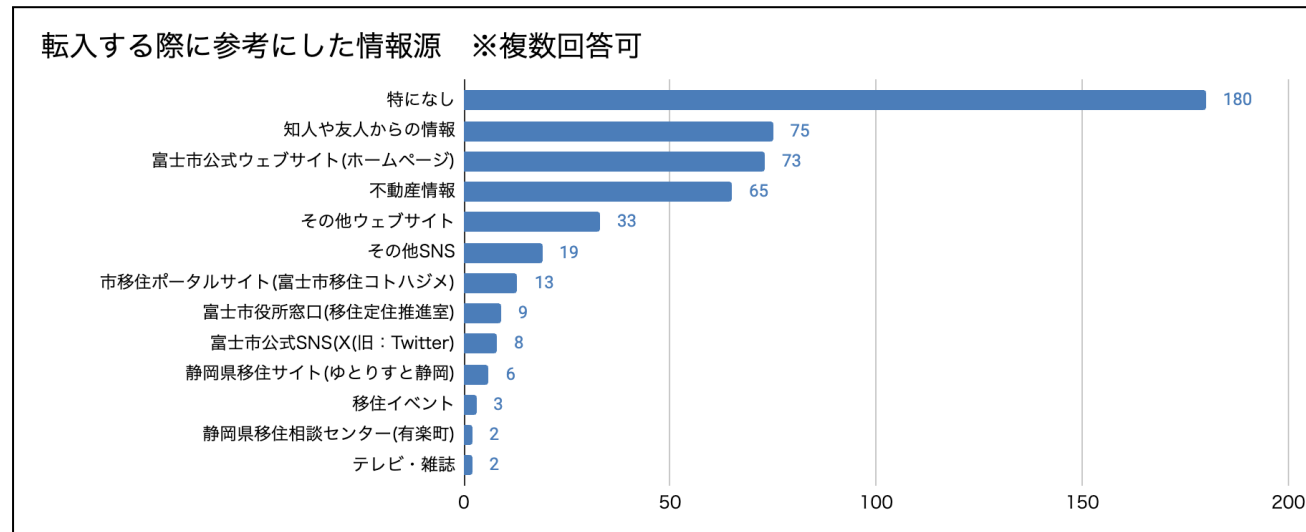
「その他」には、「スポーツ施設に通っていた」といった趣味に関する回答や、「保護猫の保護主さんのところへ通っていた」といった保護活動の回答などがあつた。

▼考察

本人の出生地や配偶者の居住地など本市と強い関係性を有するケースが多い。
一方、知人・友人・親戚とのつながりや観光・レジャー等での訪問経験など薄い関りを経て転入した人も一定数存在しており、何らかの繋がりを持つ人の転入が多いことがわかる。

問19. 富士市に転入する際に参考にした情報源について教えてください。

転入する際に参考にした情報源 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
特になし	180	36.9%
知人や友人からの情報	75	15.4%
富士市公式ウェブサイト(ホームページ)	73	15.0%
不動産情報	65	13.3%
その他ウェブサイト	33	6.8%
その他SNS	19	3.9%
市移住ポータルサイト(富士市移住コトハジメ)	13	2.7%
富士市役所窓口(移住定住推進室)	9	1.8%
富士市公式SNS(X(旧:Twitter))	8	1.6%
静岡県移住サイト(ゆとりすと静岡)	6	1.2%
移住イベント	3	0.6%
静岡県移住相談センター(有楽町)	2	0.4%
テレビ・雑誌	2	0.4%
回答総数	488	-
回答者数	390	-



▼解説

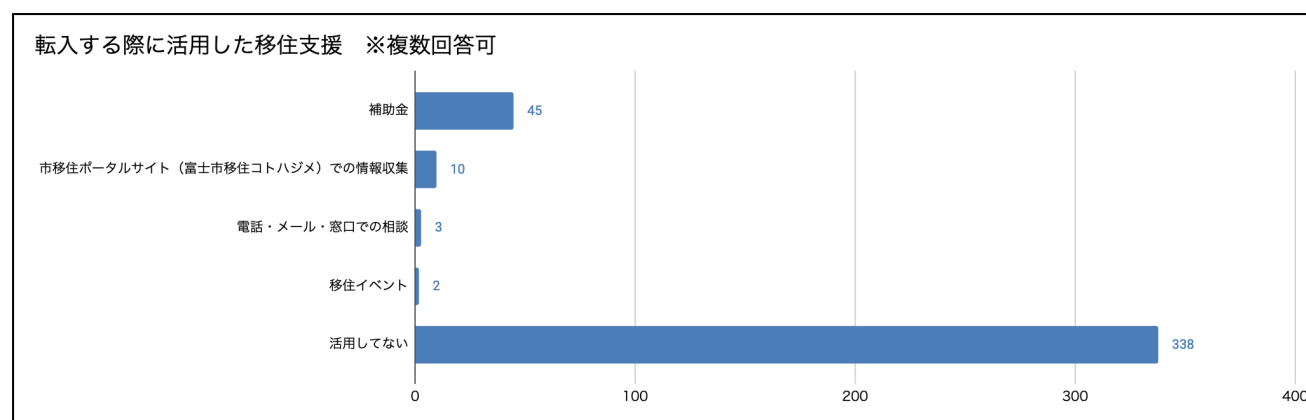
「特になし」が180件(36.9%)で最も多く、次いで「知人や友人からの情報」が75件(15.4%)、「富士市公式ウェブサイト」が73件(15%)となっている。

▼考察

「特になし」の回答が多いのは、転入前に本市と何らかの関りを有する人の割合が高い(問18の結果)ことが影響している可能性が高い。

問20. 富士市に転入する際に、活用した市の移住支援を教えてください。

富士市に転入する際に、活用した市の移住支援 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
補助金	45	11.5%
市移住ポータルサイト(富士市移住コトハジメ)での情報収集	10	2.6%
電話・メール・窓口での相談	3	0.8%
移住イベント	2	0.5%
活用していない	338	86.7%
回答総数	398	-
回答者数	390	-



▼解説

「活用していない」が338件(86.67%)で最も多く、次いで「補助金」が45件(11.54%)、「コトハジメでの情報収集」が10件(2.56%)となっている。

▼考察

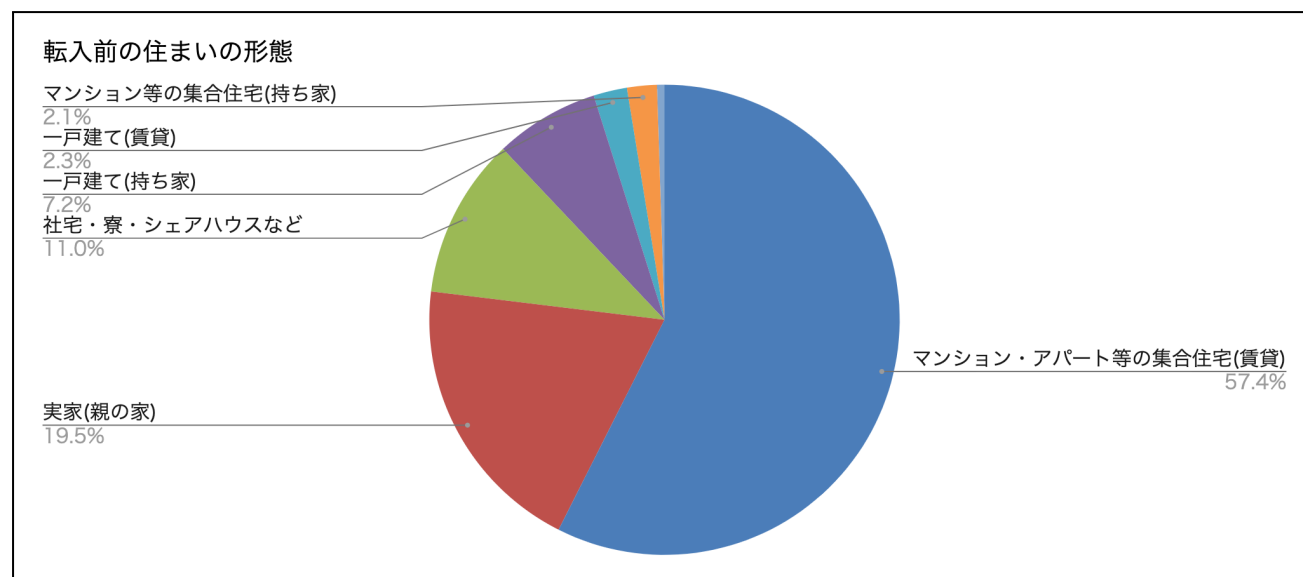
過去5年間に運用していた補助金制度のうち、若者世帯定住支援奨励金制度は令和2年度で受付終了している。

また、移住就業支援補助金(令和元年度～)と先導的テレワーク移住者支援補助金(令和2年度～)は東京圏在住者を対象としており補助金対象者が限定的であることが「活用していない」が高い一因になっていると推測される。

※先導的テレワーク移住者支援補助金は令和6年度から移住前居住地の要件を東京圏から県外に拡充している。

問21. 転入前の住まいの形態を教えてください。

転入前の住まいの形態	回答数	割合
マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)	224	57.4%
実家(親の家)	76	19.5%
社宅・寮・シェアハウスなど	43	11.9%
一戸建て(持ち家)	28	7.2%
一戸建て(賃貸)	9	2.3%
マンション等の集合住宅(持ち家)	8	2.1%
その他	2	0.5%
総計	390	-



▼解説

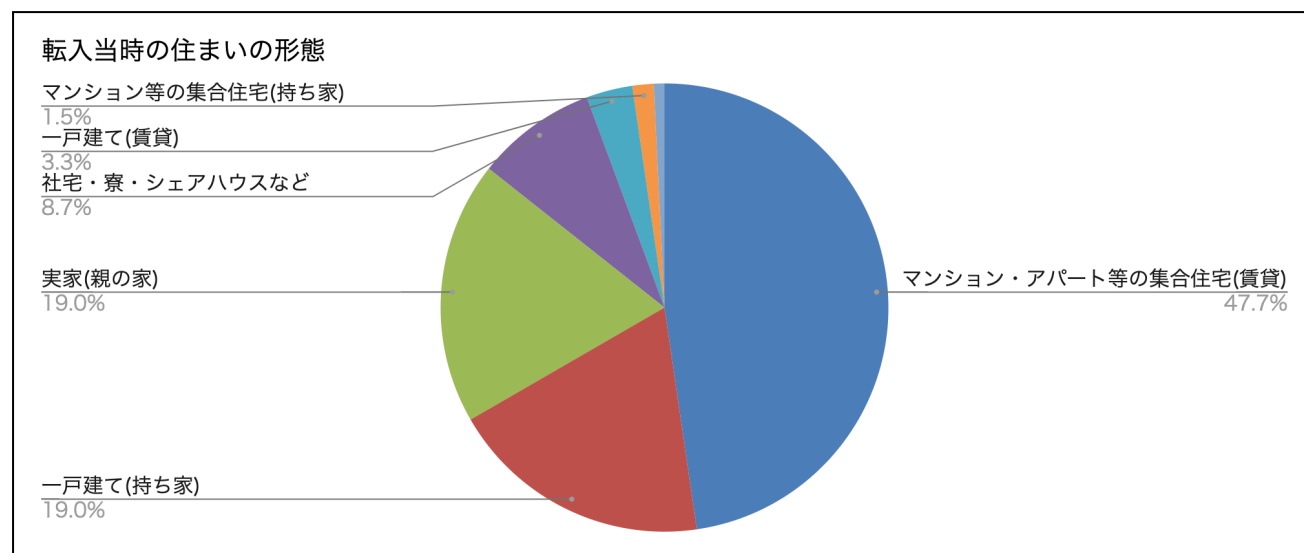
「マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)」が224件(57.4%)で最も多く、次いで「実家(親の家)」が76件(19.5%)、「社宅・寮・シェアハウスなど」が43件(11.9%)となっている。

▼考察

「マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)」224件(57.4%)や「実家(親の家)」76件(19.5%)、「社宅・寮・シェアハウスなど」が43件(11.9%)が主要な回答であり、引越ししやすい環境であったと考察できる。

問22. 転入当時の住まいの形態を教えてください。

転入当時の住まいの形態	回答数	割合数
マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)	186	47.7%
一戸建て(持ち家)	74	19.0%
実家(親の家)	74	19.0%
社宅・寮・シェアハウスなど	34	8.7%
一戸建て(賃貸)	13	3.3%
マンション等の集合住宅(持ち家)	6	1.5%
その他	3	0.8%
総計	390	-



▼解説

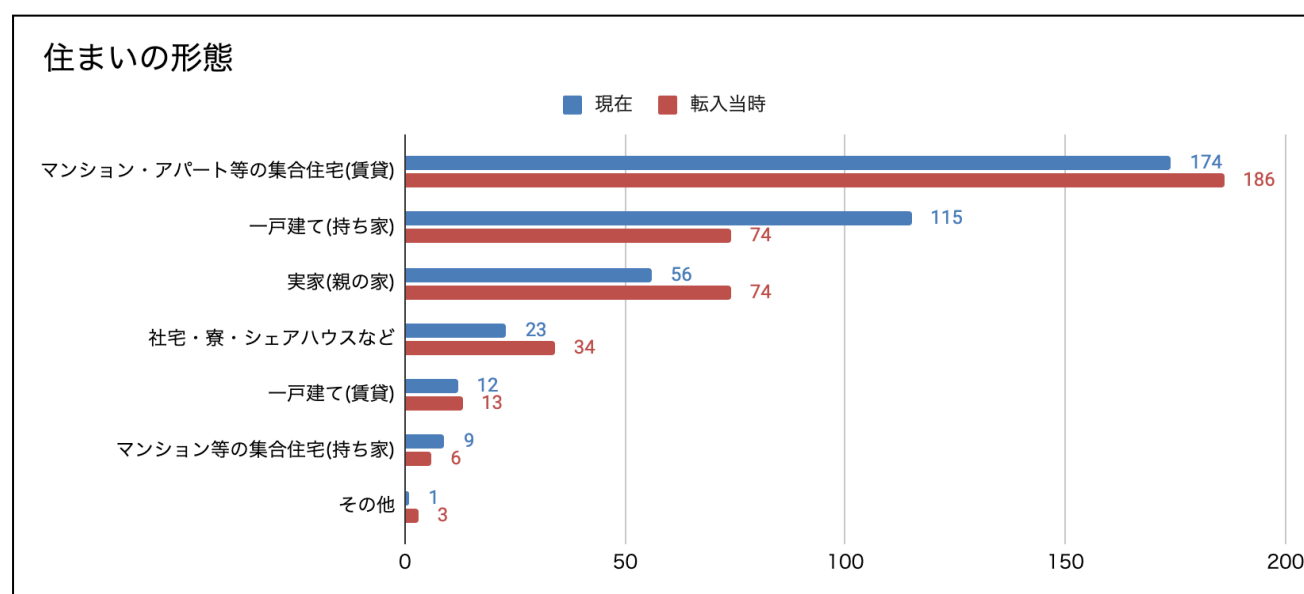
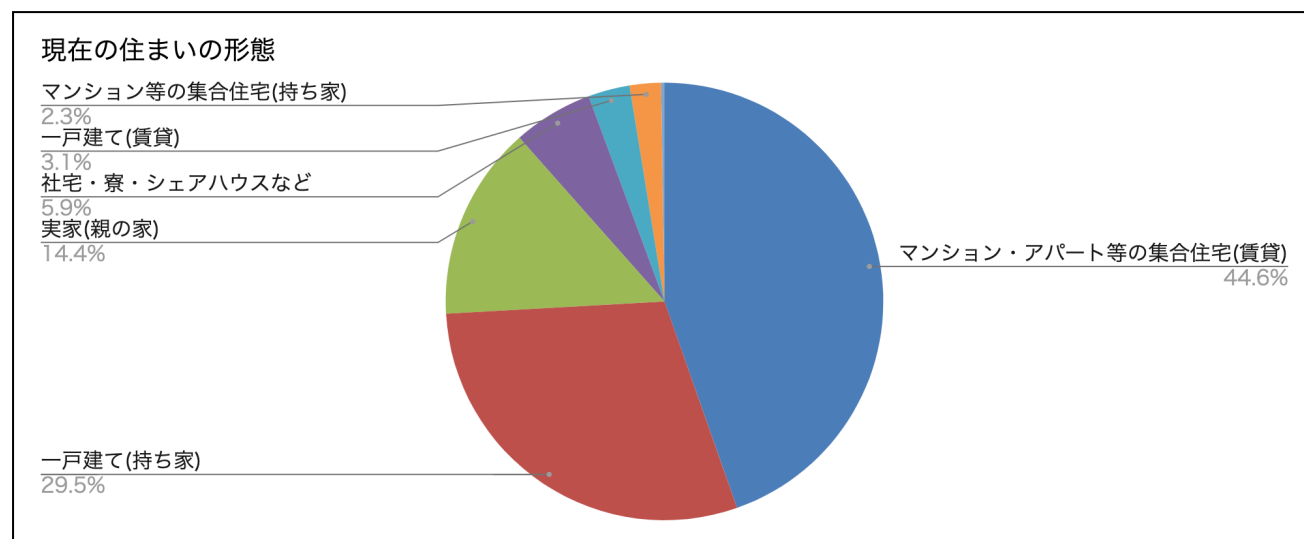
「マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)」が186件(47.7%)で最も多く、次いで「実家(親の家)」が74件(19.0%)、「一戸建て(持ち家)」が74件(19.0%)と同一になっている。

▼考察

「持ち家」を持つより、「マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)」に住んでいる人が多く、転入当初は賃貸を選ぶ傾向が高いことがわかる。

問23. 現在の住まいの形態を教えてください。

現在の住まいの形態	回答数	割合
マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)	174	44.6%
一戸建て(持ち家)	115	29.5%
実家(親の家)	56	14.4%
社宅・寮・シェアハウスなど	23	5.9%
一戸建て(賃貸)	12	3.1%
マンション等の集合住宅(持ち家)	9	2.3%
その他	1	0.3%
総計	390	-



▼解説

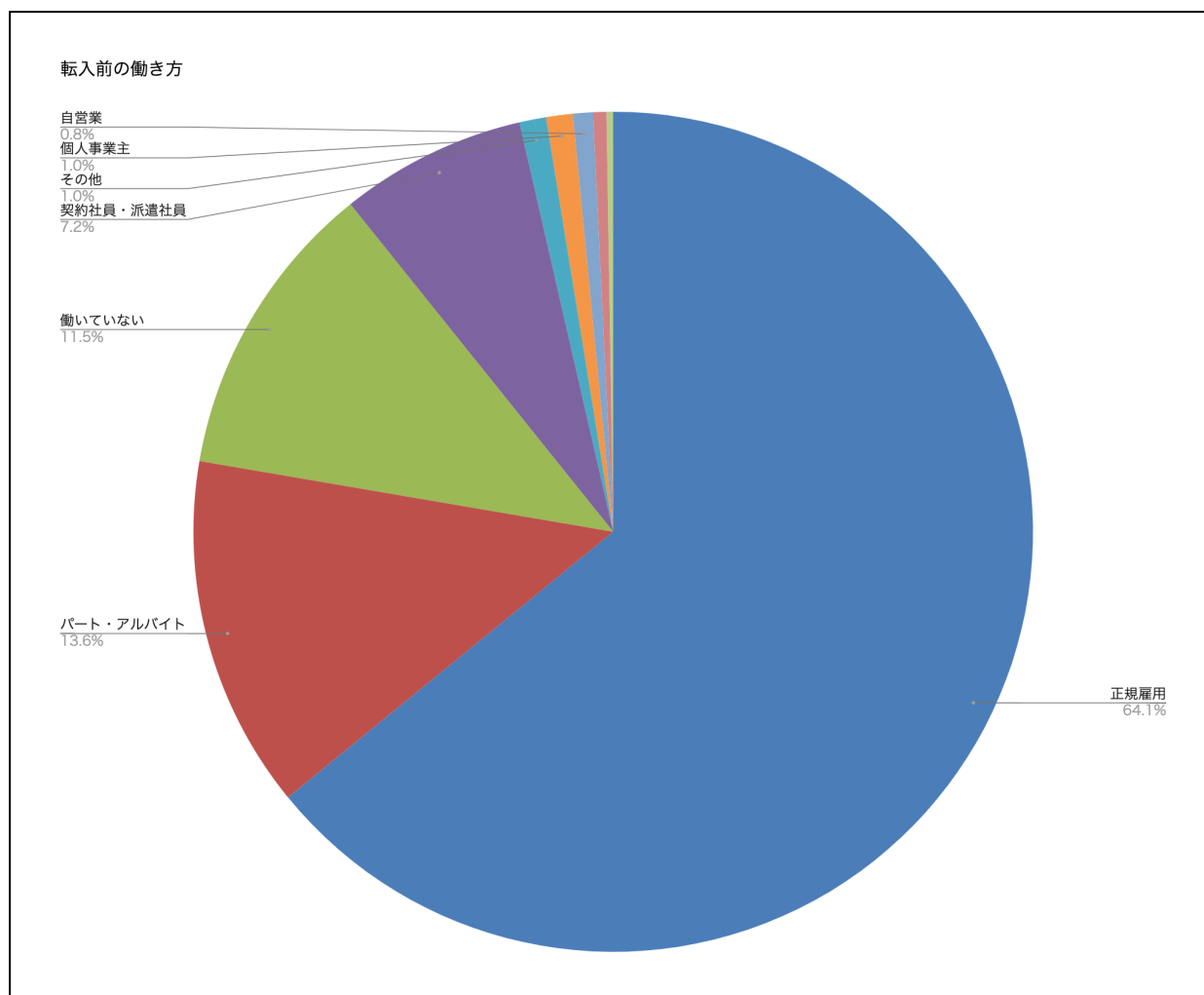
「マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)」が174件(44.6%)で最も多く、次いで「一戸建て(持ち家)」が115件(29.5%)、「実家(親の家)」が56件(14.4%)となっている。

▼考察

転入当時と比べ一戸建て(持ち家)が増加しており、賃貸や実家に住んでいた方が持ち家に住み替えたことで、持ち家の割合が増えていると推測される。

問24. 転入前の働き方について教えてください。

転入前の働き方	回答数	割合
正規雇用	250	64.1%
パート・アルバイト	53	13.6%
働いていない	45	11.5%
契約社員・派遣社員	28	7.2%
その他	4	1.0%
個人事業主	4	1.0%
自営業	3	0.8%
経営者・役員	2	0.5%
日雇い	1	0.3%
総計	390	-

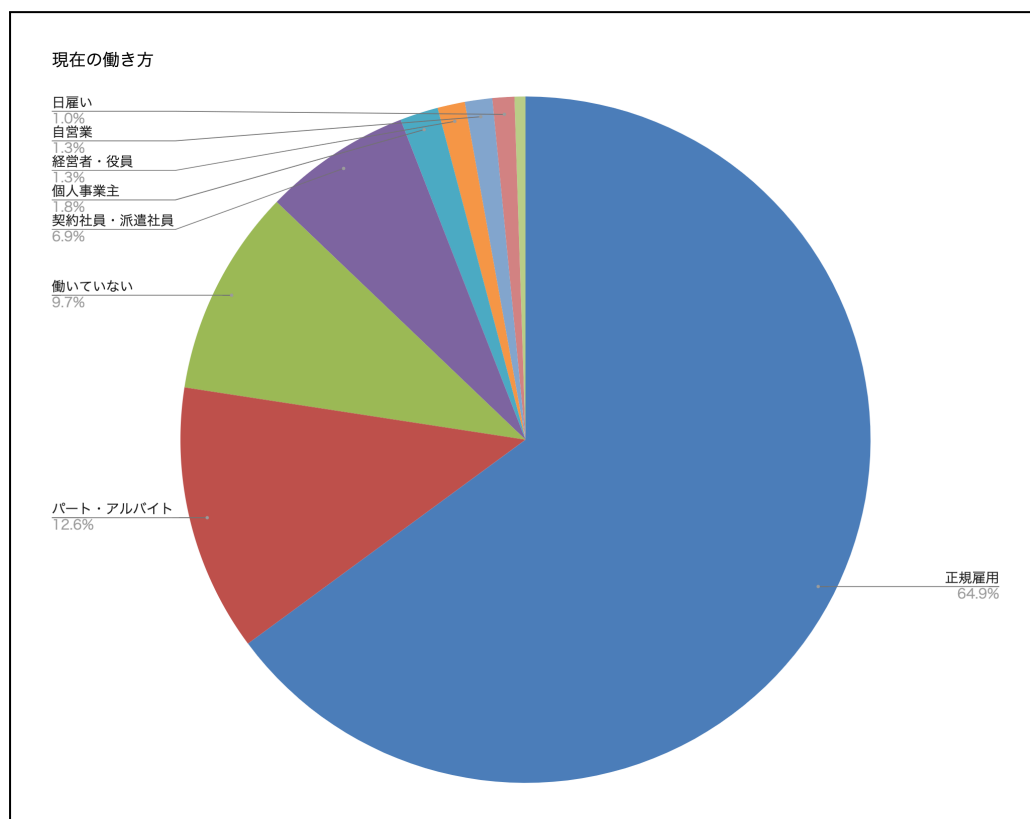


▼解説

「正規雇用」が250件(64.1%)で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が53件(13.6%)となっている。

問25. 現在の働き方について教えてください。

現在の働き方	回答数	割合
正規雇用	253	64.9%
パート・アルバイト	49	12.6%
働いていない	38	9.7%
契約社員・派遣社員	27	6.9%
個人事業主	7	1.8%
経営者・役員	5	1.3%
自営業	5	1.3%
日雇い	4	1.0%
その他	2	0.5%
総計	390	-



▼解説

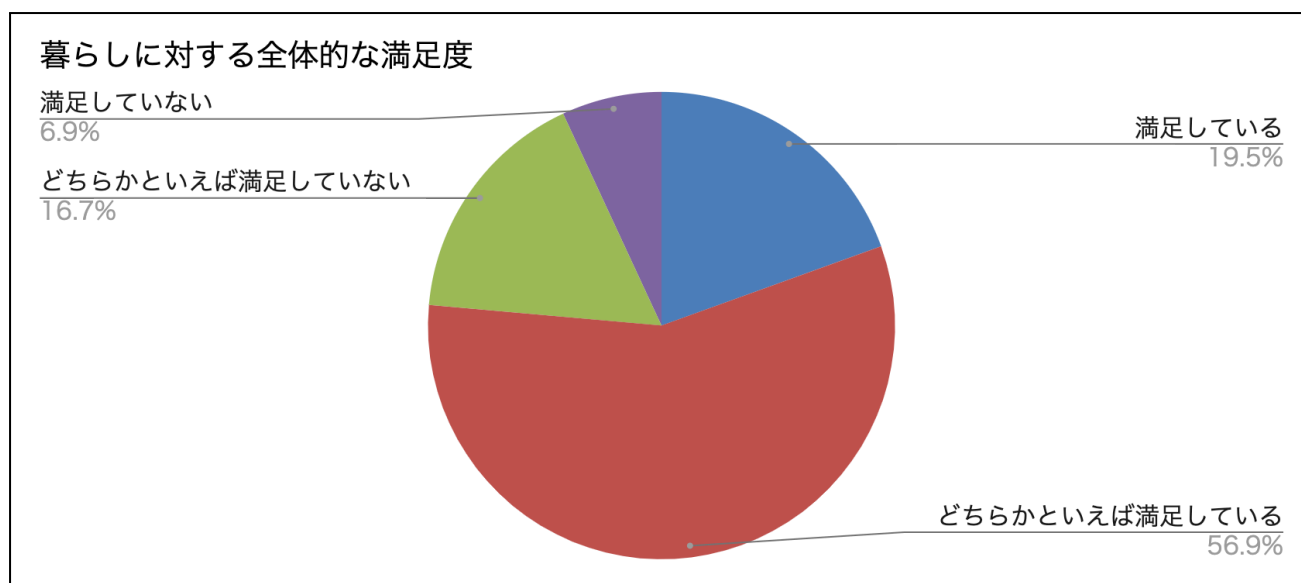
「正規雇用」が253件(64.9%)で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が49件(12.6%)となっている。

▼考察

転入前と現在で比較すると、「正規雇用」の割合はほぼ変化していないことから、転入前後で職を変えていない、または富士市内への転勤、若しくは転入と同時に転職しているケースが多いと推測される。

問26. 富士市での暮らしに対する全体的な満足度を教えてください。

富士市での暮らしに対する全体的な満足度	回答数	割合
満足している	76	19.5%
どちらかといえば満足している	222	56.9%
どちらかといえば満足していない	65	16.7%
満足していない	27	6.9%
総計	390	-



▼解説

「どちらかといえば満足している」が222件(56.9%)で最も多く、次いで「満足している」が76件(19.5%)となっている。

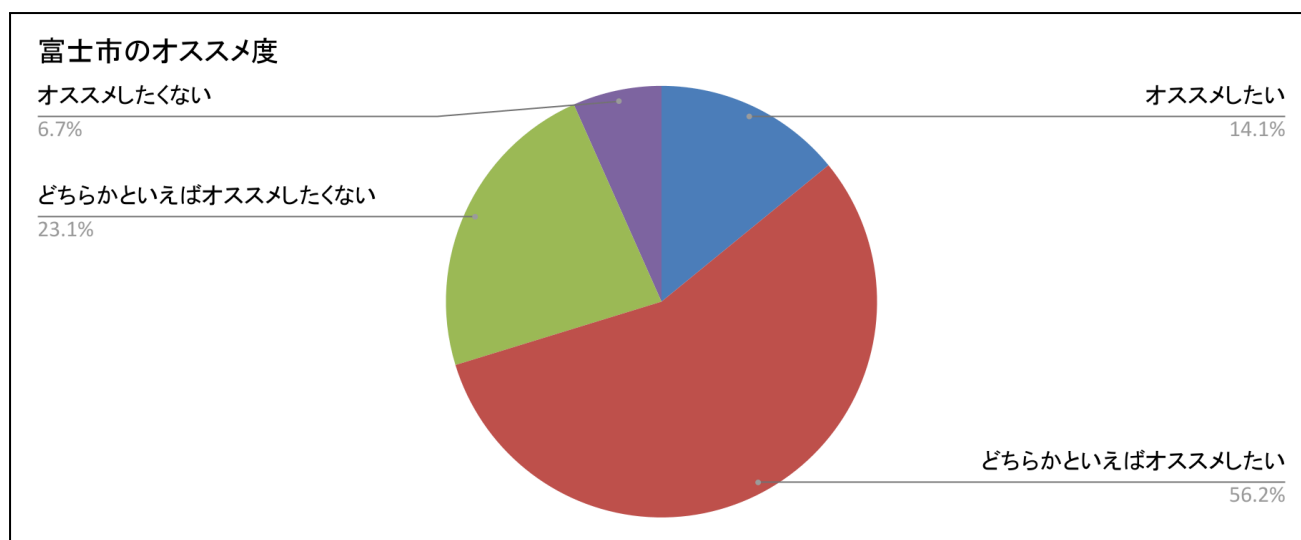
▼考察

「どちらかといえば満足している」と「満足している」を合わせると全体の76%の転入者が富士市の暮らしに満足していることがわかる。

一方で、「どちらかといえば満足していない」との回答も65件(16.7%)見受けられ、一部の満足できない事柄によって全体的な満足度を押し下げている可能性がある。

問27. あなたは家族や知人に富士市をオススメしたいとお考えですか。

富士市のオススメ度	回答数	割合
オススメしたい	55	14.1%
どちらかといえばオススメしたい	219	56.2%
どちらかといえばオススメしたくない	90	23.1%
オススメしたくない	26	6.7%
総計	390	-



▼解説

「どちらかといえばオススメしたい」が219件(56.2%)で最も多く、次いで「どちらかといえばオススメしたくない」が90件(23.1%)、「オススメしたい」が55件(14.1%)となっている。

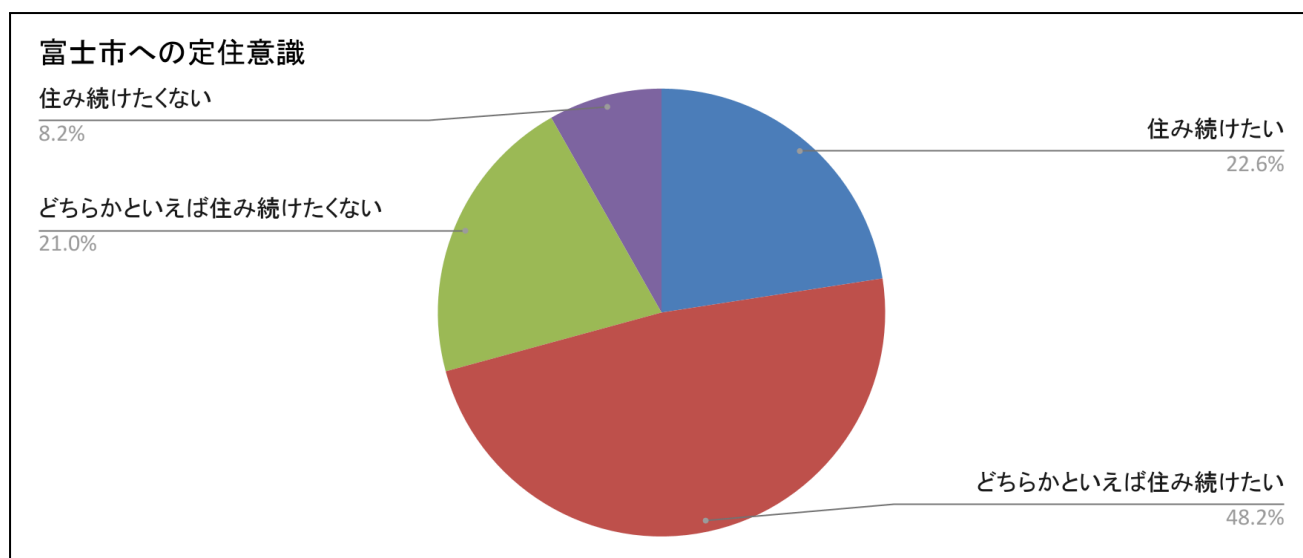
▼考察

「どちらかといえばオススメしたい」が219件(56.2%)と最も多くの回答を得ており、これに「オススメしたい」の55件(14.1%)を加えると、全体の274件(70.3%)が富士市をオススメしていることがわかる。

一方で、「どちらかといえばオススメしたくない」との回答も90件(23.1%)見受けられており、一部のオススメできない事柄によって全体的なオススメ度を押し下げている可能性がある。

問28. あなたはずっと富士市に住み続けたいとお考えですか。

富士市への定住意識	回答数	割合
住み続けたい	88	22.6%
どちらかといえば住み続けたい	188	48.2%
どちらかといえば住み続けたくない	82	21.0%
住み続けたくない	32	8.2%
総計	390	-



▼解説

「どちらかといえば住み続けたい」が188件(48.2%)で最も多く、次いで「住み続けたい」が88件(22.6%)、「どちらかといえば住み続けたくない」が82件(21.0%)となっている。

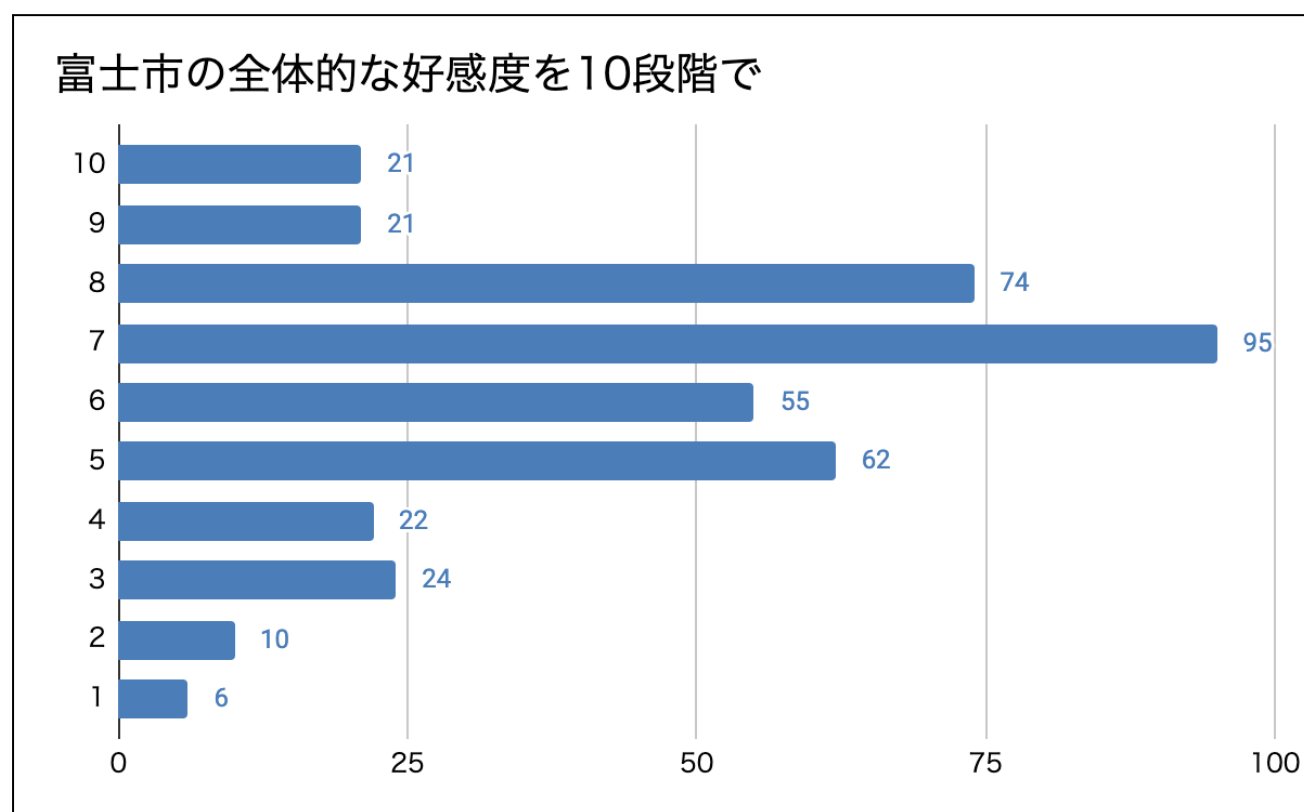
▼考察

「どちらかといえば住み続けたい」が188件(48.2%)と最も多くの回答を得ており、これに「住み続けたい」の88件(22.6%)を加えると、全体の276件(70.8%)が富士市に住み続けたいと回答していることがわかる。

一方で、「どちらかといえば住み続けたくない」との回答も82件(21.0%)見受けられ、住み続けることに対して慎重な姿勢を示す市民が一定数存在している。

問29. 富士市に対する全体的な好感度を10段階で教えてください。

全体的な好感度	回答数	割合
10	21	5.4%
9	21	5.4%
8	74	19.0%
7	95	24.4%
6	55	14.1%
5	62	15.9%
4	22	5.6%
3	24	6.2%
2	10	2.6%
1	6	1.5%
総計	390	-



▼解説

「好感度7」が95件(24.4%)で最も多く、次いで「好感度8」が74件(19.0%)、「好感度5」が62件(15.9%)となっている。

▼考察

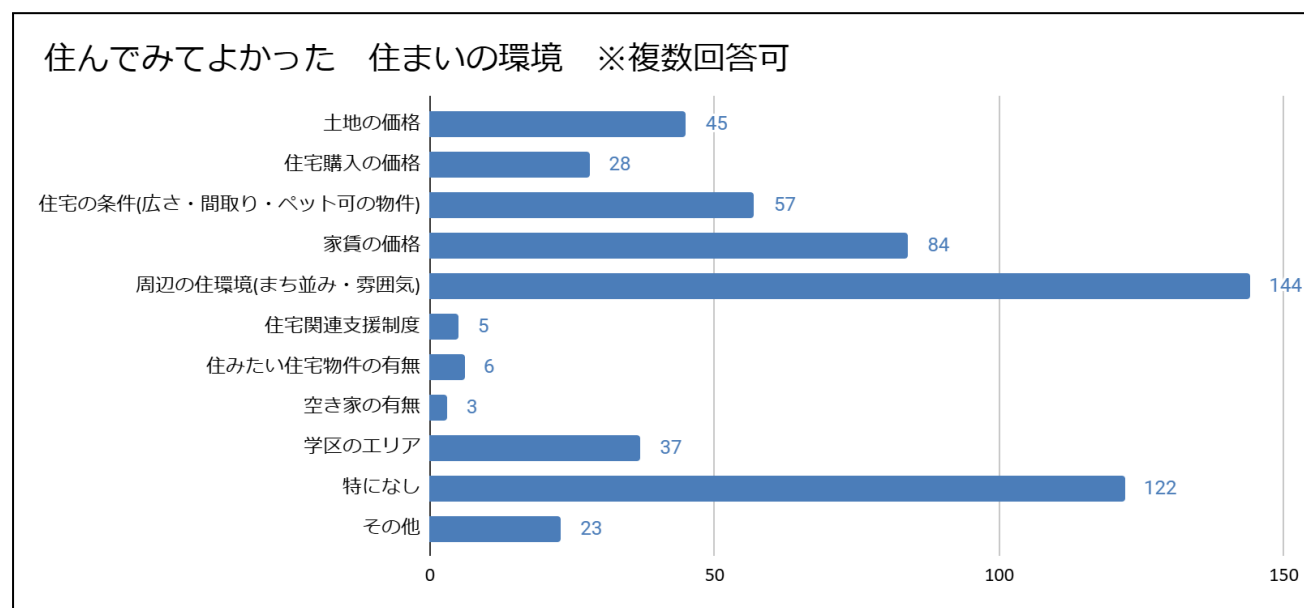
富士市に対する評価は中程度から高い範囲に集中している。

全体の266件(68.3%)が「好感度6」以上と回答していることから、多くの市民が富士市に対しておおむね好意的な印象を持っていることがわかる。

一方で、「好感度5」が62件(15.9%)という結果もあり、この層の市民は富士市に対して中立的な評価を持っている可能性が高い。

問30. 住まいの環境(住んでみてよかったと思うこと)

住んでみて良かった 住まいの環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
土地の価格	45	11.5%
住宅購入の価格	28	7.2%
住宅の条件(広さ・間取り・ペット可の物件)	57	14.6%
家賃の価格	84	21.5%
周辺の住環境(まち並み・雰囲気)	144	36.9%
住宅関連支援制度	5	1.3%
住みたい住宅物件の有無	6	1.5%
空き家の有無	3	0.8%
学区のエリア	37	9.5%
特になし	122	31.3%
その他	23	5.9%
回答総数	554	-
回答者数	390	-



▼解説

「周辺の住環境(まち並み・雰囲気)」が144件(36.9%)で最も多く、次いで「特になし」が122件(31.3%)、「家賃の価格」が84件(21.5%)となっている。

「その他」には、「富士山がよく見えるところ」といった富士山に関する回答が5件あった他、「ゴミの捨てやすさ」や「家族親族が身近」との回答もみられた。

▼考察

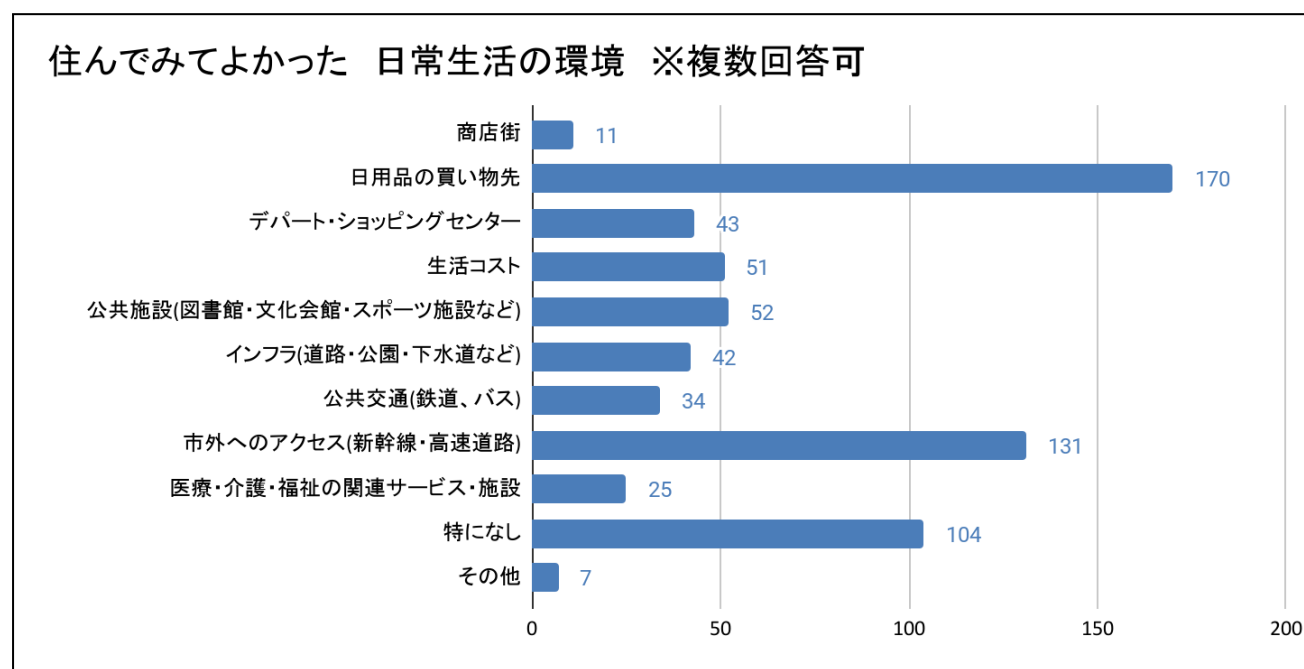
「周辺の住環境(まち並み・雰囲気)」144件(36.9%)が最も多いことから、住環境の質が市民にとって非常に重要な要素であり、美しい街並みや良好な雰囲気が居住満足度を高める大きな要因であることを示

している。次に、「家賃の価格」84件(21.5%)が続き、多くの市民がコストパフォーマンスの良さを評価していることがわかる。

一方で、「特になし」122件(31.3%)という回答も少なからず存在することから、住環境に対して明確な好ましさを感じない市民もいることがわかる。

問31. 日常生活の環境(住んでみてよかったと思うこと)

住んでみて良かった 日常生活の環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
商店街	11	2.8%
日用品の買い物先	170	43.6%
デパート・ショッピングセンター	43	11.0%
生活コスト	51	13.1%
公共施設(図書館・文化会館・スポーツ施設など)	52	13.3%
インフラ(道路・公園・下水道など)	42	10.8%
公共交通(鉄道、バス)	34	8.7%
市外へのアクセス(新幹線・高速道路)	131	33.6%
医療・介護・福祉の関連サービス・施設	25	6.4%
特になし	104	26.7%
その他	7	1.8%
回答総数	670	-
回答者数	390	-



▼解説

「日用品の買い物先」が170件(43.6%)で最も多く、次いで「市外へのアクセス(新幹線・高速道路)」が131件(33.6%)、「特になし」が104件(26.7%)となっている。

「その他」には、「食べ物が美味しい」や「子育てのしやすさ」といった回答がみられた。

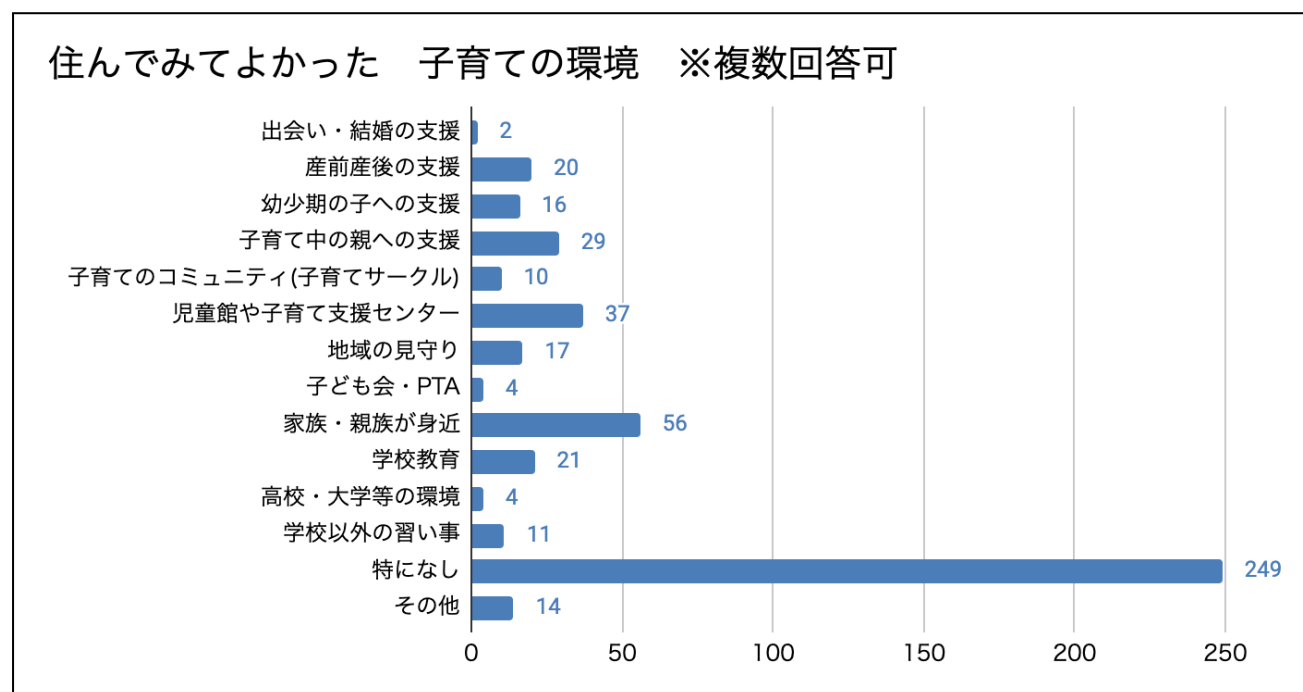
▼考察

「日用品の買い物先」170件(43.6%)が最も多く、市民が買い物の便利さを非常に重視していることがわかる。次に、「市外へのアクセス(新幹線・高速道路)」131件(33.6%)が続き、市外への移動のしやすさも重要視されている。

一方、「特になし」104件(26.7%)という回答が存在し、住環境に特に好ましさを感じない市民もいることがわかる。

問32. 子育て環境(住んでみてよかったと思うこと)

住んでみて良かった 子育ての環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
出会い・結婚の支援	2	0.5%
産前産後の支援	20	5.1%
幼少期の子への支援	16	4.1%
子育て中の親への支援	29	7.4%
子育てのコミュニティ(子育てサークル)	10	2.6%
児童館や子育て支援センター	37	9.5%
地域の見守り	17	4.4%
子ども会・PTA	4	1.0%
家族・親族が身近	56	14.4%
学校教育	21	5.4%
高校・大学等の環境	4	1.0%
学校以外の習い事	11	2.8%
特になし	249	63.8%
その他	14	3.6%
回答総数	452	-
回答者数	390	-



▼解説

「特になし」が249件(63.8%)で最も多く、次いで「家族・親族が身近」が56件(14.4%)、「児童館や子育て支援センター」が37件(9.5%)となっている。

「その他」には、「駐車場のある公園が充実していること」や「子の周囲の環境が良い」といった回答がみられた。

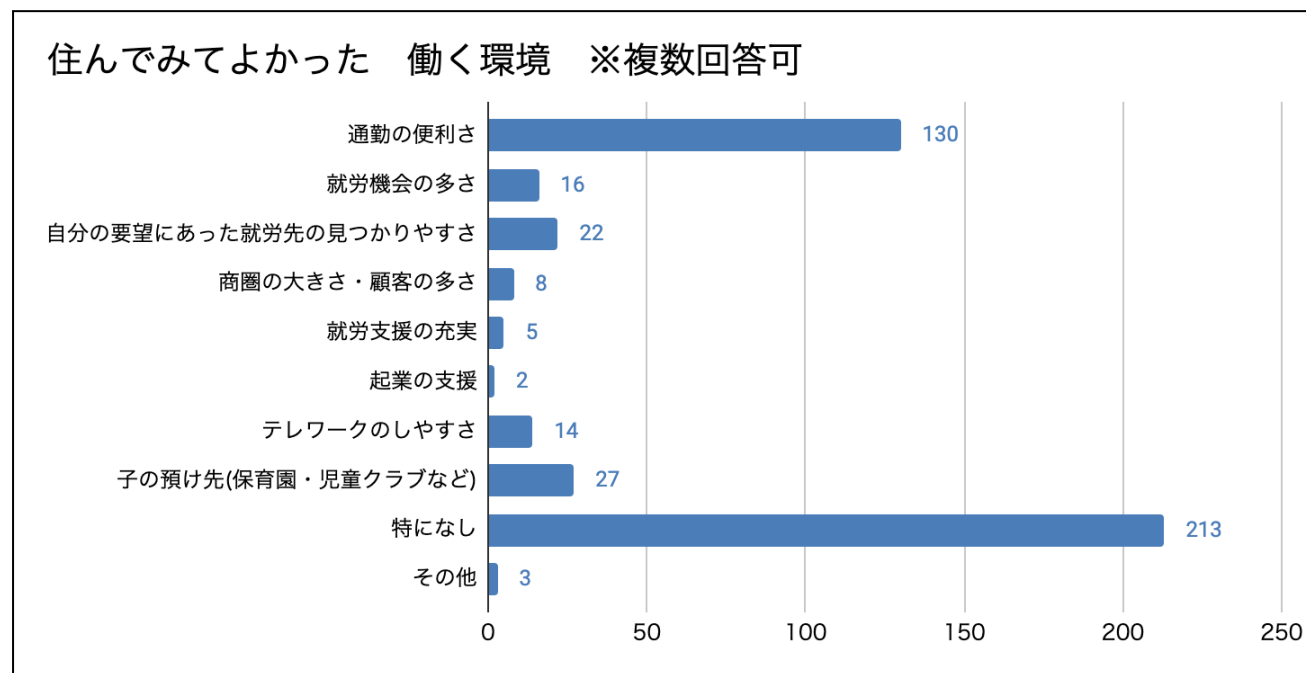
▼考察

全390件中、子のいる世帯は165件(42.3%)あり、残りの225件(57.7%)は子のいない世帯である(※問4より)ため、「特になし」が294件(63.8%)で最も多くなったと考えられる。

次に、「家族・親族が身近」が56件(14.4%)で、家族や親族のサポートが子育てにおいて重要な役割を果たしていることがわかる。さらに、「児童館や子育て支援センター」が37件(9.5%)で、こうした施設の存在も一定の評価を受けていると推測される。

問33. 働く環境(住んでみてよかったと思うこと)

住んでみて良かった 働く環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
通勤の便利さ	130	33.3%
就労機会の多さ	16	4.1%
自分の要望にあった就労先の見つけやすさ	22	5.6%
商圏の大きさ・顧客の多さ	8	2.1%
就労支援の充実	5	1.3%
起業の支援	2	0.5%
テレワークのしやすさ	14	3.6%
子の預け先(保育園・児童クラブなど)	27	6.9%
特になし	213	54.6%
その他	3	0.8%
回答総数	440	-
回答者数	390	-



▼解説

「特になし」が213件(54.6%)で最も多く、次いで「通勤の便利さ」が130件(33.3%)、「子の預け先(保育園・児童クラブなど)」が27件(6.9%)となっている。

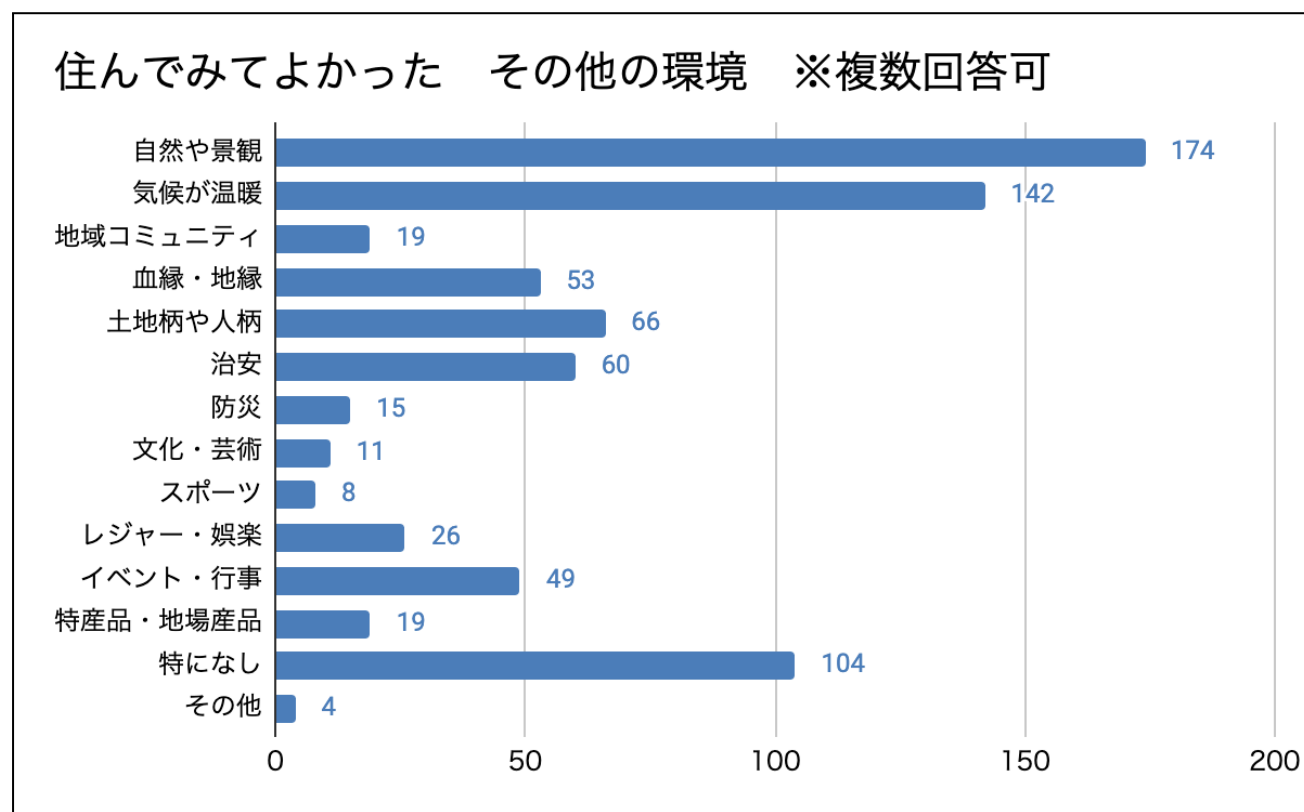
▼考察

全390件中、何らかの形で「働いている」との回答が352件(90.3%)ある(※問25より)ことから、この層の市民の声が特に反映されていると考えられるが、「特になし」という回答が213件(54.6%)で最も多いことから、働く環境において特に過不足を感じていないことがわかる。次に、「通勤の便利さ」が130件(33.3%)となっており通勤の利便性が働く環境の重要な要素であることがわかる。

また、「子の預け先(保育園・児童クラブなど)」が27件(7.7%)あり、子育てをしながら働く環境整備の必要性が示唆されている。

問34. その他の環境(住んでみてよかったと思うこと)

住んでみて良かった その他の環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
自然や景観	174	44.6%
気候が温暖	142	36.4%
地域コミュニティ	19	4.9%
血縁・地縁	53	13.6%
土地柄や人柄	66	16.9%
治安	60	15.4%
防災	15	3.8%
文化・芸術	11	2.8%
スポーツ	8	2.1%
レジャー・娯楽	26	6.7%
イベント・行事	49	12.6%
特産品・地場産品	19	4.9%
特になし	104	26.7%
その他	4	1.0%
回答総数	415	-
回答者数	390	-



▼解説

「自然や景観」が174件(44.6%)で最も多く、次いで「気候が温暖」が142件(36.4%)、「特になし」が104件(26.7%)となっている。

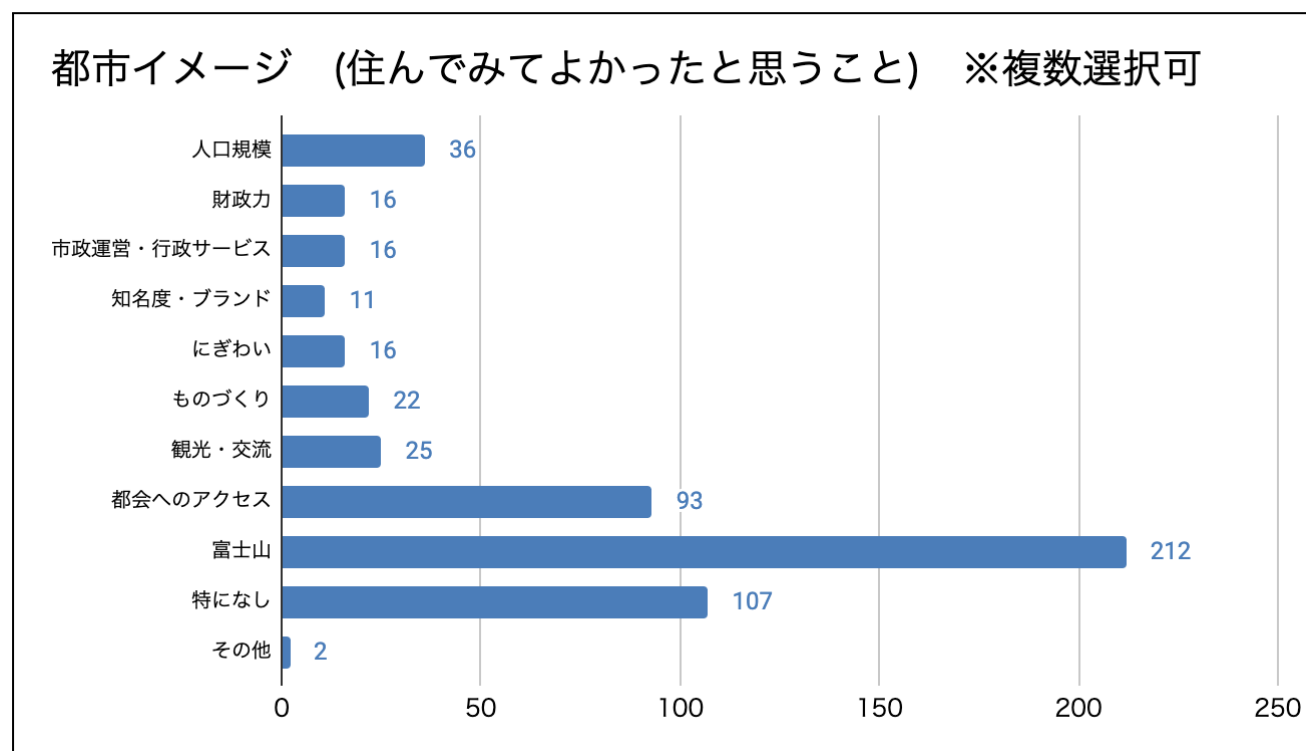
▼考察

「自然や景観」が174件(44.6%)で最も多くの回答を得ていることから、市民にとって自然環境や美しい景観が非常に重要であることがわかる。次に、「気候が温暖」が142件(36.4%)で温暖な気候が市民にとって大きな魅力となっていることが示されている。

また、「特になし」が104件(26.7%)あったものの、「土地柄や人柄」66件(16.9%)、「治安」60件(15.4%)、「血縁・地縁」53件(13.6%)、「イベント・行事」49件(12.6%)などそれぞれ15%前後の回答があり、これらの要素も市民にとって重要であることがわかる。

問35. 都市イメージ(住んでみてよかったと思うこと)

都市イメージ (住んでみてよかったと思うこと) ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
人口規模	36	9.2%
財政力	16	4.1%
市政運営・行政サービス	16	4.1%
知名度・ブランド	11	2.8%
にぎわい	16	4.1%
ものづくり	22	5.6%
観光・交流	25	6.4%
都会へのアクセス	93	23.8%
富士山	212	54.4%
特になし	107	27.4%
その他	2	0.5%
回答総数	556	-
回答者数	390	-



▼解説

「富士山」が212件(54.4%)で最も多く、次いで「特になし」が107件(27.4%)、「都会へのアクセス」93件(23.8%)となっている。

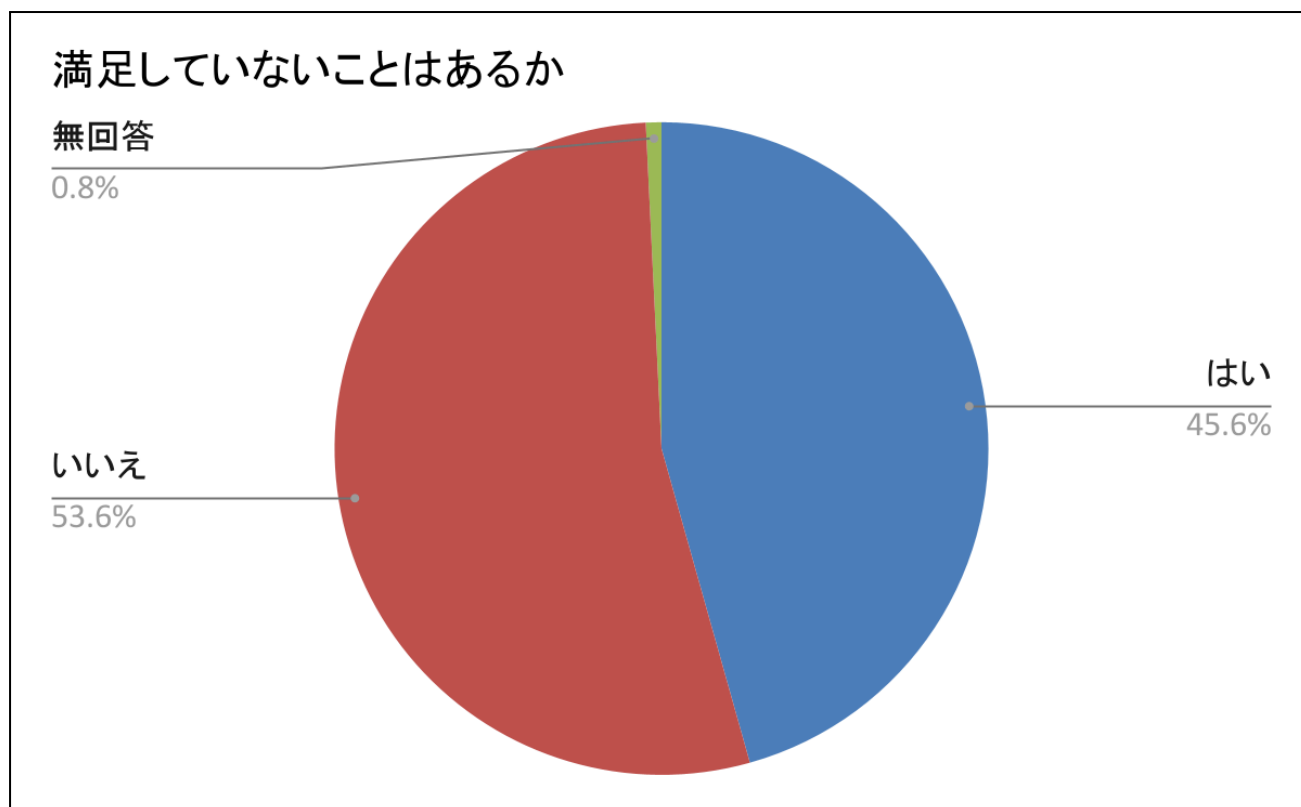
「その他」には「中央公園のイベント」という回答があった。

▼考察

「富士市＝富士山」のイメージが強く、富士山の麓暮らしに対して好印象を持つ人が多いと推測される。また、「都会へのアクセス」93件(23.8%)となっており、首都圏への近接性が生活する上でメリットになっていることが窺われる。

問36. 満足していないことはあるか。

満足していないことはあるか	回答数	割合
はい	178	45.6%
いいえ	209	53.6%
無回答	3	0.8%
総数	390	100.0%



▼解説

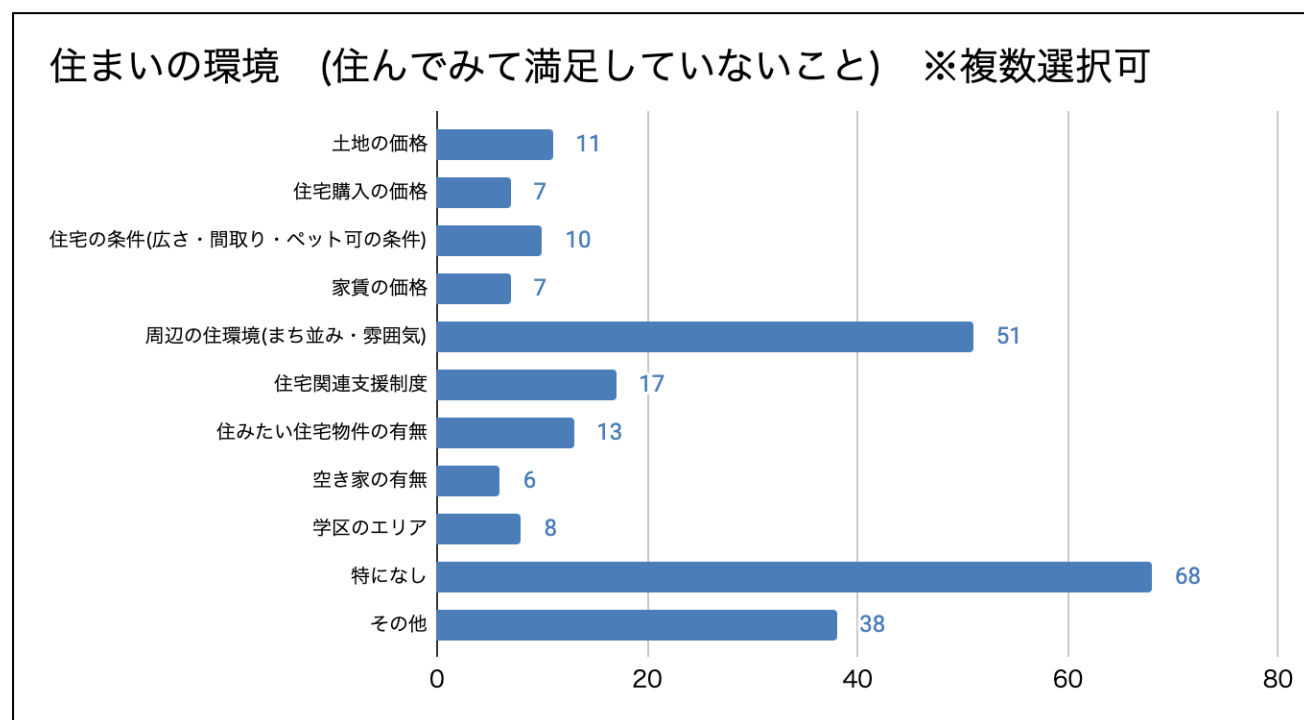
満足している人は53.6%。満足していない人は45.6%。

▼考察

満足していない人が半数近い。どのようなところに不満を抱えているのか分析する必要がある。

問37. 住まいの環境(住んでみて満足していないこと)

住まいの環境 (住んでみて満足していないこと) ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
土地の価格	11	6.2%
住宅購入の価格	7	3.9%
住宅の条件(広さ・間取り・ペット可の条件)	10	5.6%
家賃の価格	7	3.9%
周辺の住環境(まち並み・雰囲気)	51	28.7%
住宅関連支援制度	17	9.6%
住みたい住宅物件の有無	13	7.3%
空き家の有無	6	3.4%
学区のエリア	8	4.5%
特になし	68	38.2%
その他	38	21.3%
回答総数	236	-
回答者数	178	-



▼解説

「特になし」が68件(38.2%)で最も多く、次いで「周辺の住環境(まち並み・雰囲気)」が51件(28.7%)、「その他」が38件(21.3%)となっている。

「その他」には「道路が狭い」、「路地の行き止まりが多い」、「用水路の蓋がなく危険」、「公共交通機関のアクセスが悪い」などの道路・交通の問題や、「製紙工場の臭い」、「パルプの臭い」といった臭気に関する

る回答が多かった。他には「商業施設の不足」、「街路灯が少ない」などの回答があった。

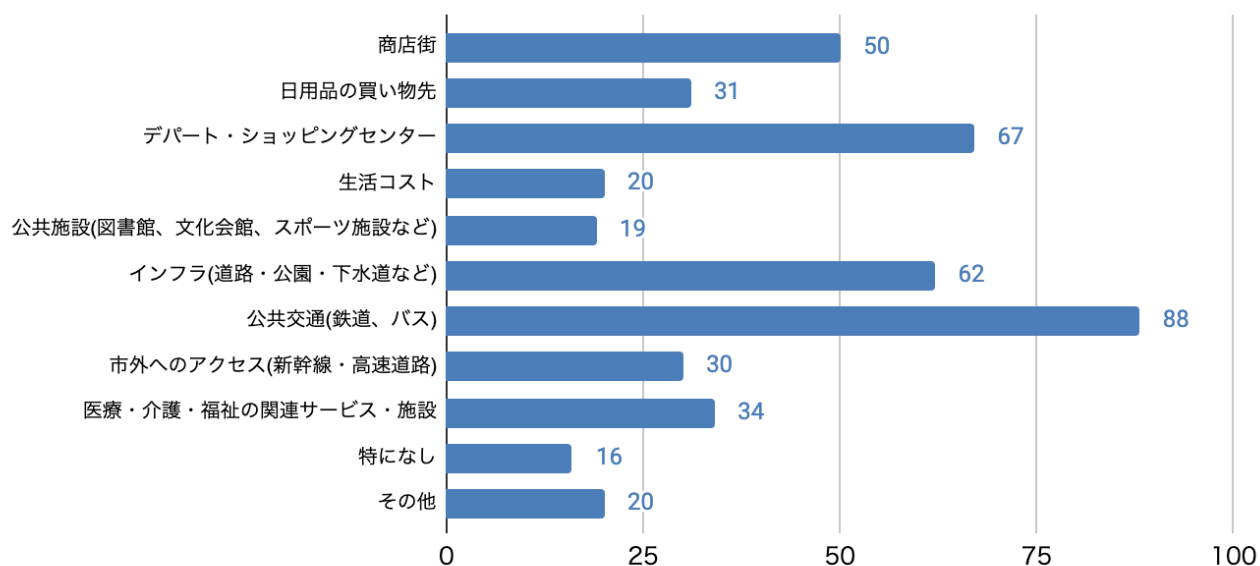
▼考察

「その他」の意見からも、「周辺の住環境(まち並み・雰囲気)」に関しては、暮らし始めてから不満を覚える人が一定数いると推測される。

問38. 日常生活の環境(住んでみて満足していないこと)

日常生活の環境 (住んでみて満足していないこと) ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
商店街	50	28.1%
日用品の買い物先	31	17.4%
デパート・ショッピングセンター	67	37.6%
生活コスト	20	11.2%
公共施設(図書館、文化会館、スポーツ施設など)	19	10.7%
インフラ(道路・公園・下水道など)	62	34.8%
公共交通(鉄道、バス)	88	49.4%
市外へのアクセス(新幹線・高速道路)	30	16.9%
医療・介護・福祉の関連サービス・施設	34	19.1%
特になし	16	9.0%
その他	20	11.2%
回答総数	437	-
回答者数	178	-

日常生活の環境 (住んでみて満足していないこと) ※複数選択可



▼解説

「公共交通(鉄道・バス)」で88件(49.4%)で最も多く、次いで「デパート・ショッピングセンター」が67件(37.6%)、「インフラ(道路・公園・下水道など)」が62件(34.8%)となっている。

「その他」には「空気が臭い」「工場の排気ガスが臭い」「ケミカル臭がある」といった臭気に関する回答が多く、「映画館がない」「飲食店、娯楽施設が少ない」といった娯楽施設や商業施設の不足についての回

答などがあつた。

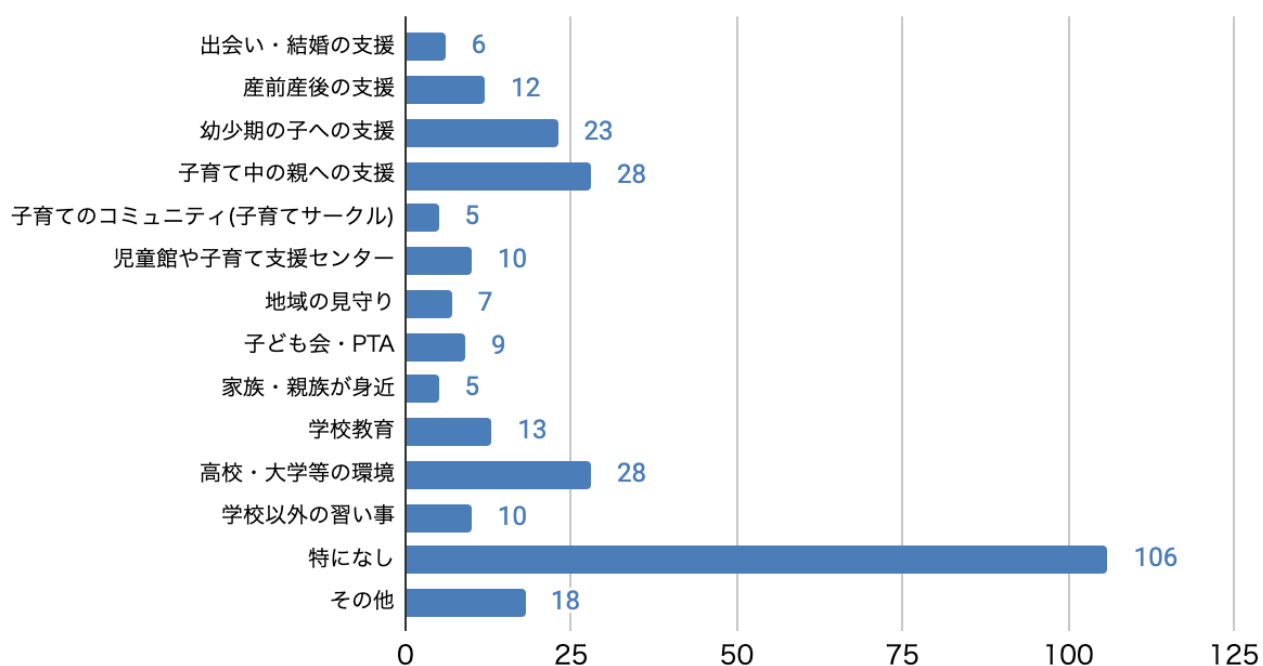
▼考察

本設問回答者の半数近くが公共交通に不満を感じており、日常生活のネックになっていることが窺われる。また、デパートやショッピングセンター、商店街などの買い物をする場所のほか、全ての項目に対して不満を抱えており、日常生活の利便性・快適性は暮らしの満足度の重要な要素となっていることが分かる。

問39. 子育て環境(住んでみて満足していないこと)

子育て環境 (住んでみて満足していないこと) ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
出会い・結婚の支援	6	3.4%
産前産後の支援	12	6.7%
幼少期の子への支援	23	12.9%
子育て中の親への支援	28	15.7%
子育てのコミュニティ(子育てサークル)	5	2.8%
児童館や子育て支援センター	10	5.6%
地域の見守り	7	3.9%
子ども会・PTA	9	5.1%
家族・親族が身近	5	2.8%
学校教育	13	7.3%
高校・大学等の環境	28	15.7%
学校以外の習い事	10	5.6%
特になし	106	59.6%
その他	18	10.1%
回答総数	280	-
回答者数	178	-

子育て環境 (住んでみて満足していないこと) ※複数選択可



▼解説

「特になし」が106件(59.6%)で最も多く、次いで「子育て中の親への支援」と「高校・大学等の環境」が28件(15.7%)と並ぶ。

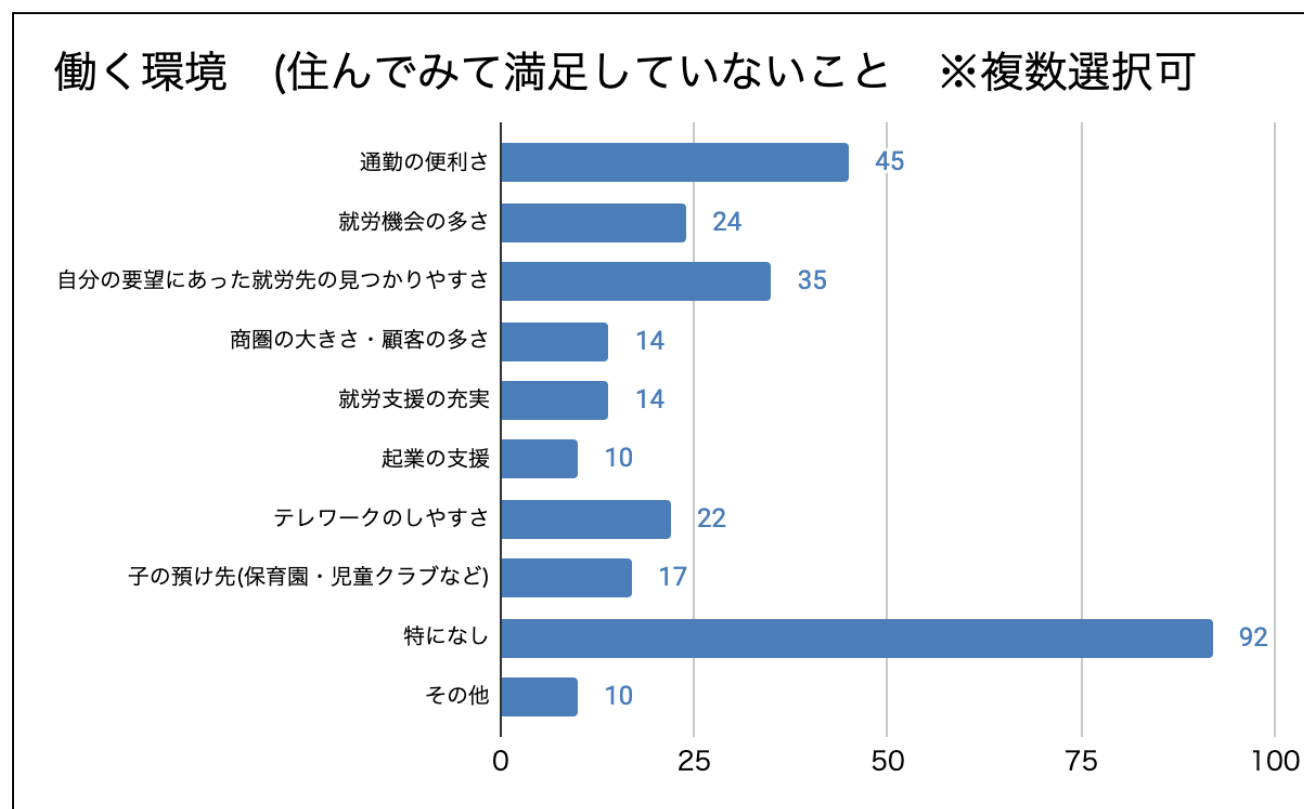
「その他」には、「大学や専門学校が少ない、私立高校が少ない」「学童保育の内容が充実していない」「教育環境が整っているとは言えない」といった教育環境に関する回答、「不妊治療の年齢制限」「子育て支援の周知不足」「医療費の負担」など市の支援に関する回答があった。

▼考察

回答者には子がない人も含むため「特になし」が多くなったと見られる。高校や大学が充実していない・子育て中の親への支援を厚くしてほしいといった意見の割合が高かった。

問40. 働く環境(住んでみて満足していないこと)

働く環境 (住んでみて満足していないこと)※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
通勤の便利さ	45	25.3%
就労機会の多さ	24	13.5%
自分の要望にあった就労先の見つけやすさ	35	19.7%
商圏の大きさ・顧客の多さ	14	7.9%
就労支援の充実	14	7.9%
起業の支援	10	5.6%
テレワークのしやすさ	22	12.4%
子の預け先(保育園・児童クラブなど)	17	9.6%
特になし	92	51.7%
その他	10	5.6%
回答総数	283	-
回答者数	178	-



▼解説

「特になし」が92件(51.7%)で最も多く、次いで「通勤の便利さ」が45件(25.3%)、「自分の要望にあった就労先の見つけやすさ」が35件(19.7%)となっている。

「その他」には「朝夕の渋滞」「新富士駅と富士駅の利便性の悪さ」など交通インフラに関する回答、雇用したり仕事を紹介する立場の人間が「学歴や年齢による就職差別」や「子育て中の女性に対する固定観

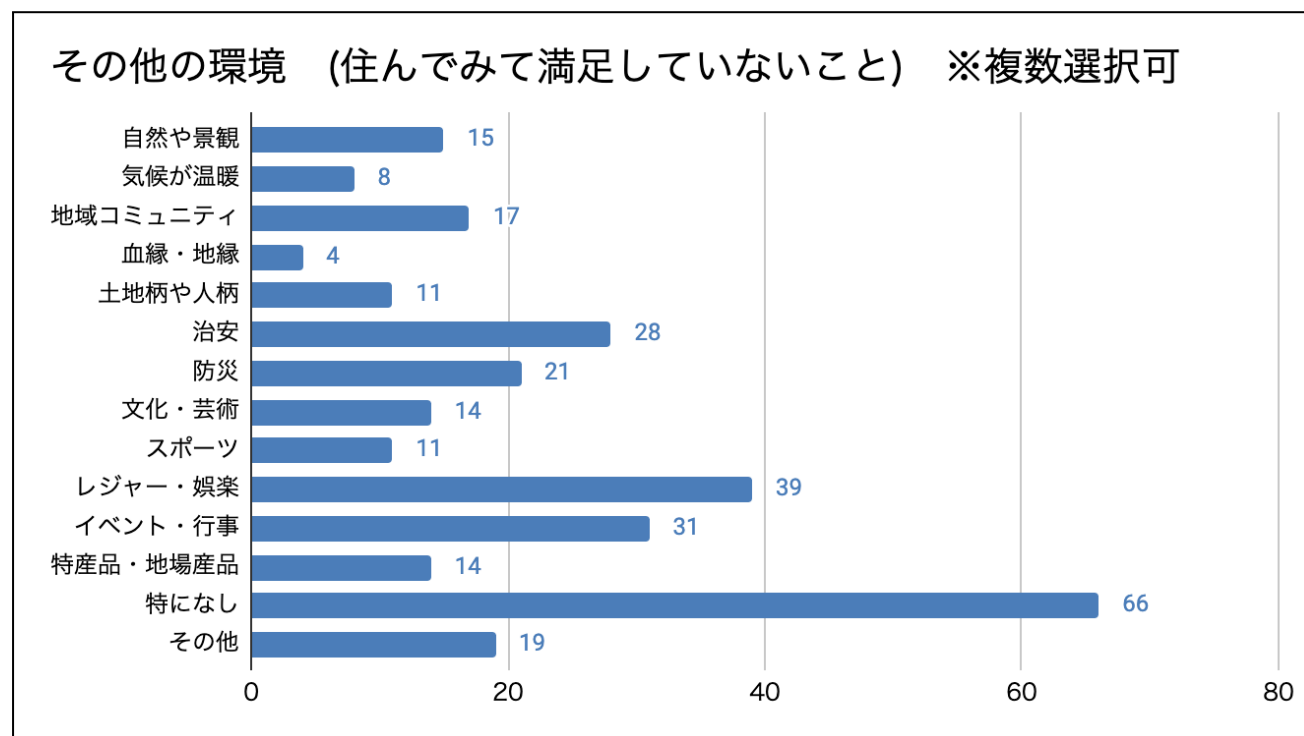
念」を持っているという意見も見られた。

▼考察

働く環境に関してはある程度自分で選べるため、「特になし」の割合が多くなったとみられる。通勤が不便であり、自分の要望にあう就職先を見つけにくいという現状があると考えられる。

問41. その他の環境(住んでみて満足していないこと)

その他の環境 (住んでみて満足していないこと) ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
自然や景観	15	8.4%
気候が温暖	8	4.5%
地域コミュニティ	17	9.6%
血縁・地縁	4	2.2%
土地柄や人柄	11	6.2%
治安	28	15.7%
防災	21	11.8%
文化・芸術	14	7.9%
スポーツ	11	6.2%
レジャー・娯楽	39	21.9%
イベント・行事	31	17.4%
特産品・地場産品	14	7.9%
特になし	66	37.1%
その他	19	10.7%
回答総数	298	-
回答者数	178	-



▼解説

「特になし」が66件 (37.1%) で最も多く、次いで「レジャー・娯楽」が39件 (21.9%)、「イベント・行事」が31件

(17.4%)となっている。

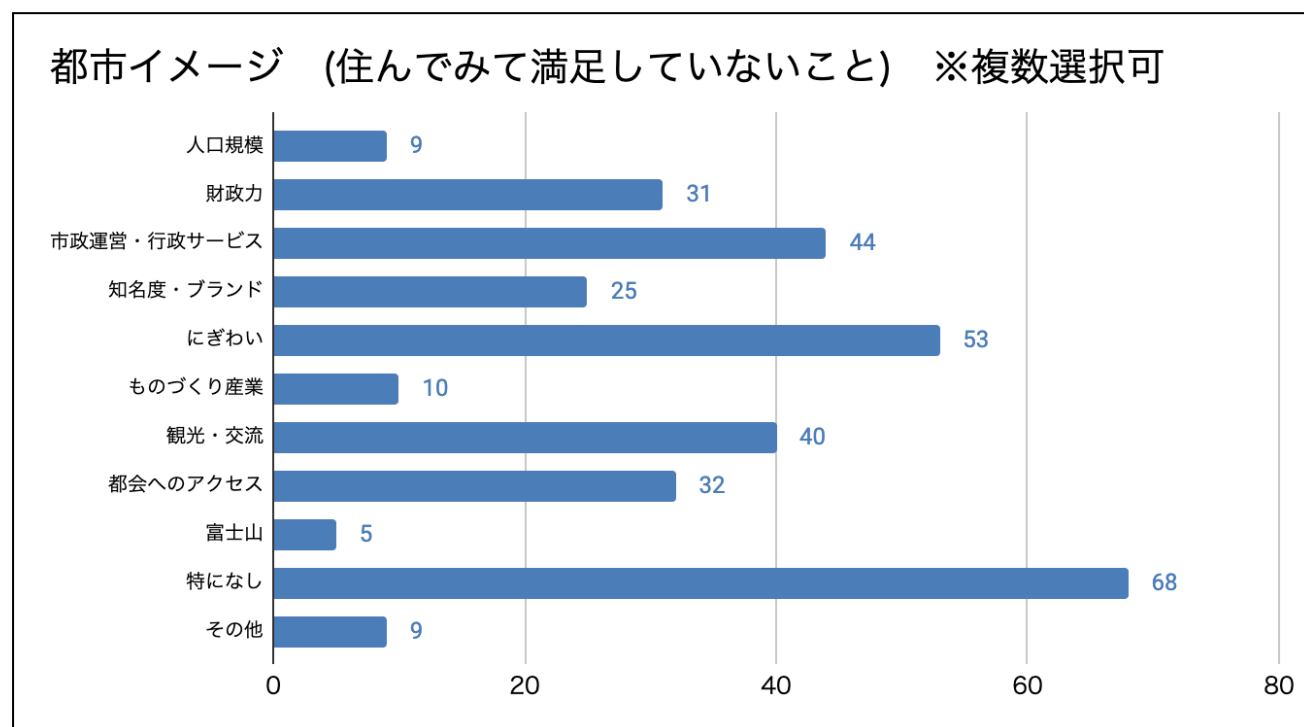
「その他」には「空気が悪い」「空気が臭い」「製紙会社からの匂いが気になる」といった臭気に関する回答が多い。他には「新富士駅と富士駅間の移動手段」「公園の不足と整備不良」「回覧板システム」などの回答もあった。

▼考察

「特になし」を除くと、「レジャーや娯楽施設」、「イベントや行事」に不満を感じる人の割合が多くなっており、まちの活力やにぎわいの不足を感じていることが窺われる。。

問42. 都市イメージ(住んでみて満足していないこと)

都市イメージ (住んでみて満足していないこと) ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
人口規模	9	5.1%
財政力	31	17.4%
市政運営・行政サービス	44	24.7%
知名度・ブランド	25	14.0%
にぎわい	53	29.8%
ものづくり産業	10	5.6%
観光・交流	40	22.5%
都会へのアクセス	32	18.0%
富士山	5	2.8%
特になし	68	38.2%
その他	9	5.1%
回答総数	326	-
回答者数	178	-



▼解説

「特になし」が68件(38.2%)で最も多く、次いで「にぎわい」が53件(29.8%)、「市政運営・行政サービス」が44件(24.7%)となっている。

「その他」には、「人口の多さににぎわいが見合っていない」「家と人口だけが長く、商業施設が弱い」「市外での消費が多い」など、人口に対して市内の経済が活性化していないという回答があった。他には「風光明媚な地域の特性が活かされていない」「自然豊かな景観なのに、工場からの匂いが違和感がある」と

いう回答などがあった。

▼考察

「特になし」を除外すると、にぎわいや観光交流などに対する不満や、市政運営・行政サービスといった市民向けサービスに不満を感じていることがわかる。

問43. 其他のご意見(自由記述)

有効回答 390件のうち、記述があったのは 121 件で、意見をテーマ(分野)ごとに分類し、集約した結果、延意見数は 288件だった。

其他のご意見(自由記述)		件数
道路		27
	車道の整備をしてほしい	13
	歩道の整備をしてほしい	8
	用水路の整備をしてほしい	3
	街路灯・防犯灯を道路に設置してほしい	2
	横断歩道の整備をしてほしい	1
交通手段		56
	車の渋滞の改善策を講じてほしい	12
	新幹線(新富士駅)と在来線(富士駅)のアクセスが不便	8
	車を持っていないと(運転できないと)移動が大変	5
	交通手段が少なく移動が不便	5
	電車やバスの利用方法が分かりにくい	4
	路線バスの本数を増やしてほしい	4
	新幹線(新富士駅)と在来線(富士駅)を結ぶ循環バスなどの交通手段がほしい	3
	コミュニティバスの路線・本数を増やしてほしい	2
	バス停を増やしてほしい	2
	電車や車に乗れば、近くに観光地も多くて関東にも比較的出やすいのは良い	2
	その他(各1件) 高齢者が公共交通のみで買い物に行ける環境を整備してほしい・タクシーがつかまりにくい・コミュニティバスがあつて良かった・バスが時刻表より大幅に遅れるのが困る・バス以外にも同料金帯の他の交通手段がほしい・新富士駅周辺の駐車場が混んでいて車を停められず不便・富士川橋と新富士川橋の間に移動手段がほしい・都市部へのアクセスを良くしてほしい・東京～富士間のバスはあるが運行本数が少なく、駐車場の事前予約が必要で気軽に使いにくい	9
交通マナー		9
	交通マナーが良くない(歩行者の横断妨害、信号無視、速度違反など)	7
	高齢者の運転を不安に感じる	2

施設		8
	市役所の駐車場の1台あたりのスペースを広くしてほしい	1
	中央公園の駐車場の1台あたりのスペースを広くしてほしい	1
	公園が汚くゴミが多い	1
	公園は整備されているところとそうでないところの差を感じる	1
	市民の憩いの場になるような公園や子が遊べる公園が限られている	1
	緑地公園の津波対策として避難タワーなどを作してほしい	1
	図書館の蔵書が豊富。綺麗で明るい雰囲気ですとても利用しやすい	1
	富士球場のグラウンド整備状況が悪くなっている、元の振興公社に戻してほしい	1
富士市の施策(全般)		18
	水道料金が高い	2
	富士市の財政が心配	2
	コンビニで取得できない書類があり不便。市役所での手続きが長時間で困る	2
	行政の効果を感じられず、近隣市にかなわないと感じる	2
	街が衰退していると感じる	2
	その他(各1件) 地域の活性化や若者への支援をさらに充実してほしい・財源の用途に疑問を感じる・津波の防災マップが更新されておらず信用できない・新型コロナワクチンの副作用の周知が不足していると感じる・市子連(富士市子ども会世話人連絡協議会)の活動意義が分からない・未だに市水が通っていない事に落胆している・障害を持っている方々の選択肢が少なすぎる・市民農園以外にも就農支援があっても良いと思う	8
富士市の施策(移住検討時や転入時)		6
	転入時にペーパードライバー講習の案内や補助があったら嬉しかった	1
	住宅建設の際に、太陽光発電やV2H等への補助金が殆どなく、移住先の選択において魅力的に映らなかった	1
	新築関連の補助は一切なかった	1
	引っ越しに関する支援は一切なかった	1
	中古住宅や古民家の購入時のリフォーム支援制度があるといい	1
	仕事を引退後、マイホーム購入時に住宅支援制度があれば利用したい	1
生活環境		18
	製紙工場の臭いが耐え難い・気持ち悪くなる・気になる・頭痛がする	7

その他(各1件) 空気が汚く感じる・野焼きを一年中していて臭い・煮沸か浄水器越しでなければ水道水を飲めない。家は新築なのに水道管が古く感じる・冬でも虫が多く刺されやすい・学校のグラウンドからの土埃が酷く、洗濯物を外に干せない・ゴミ捨て場が自転車で行ける距離ではなく大変すぎる・病院が近くになく、車がないと遠くて困る・とても住みやすくて自然も多く良い環境だと思う・松岡地区はテレビの電波が届かずアンテナがつけられないのが気になる・交通の便もよく、お店も近くにたくさんあるので生活しやすい・市が大きいので日用品の買い物などに困らないのはとてもありがたい	11
子育て	56
子の医療費支援をもっと充実させてほしい(無料にしてほしい)	8
0～2歳の保育料が2人目無料ではない等、近くの市区町村に比べると補助金や支援サービスが少ないと感じる	4
物価高騰している中、市からの経済的なフォローや子育て世帯に良い支援制度をもっと充実させてほしい	4
不妊治療の支援制度を充実させてほしい(費用支援、働きながら治療できる環境づくり等)	3
公園に遊具が少ないので充実させてほしい	3
育児応援金と言ったお金のばらまきではなく、育児と仕事が両立できる環境を整えてほしい	2
保育園の数が少ない	2
もっと未来の子達に向けた支援をしてほしい	2
その他(各1件) 兄弟が同じ保育園に入らず、フルタイムで働けない・公立保育園の給食の白米が市の負担になり、金銭面や親の家事負担が減ったので市長や市職員に感謝。今後の親のためにもぜひ続けてほしい・自分の親の近くで子育てしたい働く人への支援をしてほしい。物件や住宅費用補助等、親と同居しない選択肢も選べるようにしてほしい・子育て支援制度を若い世代に広く周知する工夫をしてほしい・不妊治療助成金はとても助かった。子を無事授かることができた・産後の支援は助かったが、産前の支援はあまり手厚いとは感じなかった・無痛分娩の助成金があったら嬉しい・子の学費支援をもっと充実させてほしい・子の通学用などで電動自転車を購入する時に補助金があるといい・高齢者にはオムツの補助金があるのに、乳児にオムツの補助金がないのはなぜか。子育て世代は大切にされていないと感じる・ひとり親だが、家族が多いので全く手当が受けられない事が多い。所得によって学費が下がる枠などを増やしてもらえると家計が助かる・非課税世帯だけでなく年収400～500万円前後の世帯にも0～2歳の保育料無償化の支援がほしい・保育料2人目以降無料を真剣に検討して欲しい・第三子以降の保育料無償化を所得制限なしにしてほしい・富士山が近くにある川や水が多いのに、安心して水遊びできる親水公園がない・公園に整備された芝生や砂場を作してほしい・雨が降っても小さな子が楽しめる施設がもっとあると良い。晴天時は公園で遊べて助かっている・子がめいっぱい遊べる場所をもっと作ってほしい・使われていない市の建物や土地を子供のために有効に活用してほしい・小学校の通学は個人でなく、集団登校の方が良いと思う(安全、上級生、下級生との関わり)・小学校に編入する際の説明が不足している。転入者にはわからない地区の名前や、暗黙の独自のルールがあるように感じる・就学や転校時の市役所の説明がたらい回しで、一部署で一括で説明してほしい・大手塾が富士駅周辺に集中している。他のエリアにもあったらありがたい・地元との教育環境の違いに戸惑うかもしれないと不安・PTAを廃止してほしい	28

	発達障害児への支援が手厚くて安心でき、富士市に来て良かった・子の用品の交換会があり安く手に入って助かる	
生活ルール		8
	ゴミの出し方が無責任でルールを守らない人が多い	2
	ゴミの分別はいつも迷うが、令和5年10月発行の「富士市ごみの分け方便利帳」は丁寧で分かり易くとても助かった	1
	ゴミの分別が細かすぎる	1
	歩きタバコが多く、タバコの吸殻が道路にたくさん落ちている	1
	犬のフンがよく道路に落ちている	1
	川に立ちションしてる人や、川にゴミを捨てている人を見た	1
	県営団地に外国人が多いが、ルールを守らず掃除もしない。日本人が損している。日本人の税金を使った日本人のための県営団地ではないのか	1
観光施策		14
	富士山をもっと観光資源として活かしてほしい	6
	富士山の景観整備が行き届いていない	1
	富士山夢の大橋の対応が残念。観光施策の機会を潰したように感じた	1
	国内旅行者やインバウンド観光客の訪問をもっと活用してはどうか	1
	市の観光担当は地元出身者以外の若い方に頑張ってもらうべきだと思う	1
	様々なイベントを実施しているがプロモーションが下手。ドラマやCMの撮影を行っているので聖地マップなどを作ってみてはどうか	1
	漁港を盛り上げて観光地化し、長屋にいくつかお店が入るような飲食店を作ってはどうか	1
	海に関するレジャーがほぼ無いに等しくすごくもったいない。富士市にマリーナを含む海洋レジャー施設が出来たら、自分の船を富士市に移動して、美味しい海の幸を出来る限り発信させてもらいたい	1
	温暖な気候を活用した農作物を特産品にできるポテンシャルを持つ土地柄。PRに力を入れて富士ブランドとして醸成は可能と感じる	1
まちづくり		33
	富士駅周辺は富士市の玄関口のはずなのに、利便性が悪く活気がない	4
	富士駅前や吉原の商店街は活性化、新陳代謝が必要だと思う	3
	新富士駅近くに飲食店などのお店が少ない	3
	富士市に映画館がひとつも無いのがとても不満	2

	富士市内にデパートや商店街等、一日遊べる施設がないのがさみしい	2
	高齢者の見守りはありがたいが、地域活性化のために若い人を威圧せずに町おこししないと商店街がもっと下火になる。昔ながらの繋がりも大切だが、若い世代や外国文化を取り入れる試みも必要だと思う。新しく来た人たちが打ち解けやすい環境をつくってほしい	2
	その他(各1件) 文化芸術分野をもっと充実させてほしい。音楽や自由な表現を見たり作ったりできる場所がほしい・魅力的な商業施設がなく、他市からの来訪者が少ないと感じる・富士南イオン内の店舗が少なすぎる。子が楽しめる場所にもなっていない・大規模施設が点在しており、中途半端にお互いの距離がある・ショッピングセンターを誘致してほしい・文化を支える本屋さんを誘致してほしい・トイザらスなど大型のおもちゃ屋を誘致してほしい・ららぽーとは最寄りにあるが、コストコ、IKEAがとても遠い。新富士インター周辺にコストコやIKEAを誘致してほしい・富士市内で買い物が完結できれば嬉しい。富士市内で経済を完結させることができれば富士市の景気がよくなると思う・企業が少なく、有名大学も存在しないため、若者が少なく将来性を感じられない・若者を増やしたいのであれば目玉になるような施設を誘致した上で子育てがしやすい施設を増やしたり補助をしたりすればいいと思う・元吉原地区は何もない。近くにコンビニやスーパーがなくて不便。車が不可欠なので高齢者は困る・20代が住みやすいような交通の便と住環境になってほしい・ペット連れで行ける場所を増やしてほしい・富士市は広すぎるからなのか色々なイベントがあっても小ぢんまりしていて華がないと感じる・自治会は必要なのか・富士中央公園の芝生広場でイベントをやっている楽しい	17
働く環境		3
	企業や工場が多く、働く環境も周辺市町村より良いと思う	1
	近隣に大企業が少なく、転職先が限られる	1
	県外に出た学生とのマッチングが取れていない。学生や大学に対するアピールなど対策すべき	1
治安		9
	知人でもないお爺さんに突然、子を叩かれたり説教されたりした。若い人や子育て世代を受け入れる心の余裕を持ってない高齢者が一定数いる	2
	治安が悪い	2
	水商売の店舗が多い地域は子を連れて行きにくい・夜の帰宅が怖い	2
	バイクの空ぶかしを根絶させてほしい	1
	不審者が多い	1
	クマの出没情報が出たことがあり、安心して遊びに行けない	1
富士市の印象		13
	土地柄や人柄が冷たい	2
	商店と田畑が無くなり家と車ばかりが増えてとても危険で不便になった。老後に住むには不安を感じる	1

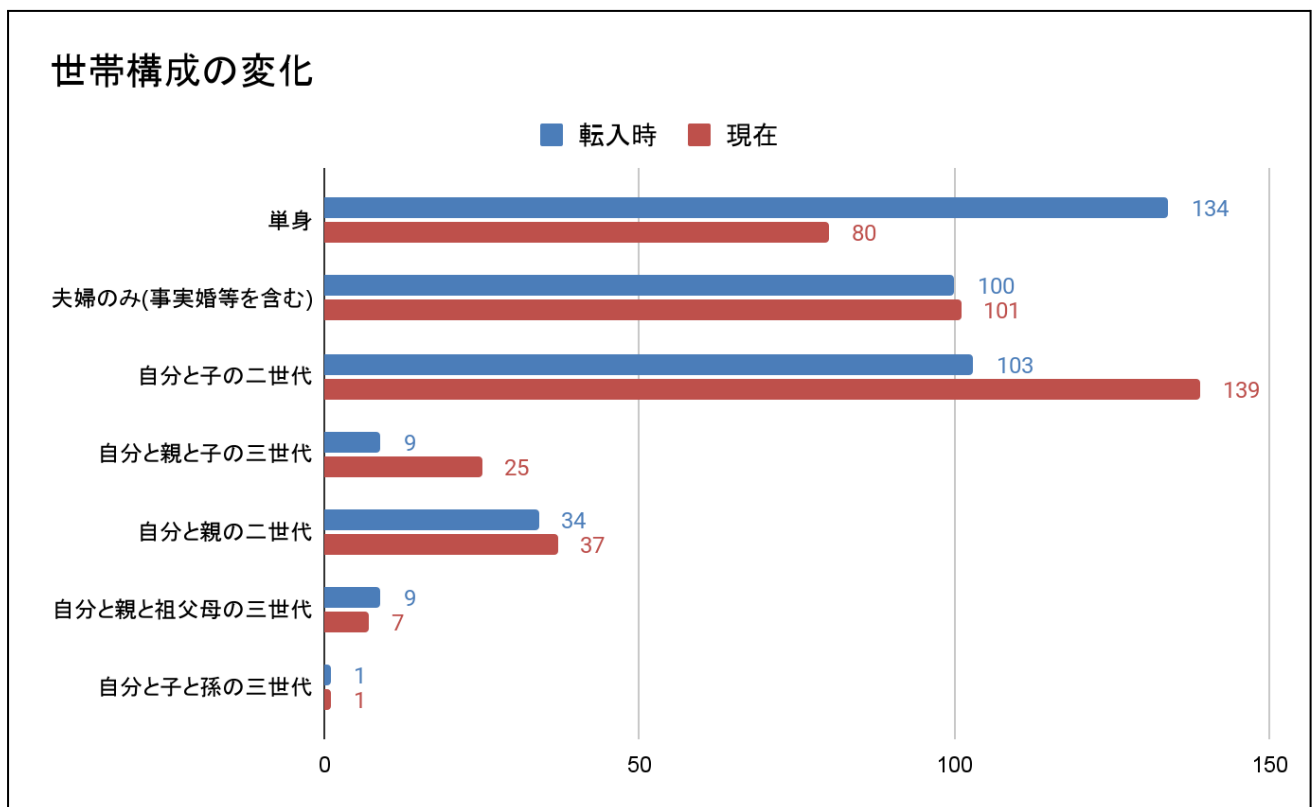
保育園の数が少ないなど、子育て世代には優しくない地域だと思う	1
親族がもともと富士市に住んでいて子育てを手伝ってもらえているので引っ越したメリットはあるが、富士市自体にはメリットは感じない	1
周囲にすすめたい良い街だと思う	1
実家の農業を受け継ぎ、富士ブランドで勝負出来る農業をしていきたいと思う。富士山があり、岩本山、野田山、富士川や潤井川があり、砂浜があり、港もある、開発出来そうな商店街もある。資源を活かすネットワークで、富士市を静岡県で一番にぎやかな街にしたい	1
人口県内3位と聞いてがっかりした。もう少し頑張ってもらいたい	1
財政や子育て支援、大型ショッピング施設など、清水町や長泉町にまだまだ及ばないと感じる。富士市と聞いて「紙の街」という以外ピンとこない。もっと老若男女が住みやすい改革が必要と強く感じている	1
実家があるから住んでいるが、将来的に住むことは無い	1
移住担当者が親身になって相談に応じてくれた。とても感謝している	1
市役所やその他の施設の人の対応も親切で、気持ちよく暮らせている。いつもありがとう	1
頑張ってください。おそらく一生住むので、期待してます	1
その他	10

第3章 クロス集計等の結果

1. 転入前後の比較

(1) 世帯構成の変化（問4. × 問9.）

世帯構成	転入時	現在	差	増減	変化率
単身	134	80	-54	減	-40.3%
夫婦のみ(事実婚等を含む)	100	101	1	増	1.0%
自分と子の二世帯	103	139	36	増	35.0%
自分と親と子の三世帯	9	25	16	増	177.8%
自分と親の二世帯	34	37	3	増	8.8%
自分と親と祖父母の三世帯	9	7	-2	減	-22.2%
自分と子と孫の三世帯	1	1	0	変化なし	0.0%
総計	390	390	-	-	-



▼解説

件数の変化をみると、「単身」は転入時の134件が現在は80件となっており、54件減少している。「夫婦のみ(事実婚等を含む)」は、転入時の100件が現在は101件と1件増、「自分と子の二世帯」は転入時の103件が現在は139件と36件増加している。「自分と親と子の三世帯」は、転入時の9件が現在は25件増、「自

分と親の二世代」は転入時の34件が現在は37件と3件増加している。「自分と親と祖父母の三世代」は、転入時の9件が現在は7件と2件減、「自分と子と孫の三世代」は転入時と現在とで変化はなかった。

変化率をみると、「自分と親と子の三世代」が177.8% (16件増)と最も変化が大きく、次いで「単身」の-40.3% (54件減)、「自分と子の二世代」の35.0% (36件増)だった。

▼考察

「単身」の減少については、「夫婦のみ(事実婚を含む)」が1件増に留まり、「自分と子の二世代」や「自分と親と子の三世代」がそれぞれ増加していることから、転入時から現在までの期間に結婚や妊娠、出産を経て子のいる世帯へと変化している事が要因のひとつと考えられる。「転入のきっかけ」として「結婚(事実婚等を含む)」が最も多かった事からも、富士市を結婚後の子育ての拠点として選択していることがわかる。また、「自分と親と子の三世代」、「自分と親の二世代」がそれぞれ増加しており、自分の親との同居が発生したものと推察される。

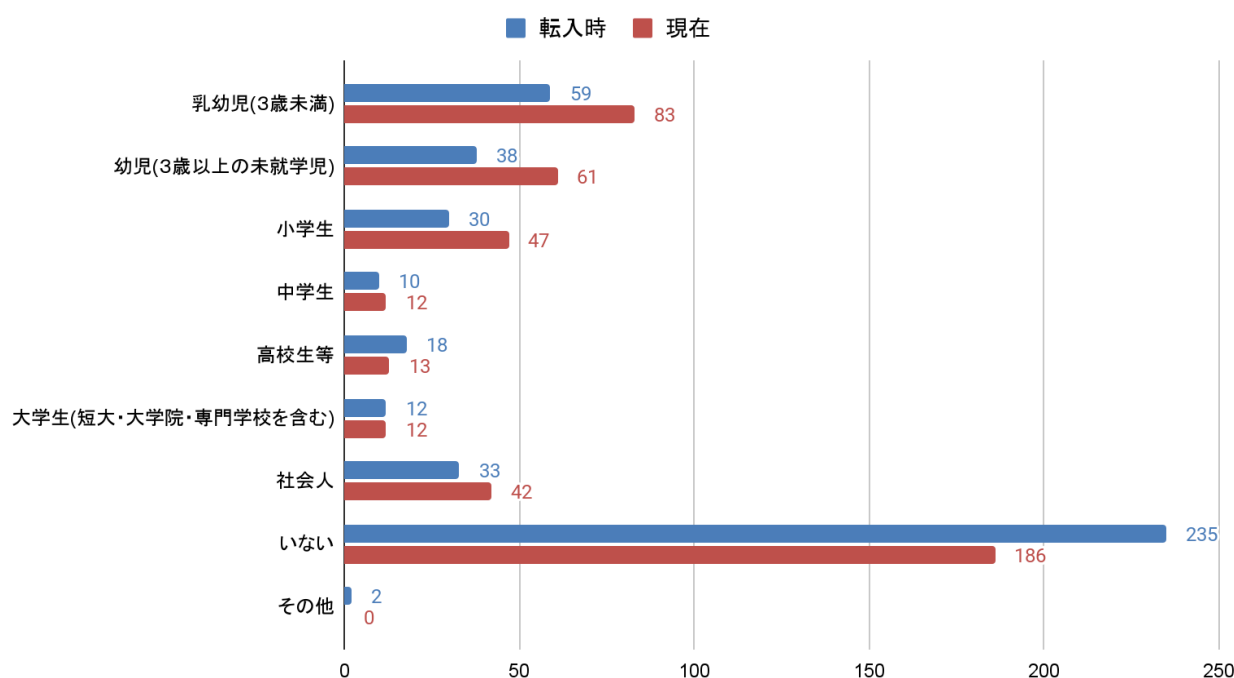
(2) 子の学齢期の変化（問5. × 問10.）

学齢期別 件数の変化と変化率

※2人以上の子がいる場合、該当する項目を全て選択

子の学齢期	転入時	現在	差	増減	変化率
乳幼児(3歳未満)	59	83	24	増	40.7%
幼児(3歳以上の未就学児)	38	61	23	増	60.5%
小学生	30	47	17	増	56.7%
中学生	10	12	2	増	20.0%
高校生等	18	13	-5	減	-27.8%
大学生(短大・大学院・専門学校を含む)	12	12	0	変化なし	0.0%
社会人	33	42	9	増	27.3%
いない	235	186	-49	減	-20.9%
その他	2	0	-2	減	-100.0%
回答総数	437	456	19	増	-
回答者数	390	390	-	-	-

子の学齢期の変化



▼解説

件数の変化をみると、増加については、「乳幼児(3歳未満)」が24件増と最も増加しており、次いで「幼児(3歳以上の未就学児)」が23件増、「小学生」が17件増、「社会人」が9件増、「中学生」が2件増だった。減少については、「いない」が49件減と最も減少しており、次いで「高校生等」は5件減、「その他」は2件減だった(内訳: 高校中退2件)。「大学生(短大・大学院・専門学校を含む)」は件数の変化はなかった。

変化率をみると、その他を除いて「幼児(3歳以上の未就学児)」が60.5%増と最も高く、次いで「小学生」が56.7%増、「乳幼児(3歳未満)」が40.7%増だった。

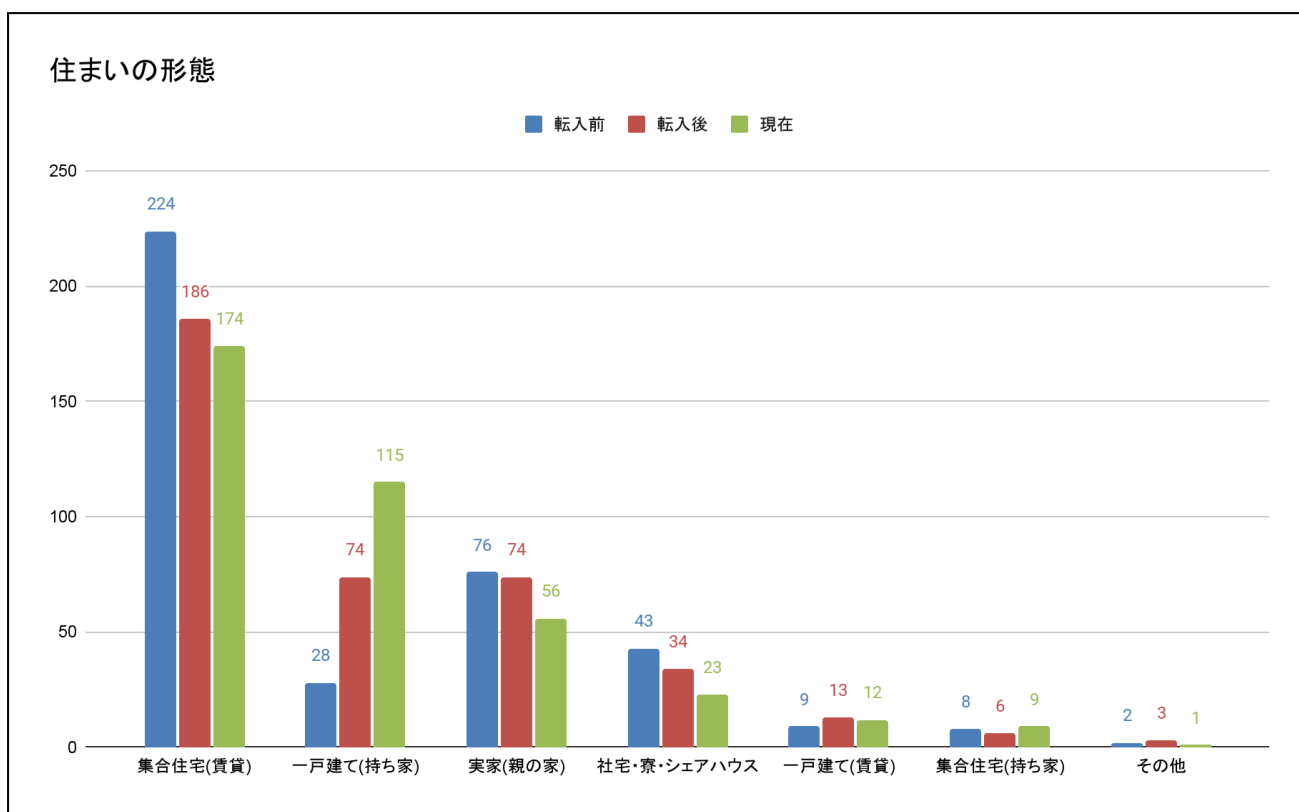
▼考察

「回答総数」が19件増加していることから、転入時から現在までの期間に、子の人数が増加したと考えられる。「乳幼児(3歳未満)」、「幼児(3歳以上の未就学児)」、「小学生」(の内、低学年の一部)の増加は、出生や転入によるものとみられる。進級による学齢期の移動も起こっている。「いない」の49件の減少については、前述した出生に加えて、市外に出ていた「社会人」や「高校生等」の子がUターンして転入した可能性もあると考えられる。「高校生等」が減少し「大学生(短大・大学院・専門学校を含む)」は件数に変化がないことから、「高校生等」は卒業後、市外への進学や就職等により転出している可能性がある。「社会人」の増加については、市外からの転入や、「高校生等」または「その他(内訳:高校中退2件)」の子の就職によるものと考えられる。

変化率をみると、「乳幼児(3歳未満)」から「小学生」までの学齢期の変化率が40.7%～60.5%と他の学齢期と比べて高く、小学生以下の子を持つ世帯が特に増えた事が分かる。

(3)住まいの形態の変化（問21. × 問22. × 問23.）

住まいの形態	転入前	転入後	現在	増減
マンション・アパート等の集合住宅(賃貸)	224	186	174	減
一戸建て(持ち家)	28	74	115	増
実家(親の家)	76	74	56	減
社宅・寮・シェアハウスなど	43	34	23	増
一戸建て(賃貸)	9	13	12	増
マンション等の集合住宅(持ち家)	8	6	9	減
その他	2	3	1	減
総計	390	390	390	-



▼解説

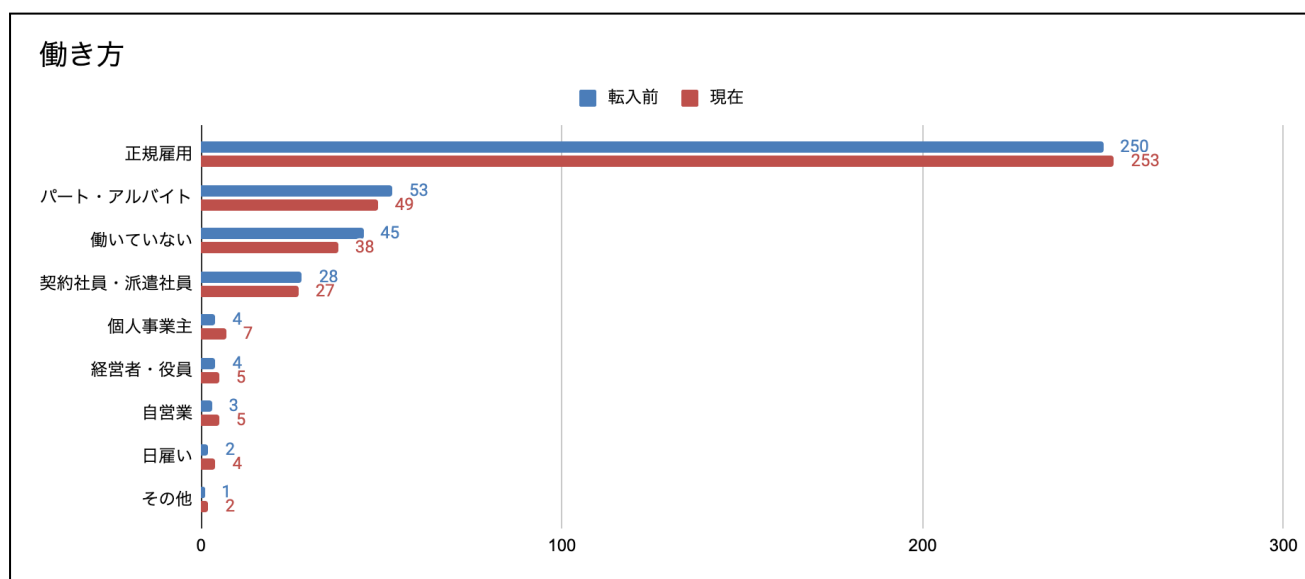
転入前の住まいが集合住宅(賃貸)が224件、一戸建て(持ち家)28件だったのが転入後から現在に対して一戸建て(持ち家)の割合が増え115件となっている。
また実家(親の家)、社宅・寮も転入前に比べると右肩下がり減少している。

▼考察

引越し当初は賃貸集合住宅や実家に住んでいたが、一戸建ての持ち家に住み替えた方が多いと推測される。

(4)働き方の変化（問24. × 問25.）

働き方	回答数 (転入前)	回答数 (現在)	割合 (転入前)	割合 (現在)
正規雇用	250	253	64.1%	64.9%
パート・アルバイト	53	49	13.6%	12.6%
働いていない	45	38	11.5%	9.7%
契約社員・派遣社員	28	27	7.2%	6.9%
個人事業主	4	7	1.0%	1.8%
経営者・役員	4	5	1.0%	1.3%
自営業	3	5	0.8%	1.3%
日雇い	2	4	0.5%	1.0%
その他	1	2	0.3%	0.5%
総計	390	390	-	-



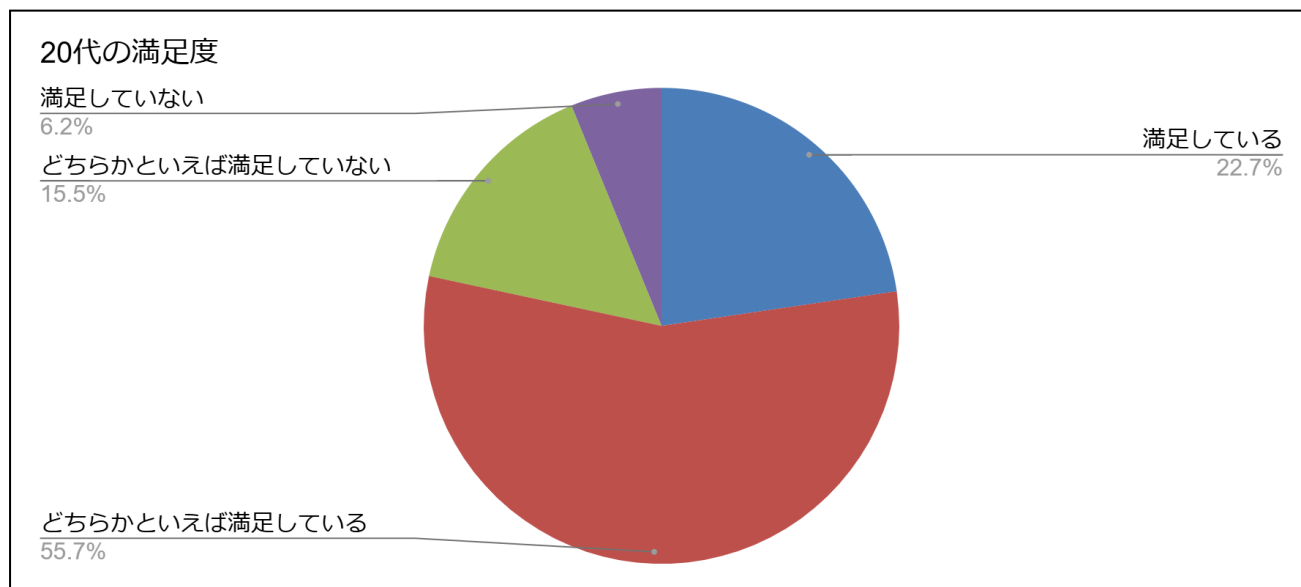
▼考察

転入前と数値としては変化なく「正規雇用」(64.9%)の方が多く、異動など含め富士市から通えて転職をしていない、もしくは富士市から通える勤務先に転職したと思われる。

2.暮らしに対する全体的な満足度に関するクロス集計

(1)年代別の満足度（問1. × 問26.）

20代の満足度	回答数	割合
満足している	22	22.7%
どちらかといえば満足している	54	55.7%
どちらかといえば満足していない	15	15.5%
満足していない	6	6.2%
総計	97	-



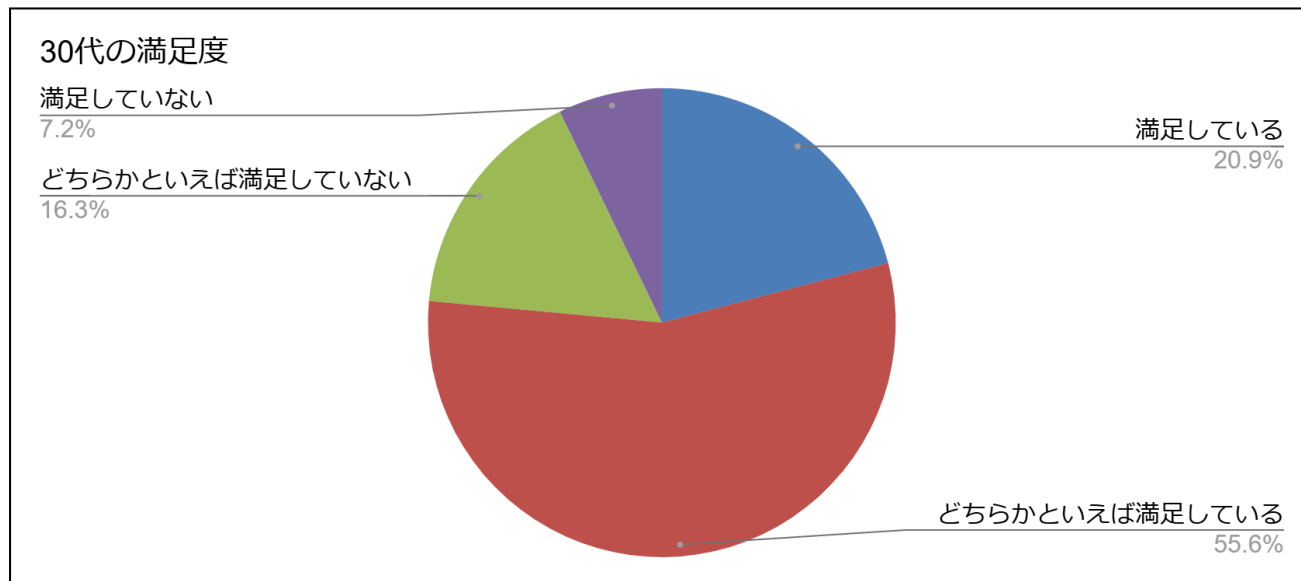
▼解説

20代の満足度をみると、最も多いのが「どちらかといえば満足している」が54件(55.7%)、次いで「満足している」が22件(22.7%)、「どちらかといえば満足していない」が15件(15.5%)、「満足していない」が6件(6.2%)となっている。

▼考察

「どちらかといえば満足している」と「満足している」を合わせると、20代の転入者のうち78.4%が富士市の暮らしに満足していることがわかる。一方で、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると、20代の転入者のうち21.7%が富士市の暮らしに満足していないことが見受けられる。

30代の満足度	回答数	割合
満足している	32	20.9%
どちらかといえば満足している	85	55.6%
どちらかといえば満足していない	25	16.3%
満足していない	11	7.2%
総計	153	-



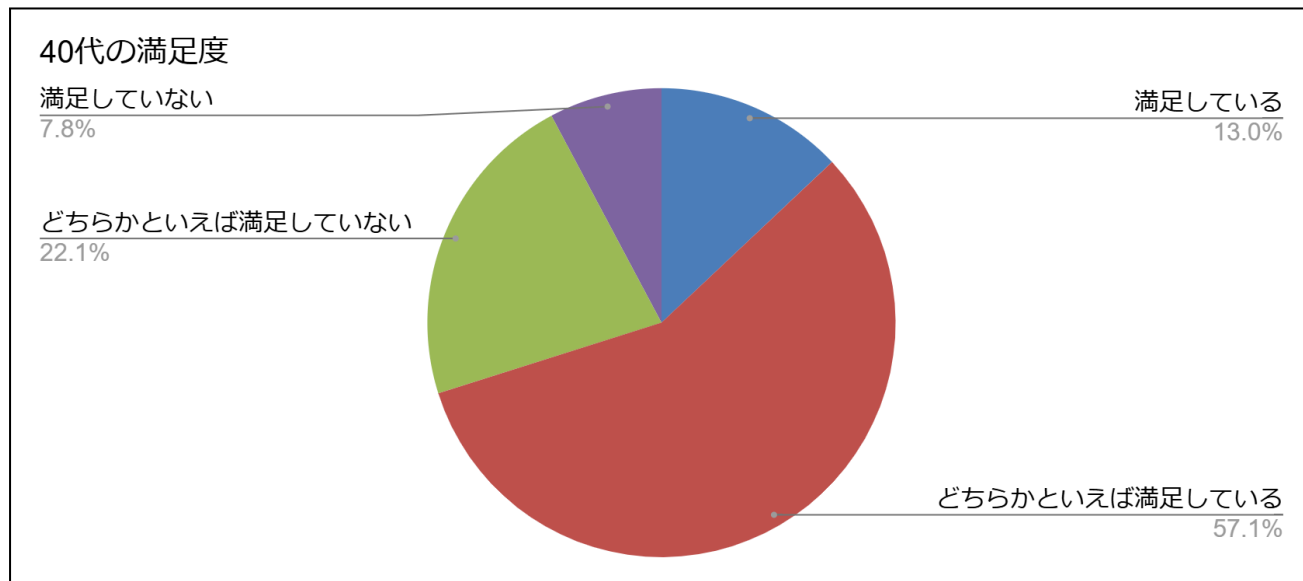
▼解説

30代の満足度をみると、最も多いのが「どちらかといえば満足している」が85件(55.6%)、次いで「満足している」が32件(20.9%)、「どちらかといえば満足していない」が25件(16.3%)、「満足していない」が11件(7.2%)となっている。

▼考察

「どちらかといえば満足している」と「満足している」を合わせると、30代の転入者のうち76.5%が富士市の暮らしに満足していることがわかる。一方で、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると、30代の転入者のうち23.5%が富士市の暮らしに満足していないことが見受けられる。

40代の満足度	回答数	割合
満足している	10	13.0%
どちらかといえば満足している	44	57.1%
どちらかといえば満足していない	17	22.1%
満足していない	6	7.8%
総計	77	-



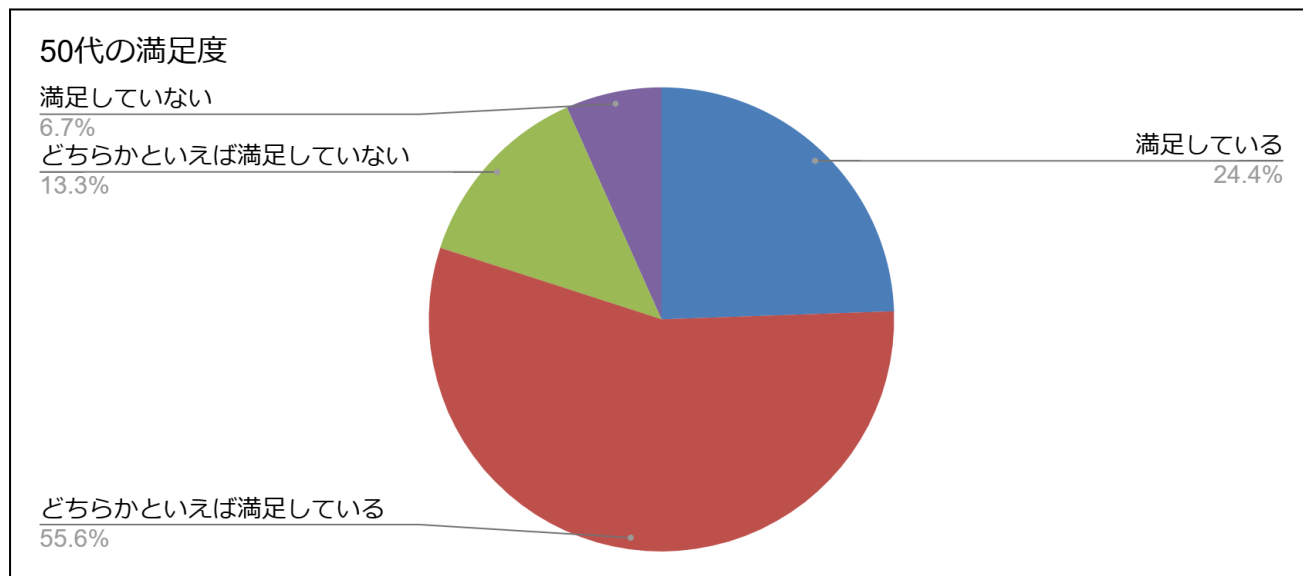
▼解説

40代の満足度をみると、最も多いのが「どちらかといえば満足している」が44件(57.1%)、次いで「満足している」が10件(13.0%)、「どちらかといえば満足していない」が17件(22.1%)、「満足していない」が6件(7.8%)となっている。

▼考察

「どちらかといえば満足している」と「満足している」を合わせると、40代の転入者のうち70.1%が富士市の暮らしに満足していることがわかる。一方で、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると、40代の転入者のうち29.9%が富士市の暮らしに満足していないことが見受けられる。

50代の満足度	回答数	割合
満足している	11	24.4%
どちらかといえば満足している	25	55.6%
どちらかといえば満足していない	6	13.3%
満足していない	3	6.7%
総計	45	-



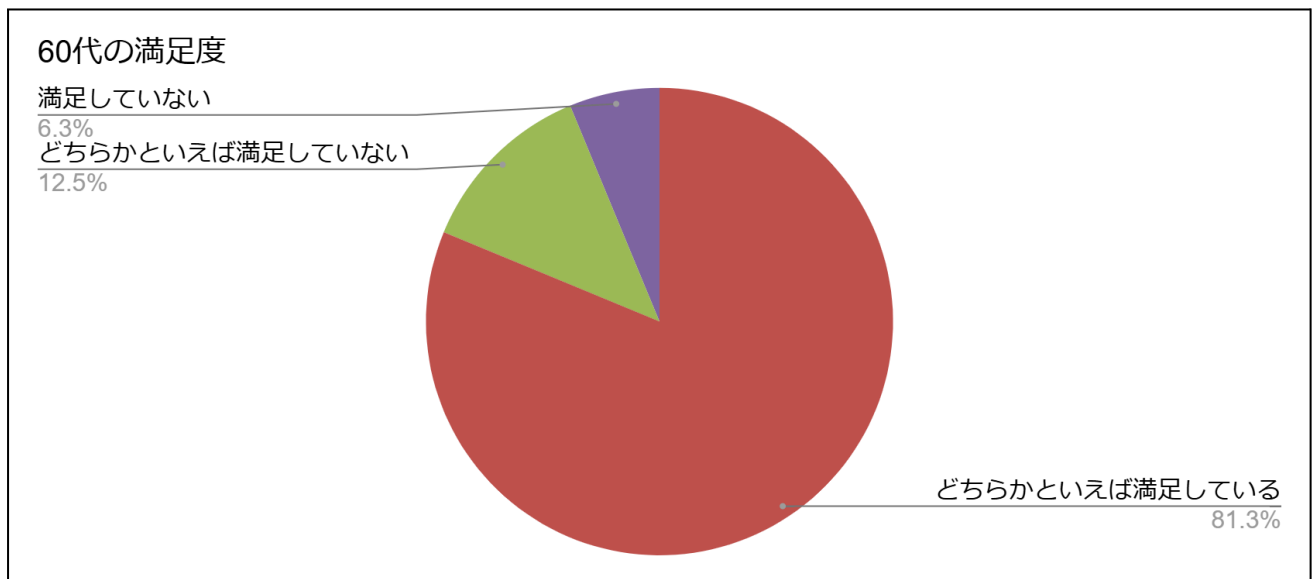
▼解説

50代の満足度をみると、最も多いのが「どちらかといえば満足している」が25件(55.6%)、次いで「満足している」が11件(24.4%)、「どちらかといえば満足していない」が6件(13.3%)、「満足していない」が3件(6.7%)となっている。

▼考察

「どちらかといえば満足している」と「満足している」を合わせると、50代の転入者のうち80.0%が富士市の暮らしに満足していることがわかる。一方で、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると、50代の転入者のうち20.0%が富士市の暮らしに満足していないことが見受けられる。

60代の満足度	回答数	割合
満足している	0	0.0%
どちらかといえば満足している	13	81.3%
どちらかといえば満足していない	2	12.5%
満足していない	1	6.3%
総計	16	-



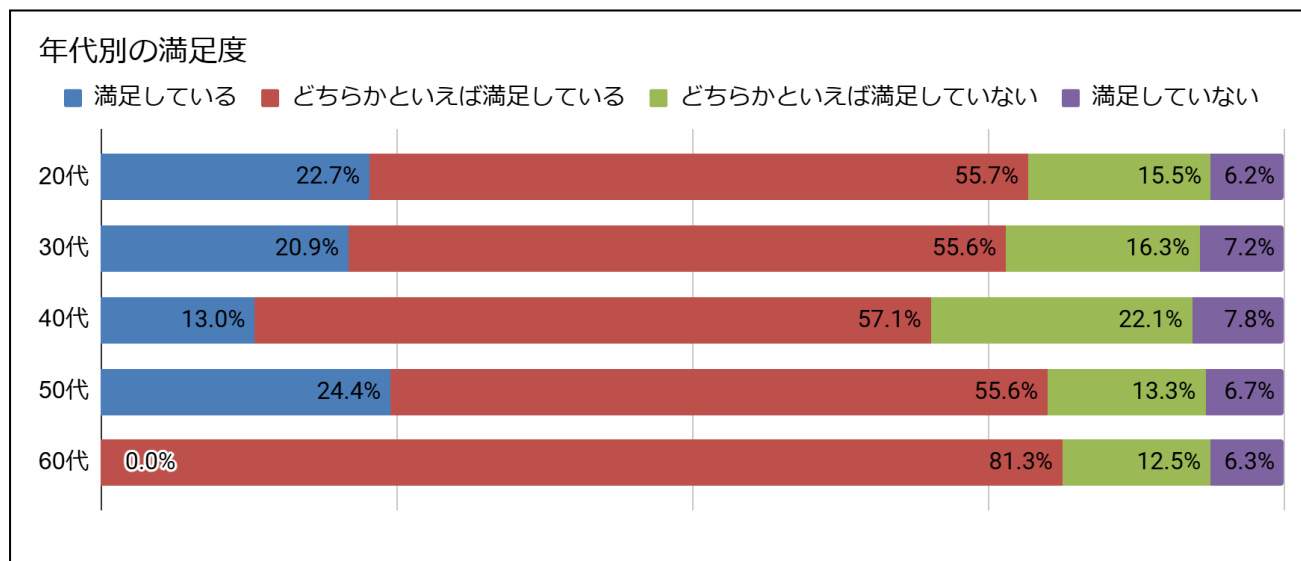
▼解説

60代の満足度をみると、最も多いのが「どちらかといえば満足している」が13件(81.3%)、次いで「どちらかといえば満足していない」が2件(12.5%)、「満足していない」が1件(6.3%)、「満足している」が0件(0%)となっている。

▼考察

「どちらかといえば満足している」と「満足している」を合わせると、60代の転入者のうち81.3%が富士市の暮らしに満足していることがわかる。一方で、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると、60代の転入者のうち18.8%が富士市の暮らしに満足していないことが見受けられる。

年代別の満足度	20代	30代	40代	50代	60代
満足している	22.7%	20.9%	13.0%	24.4%	0.0%
どちらかといえば満足している	55.7%	55.6%	57.1%	55.6%	81.3%
どちらかといえば満足していない	15.5%	16.3%	22.1%	13.3%	12.5%
満足していない	6.2%	7.2%	7.8%	6.7%	6.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



▼解説

「満足している」と回答した割合を年代別に比較すると、「50代」が24.4%と最も多く、次いで「20代」が22.7%、「30代」が20.9%だった。「どちらかといえば満足している」は「60代」が81.3%と最も多く、次いで「40代」が57.1%、「20代」が55.7%だった。

「どちらかといえば満足していない」は「40代」が22.1%と最も多く、次いで「30代」が16.3%、「20代」が15.5%だった。「満足していない」は「40代」が7.8%と最も多く、次いで「30代」が7.2%、「50代」が6.7%だった。

「どちらかといえば満足している」と「満足している」の割合を合わせた数値を年代別に比較すると、「60代」が81.3%と最も多く、次いで「50代」が80.0%、「20代」が78.4%、「30代」が76.5%、「40代」が70.1%だった。

「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の割合を合わせた数値を年代別に比較すると、「40代」が29.9%と最も多く、次いで「30代」が23.5%、「20代」が21.7%、「50代」が20.0%、「60代」が18.8%だった。

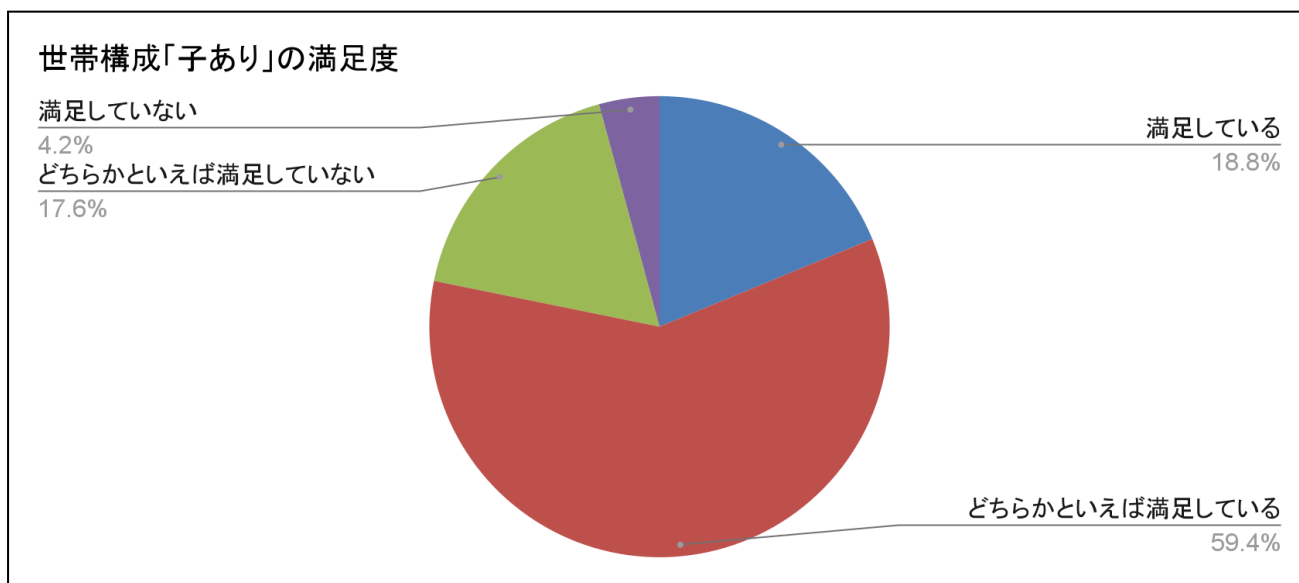
▼考察

「どちらかといえば満足している」と「満足している」を合わせると、すべての年代において70%以上の転入者が富士市での暮らしに満足していることがわかる。

「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると、年代別に目立った差はなく、すべての年代において20%前後の転入者が富士市での暮らしに何らかの事柄で満足していないことがわかる。

(2) 世帯構成別の満足度（問4. × 問26.）

世帯構成「子あり」の満足度	回答数	割合
満足している	31	18.8%
どちらかといえば満足している	98	59.4%
どちらかといえば満足していない	29	17.6%
満足していない	7	4.2%
総計	165	-



▼解説

世帯構成「子あり」の165件でみると、「どちらかといえば満足している」が98件(59.4%)で最も多く、次いで「満足している」が31件(18.8%)、「どちらかといえば満足していない」が29件(17.6%)となっている。

▼考察

「どちらかといえば満足している」が98件(59.4%)と最も多くの回答を得ており、これに「満足している」の31件(18.8%)を加えると、全体の129件(78.2%)が富士市に満足していることがわかる。

アンケート総数での「満足している」の合計が390件のうち298件(76.4%)だったことに対し、世帯構成「子あり」は165件のうち129件(78.2%)で、全体よりわずかに高い満足度を示している。この結果から子のいる世帯はやや高い満足度を持っていることがわかる。

現在の世帯構成「単身」	回答数	割合
満足している	14	17.5%
どちらかといえば満足している	42	52.5%
どちらかといえば満足していない	19	23.8%
満足していない	5	6.3%
総計	80	-

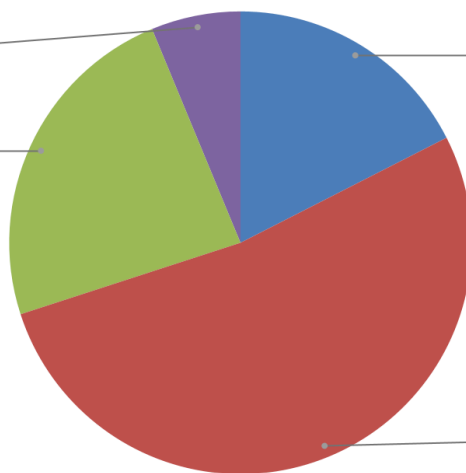
世帯構成「単身」の満足度

満足していない

6.3%

どちらかといえば満足していない

23.8%



満足している

17.5%

どちらかといえば満足している

52.5%

現在の世帯構成 「子のいない世帯」	夫婦のみ (事実婚等を含む)	自分と親の二世帯	自分と親と祖父母の 三世帯	満足度毎の 合計	割合
満足している	16	12	3	31	21.4%
どちらかといえば 満足している	64	14	4	82	56.6%
どちらかといえば 満足していない	11	6	0	17	11.7%
満足していない	10	5	0	15	10.3%
総計	101	37	7	145	-

世帯構成「子のいない世帯」の満足度

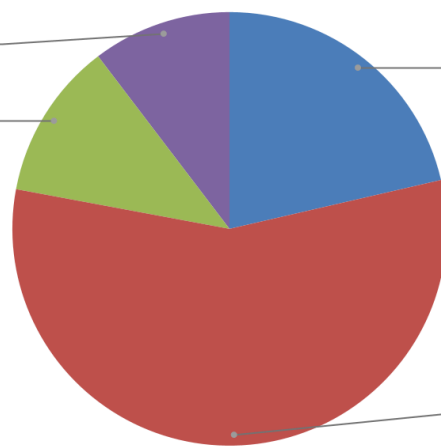
※「単身」を除く

満足していない

10.3%

どちらかといえば満足していない

11.7%



満足している

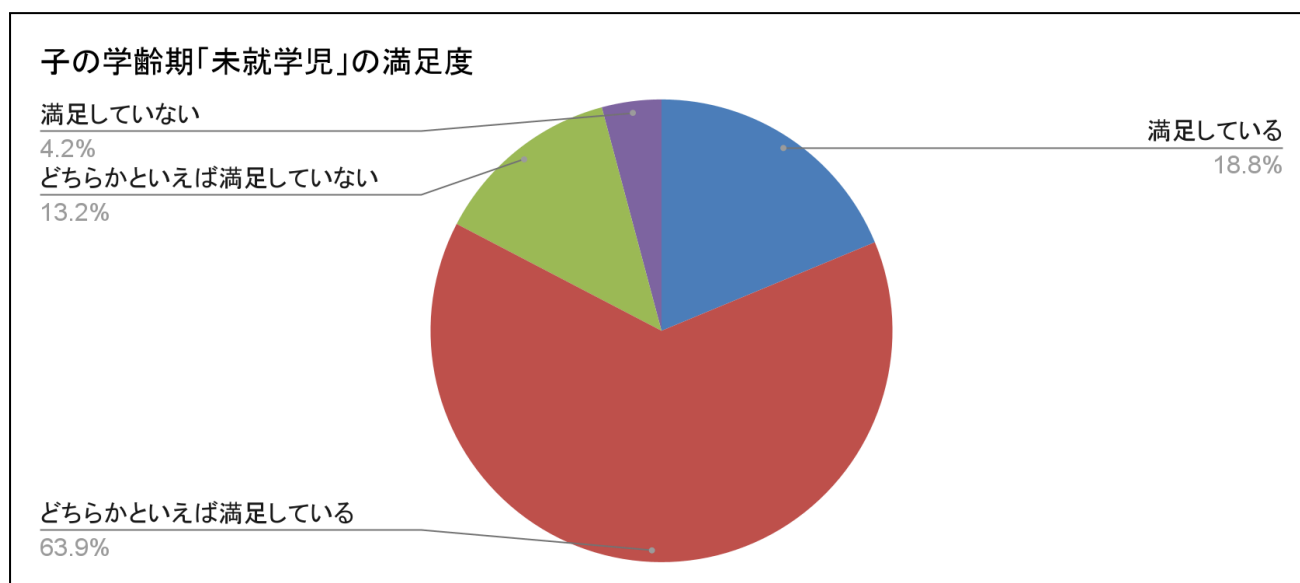
21.4%

どちらかといえば満足している

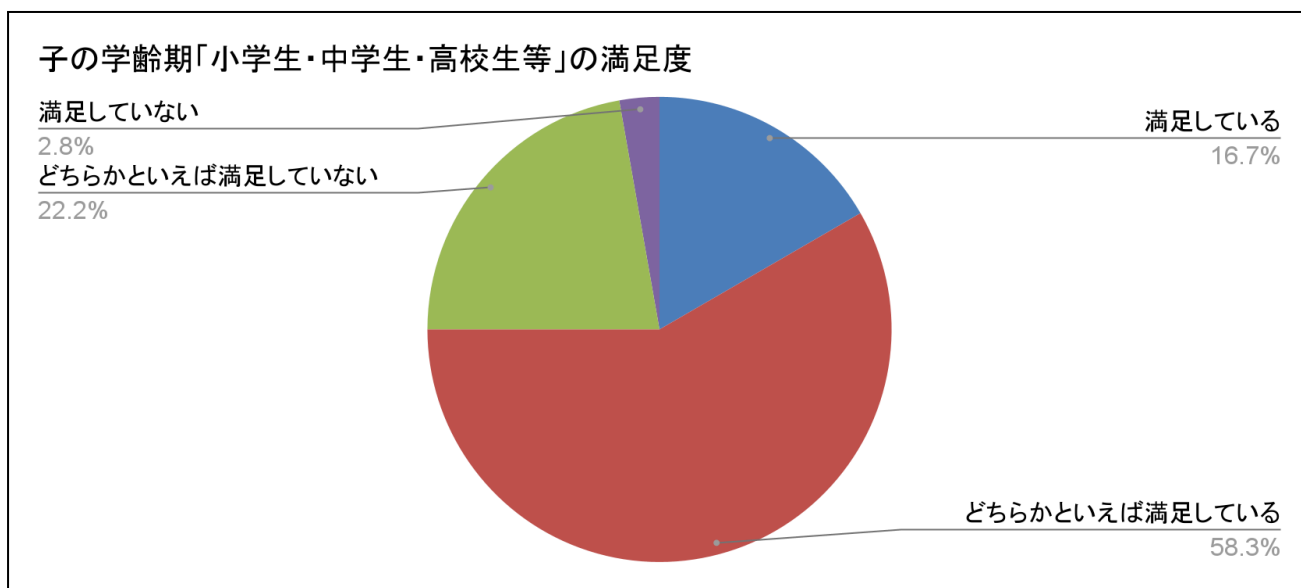
56.6%

(3)子の学齢期別の満足度（問5. × 問26.）

子の学齢期「未就学児」	乳幼児 (3歳未満)	幼児 (3歳以上の未就学児)	満足度毎の 合計	割合
満足している	15	12	27	18.8%
どちらかといえば満足している	51	41	92	63.9%
どちらかといえば満足していない	12	7	19	13.2%
満足していない	5	1	6	4.2%
総計	83	61	144	-

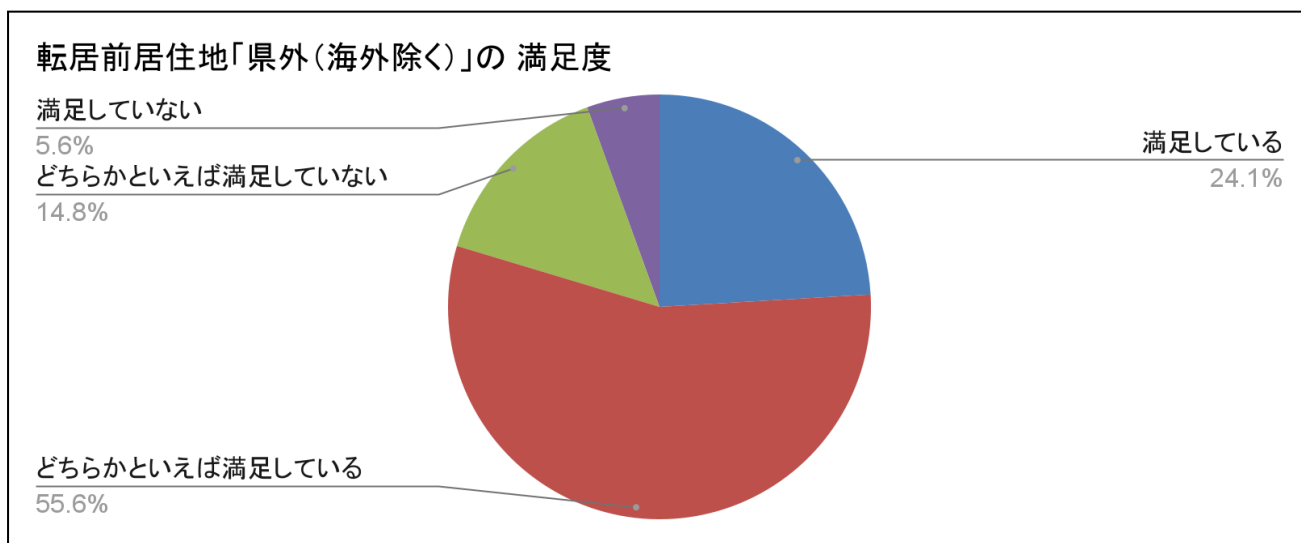


子の学齢期「小学生・中学生・高校生等」	小学生	中学生	高校生等	満足度毎の 合計	割合
満足している	8	1	3	12	16.7%
どちらかといえば満足している	26	8	8	42	58.3%
どちらかといえば満足していない	11	3	2	16	22.2%
満足していない	2	0	0	2	2.8%
総計	47	12	13	72	-



(4) 転居前居住地別の満足度（問8. × 問26.）

富士市での暮らしに対する全体的な満足度（転居前居住地「県外」）	回答数	割合
満足している	39	24.1%
どちらかといえば満足している	90	55.6%
どちらかといえば満足していない	24	14.8%
満足していない	9	5.6%
総計	162	-



▼解説

「転居前居住地が静岡県以外（海外を除く）」の162件でみたところ、「どちらかといえば満足している」が90件（55.6%）で最も多く、次いで「満足している」が39件（24.1%）、「どちらかといえば満足していない」が24件（14.8%）となっている。

▼考察

「どちらかといえば満足している」が90件（55.6%）と最も多くの回答を得ており、これに「満足している」の39件（24.1%）を加えると、全体の129件（79.7%）が富士市に満足していることがわかる。

アンケート総数での「満足している」の合計が390件のうち298件（76.4%）だったことに対し、「転居前居住地が県外」は162件のうち129件（79.7%）で、全体よりやや高い満足度を示している。この結果から他県からの移住者が比較的高い満足度を持っていることがわかる。

富士市での暮らしに対する全体的な満足度(転居前居住地「県内」)	回答数	割合
満足している	35	16.6%
どちらかといえば満足している	125	59.2%
どちらかといえば満足していない	35	16.6%
満足していない	16	7.6%
総計	211	-

転居前居住地「県内」の満足度

満足していない

7.6%

どちらかといえば満足していない

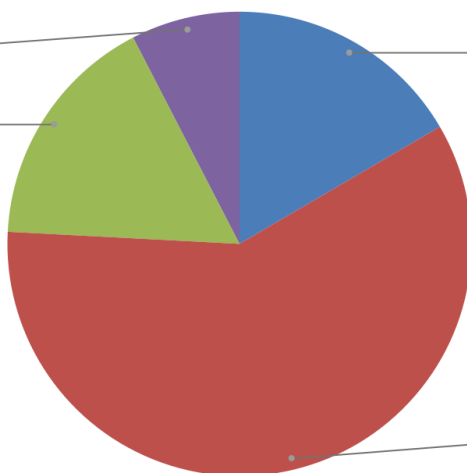
16.6%

満足している

16.6%

どちらかといえば満足している

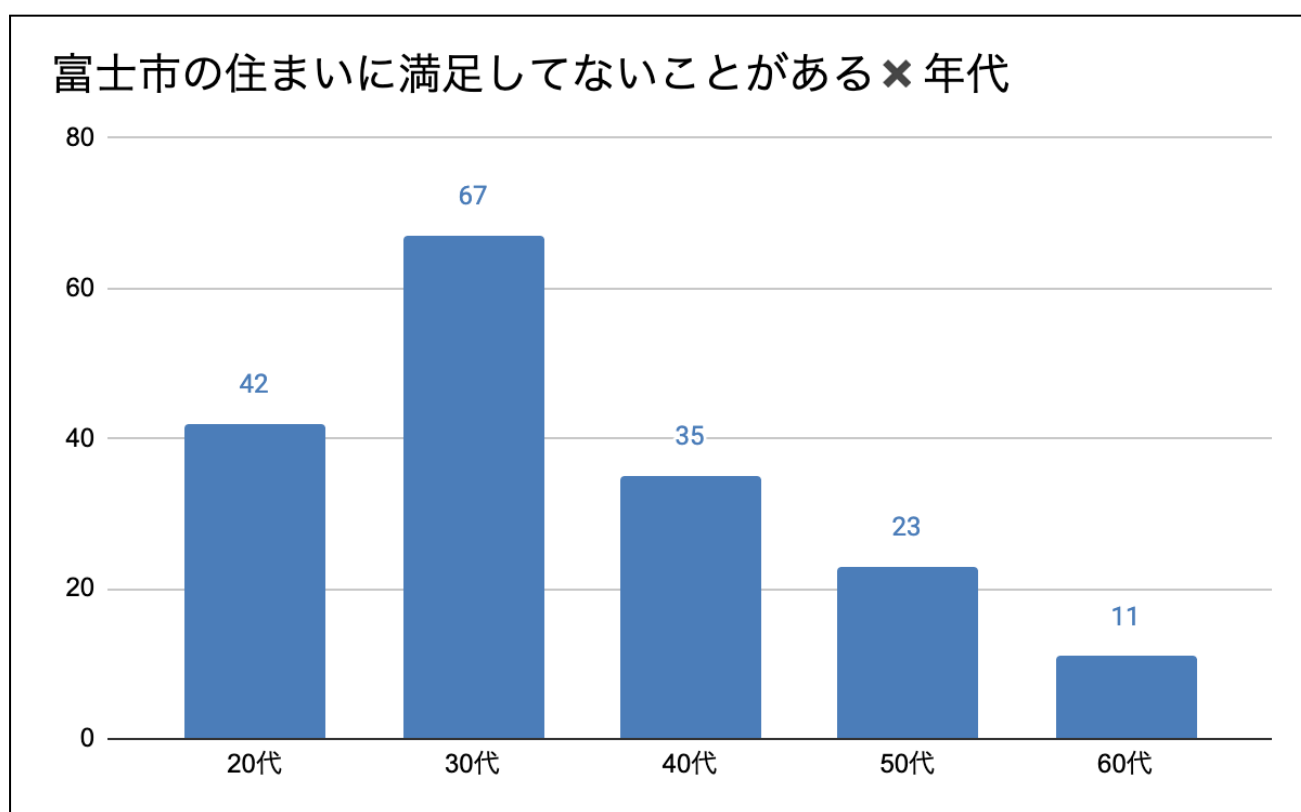
59.2%



(5)満足していないことがあると回答した人の分析

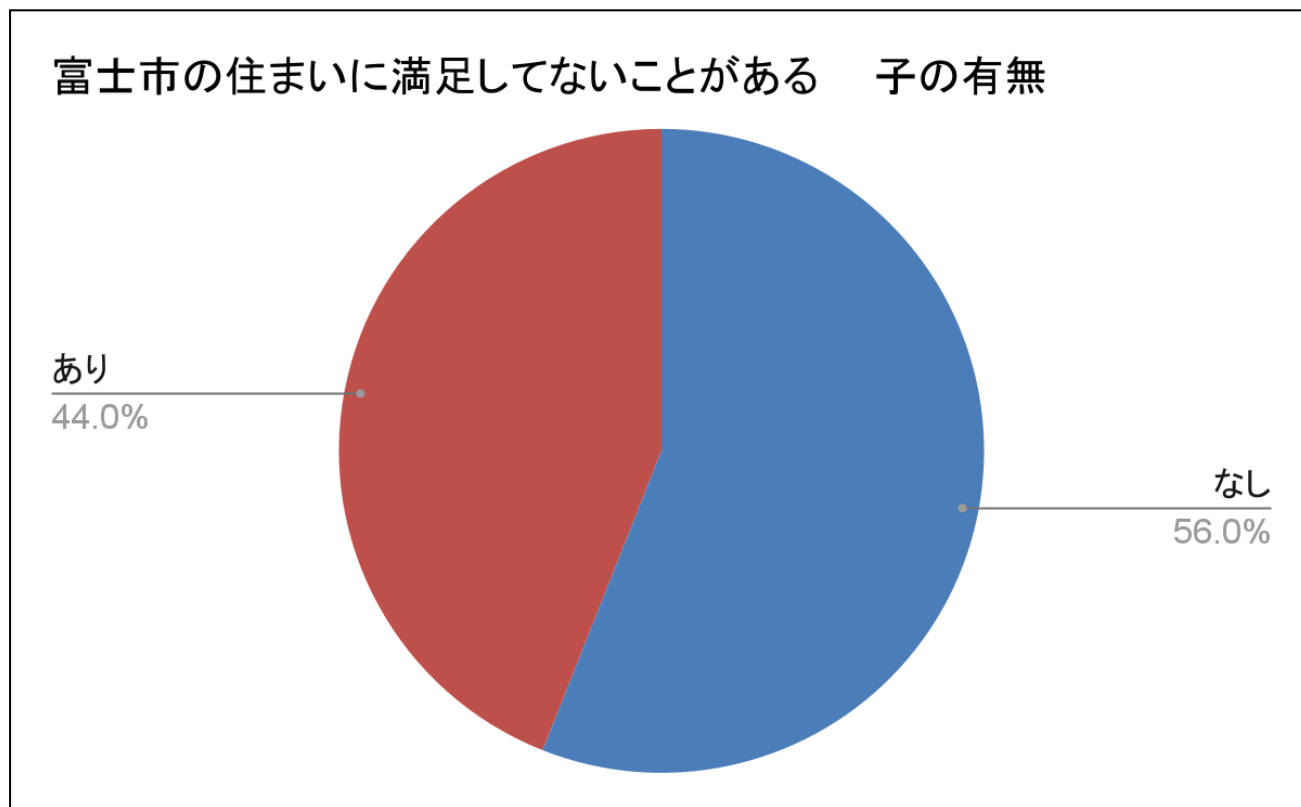
①年代別(問36. × 問1.)

年代	回答数	割合	年代毎の総数
20代	42	43.3%	97
30代	67	43.8%	153
40代	35	45.5%	77
50代	23	51.1%	45
60代	11	68.8%	16
総計	178	-	-



②子の有無(問36. × 問5.)

子の有無(「高校生等」までの子)	回答数	割合
なし	85	55.6%
あり	66	43.7%
総数	151	-

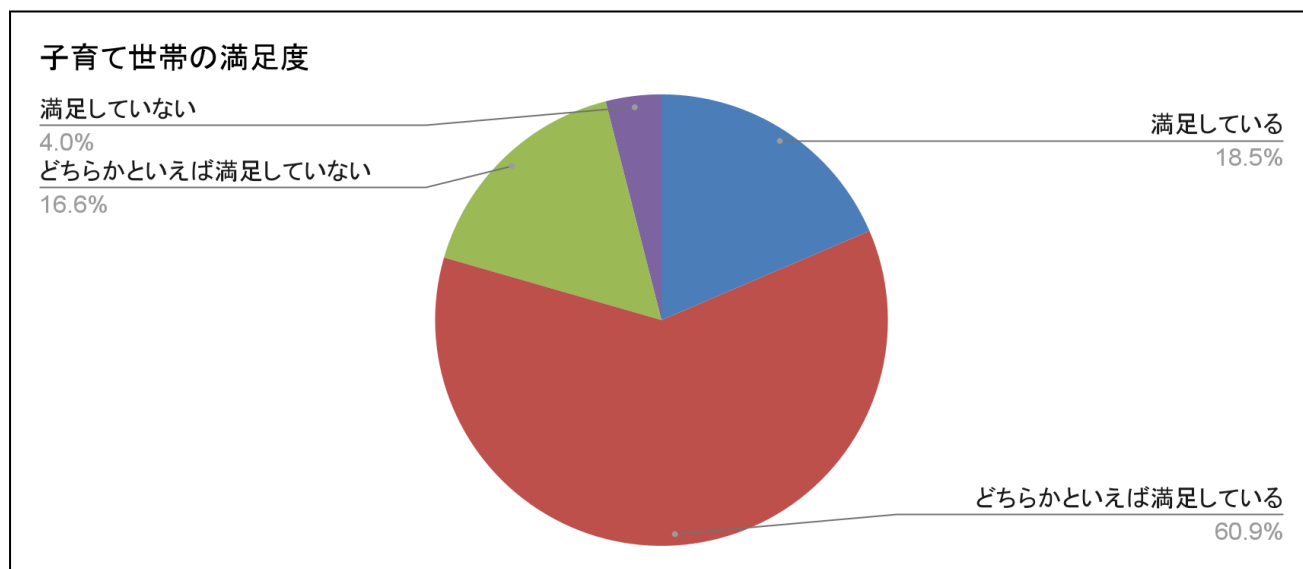


3.子育て世帯※の回答に関するクロス集計

※「子育て世帯」…「乳幼児」から「高校生等」までの子のいる世帯を指す。

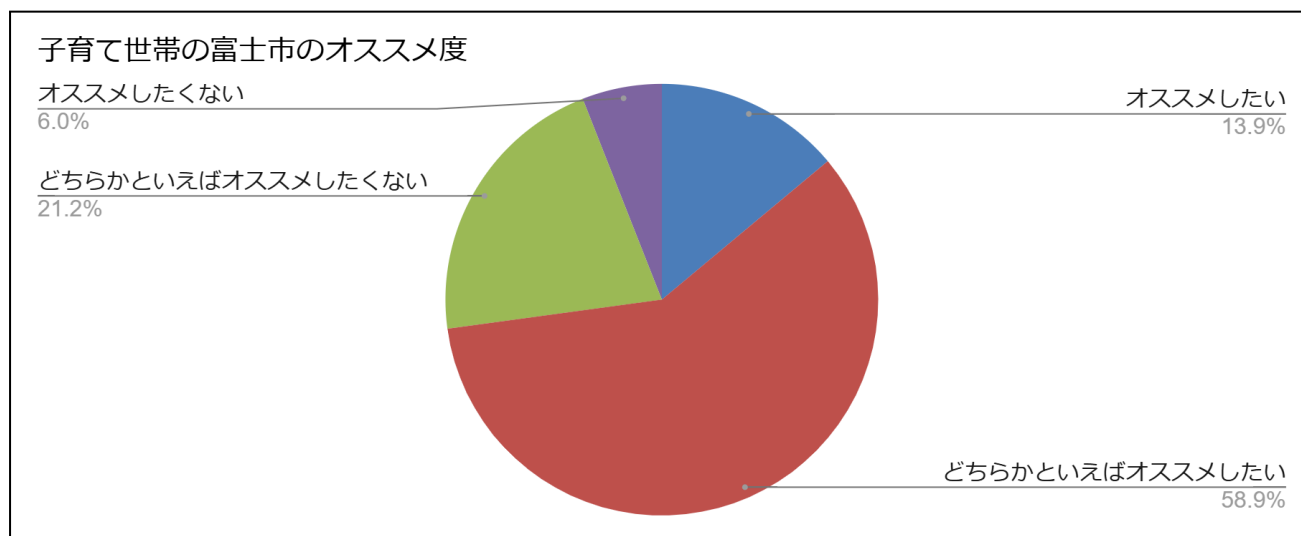
(1) 子育て世帯の暮らしの満足度(問4.(子育て世帯) × 問26.)

子育て世帯の満足度	回答数	割合
満足している	28	18.5%
どちらかといえば満足している	92	60.9%
どちらかといえば満足していない	25	16.6%
満足していない	6	4.0%
総計	151	-



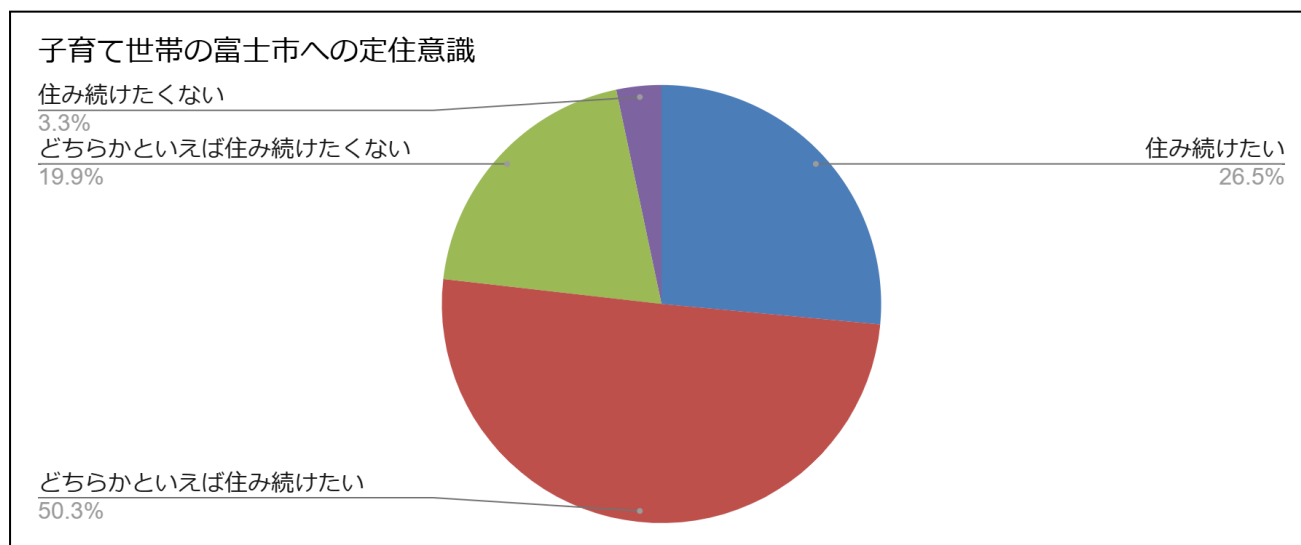
(2)子育て世帯のオススメ度 (問4.(子育て世帯)× 問27.)

子育て世帯の富士市のオススメ度	回答数	割合
オススメしたい	21	13.9%
どちらかといえばオススメしたい	89	58.9%
どちらかといえばオススメしたくない	32	21.2%
オススメしたくない	9	6.0%
総計	151	-



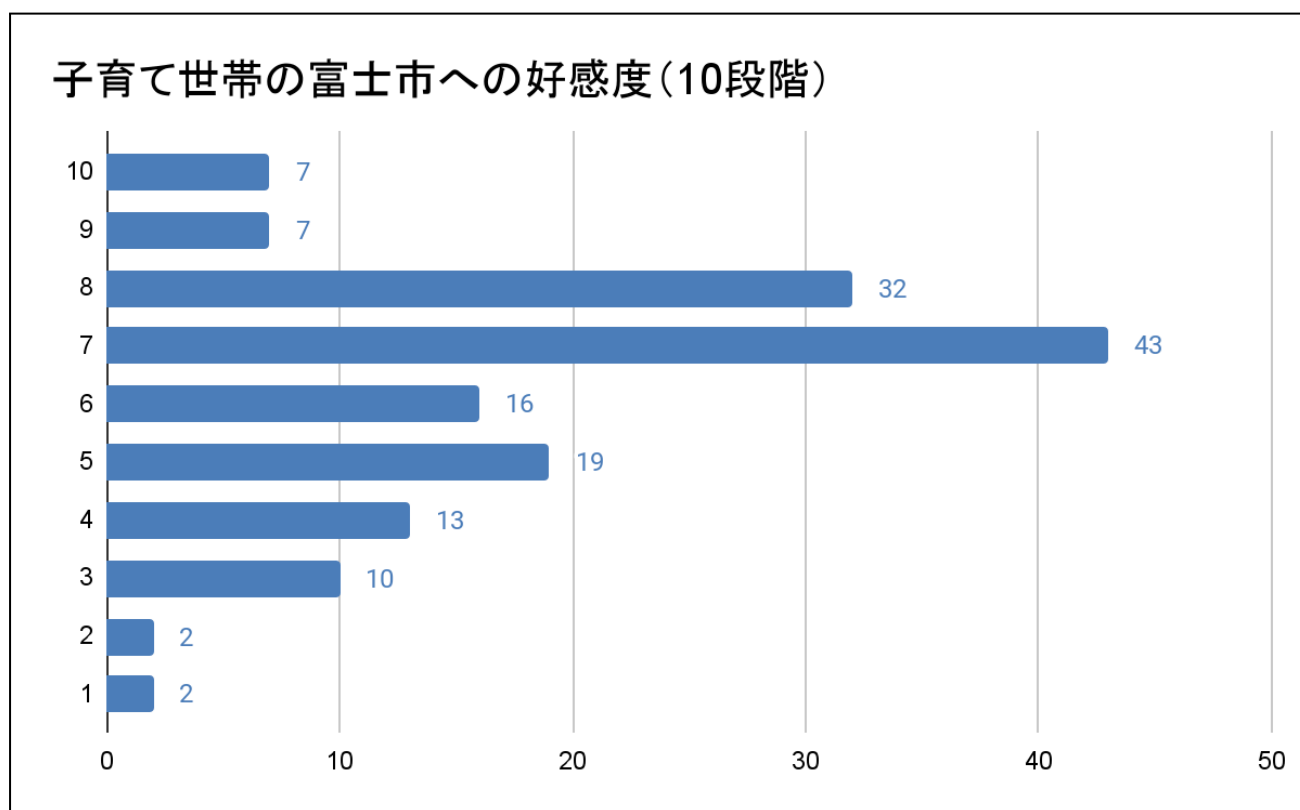
(3)子育て世帯の定住意識 (問4.(子育て世帯)× 問28.)

子育て世帯の富士市への定住意識	回答数	割合
住み続けたい	40	26.49%
どちらかといえば住み続けたい	76	50.33%
どちらかといえば住み続けたくない	30	19.87%
住み続けたくない	5	3.31%
総計	151	-



(4)子育て世帯の富士市への好感度(問4.(子育て世帯)× 問29.)

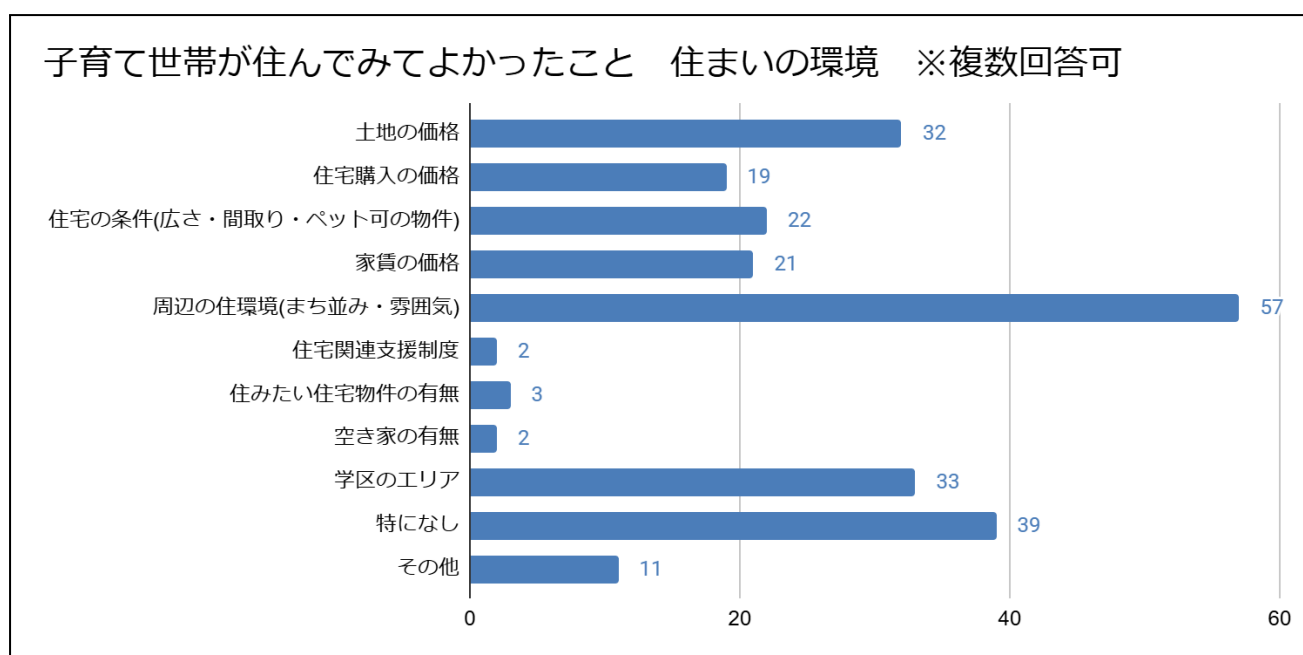
好感度(10段階)	回答数	割合
10	7	4.6%
9	7	4.6%
8	32	21.2%
7	43	28.5%
6	16	10.6%
5	19	12.6%
4	13	8.6%
3	10	6.6%
2	2	1.3%
1	2	1.3%
総数	151	-



(5)子育て世帯が住んでみてよかったと思うこと

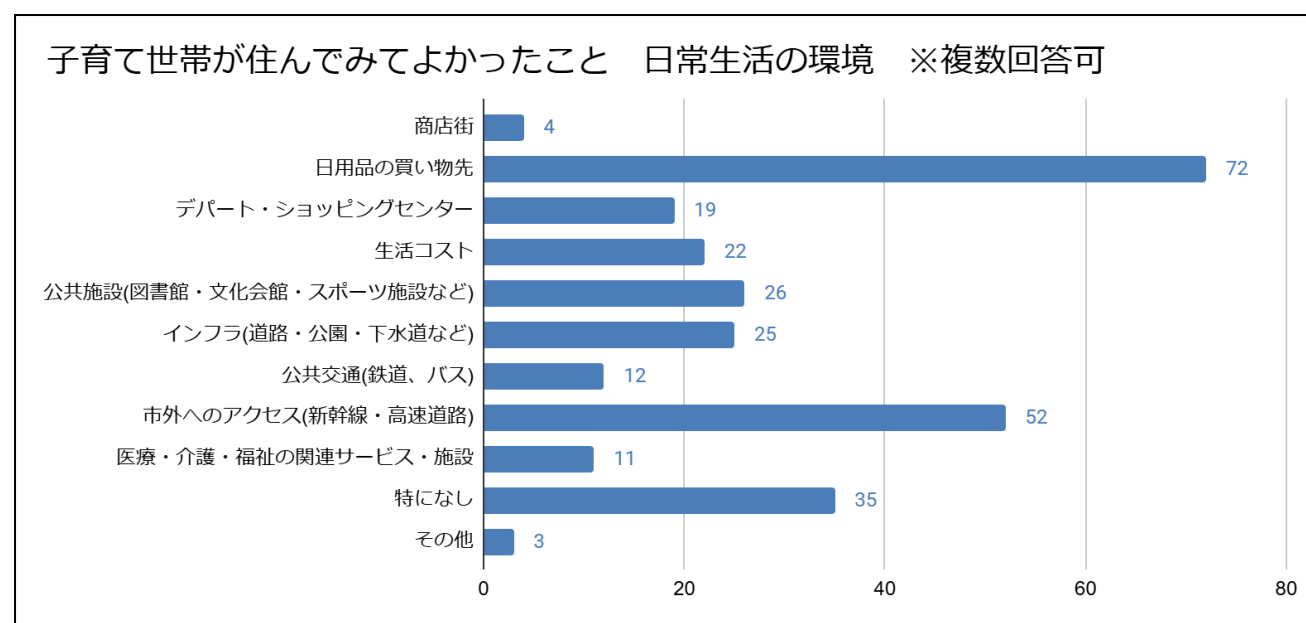
①住まいの環境 (問4.(子育て世帯)× 問30.)

子育て世帯が住んでみてよかったこと 住まいの環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
土地の価格	32	20.0%
住宅購入の価格	19	11.9%
住宅の条件(広さ・間取り・ペット可の物件)	22	13.8%
家賃の価格	21	13.1%
周辺の住環境(まち並み・雰囲気)	57	35.6%
住宅関連支援制度	2	1.3%
住みたい住宅物件の有無	3	1.9%
空き家の有無	2	1.3%
学区のエリア	33	20.6%
特になし	39	24.4%
その他	11	6.9%
回答総数	241	-
回答者数	151	-



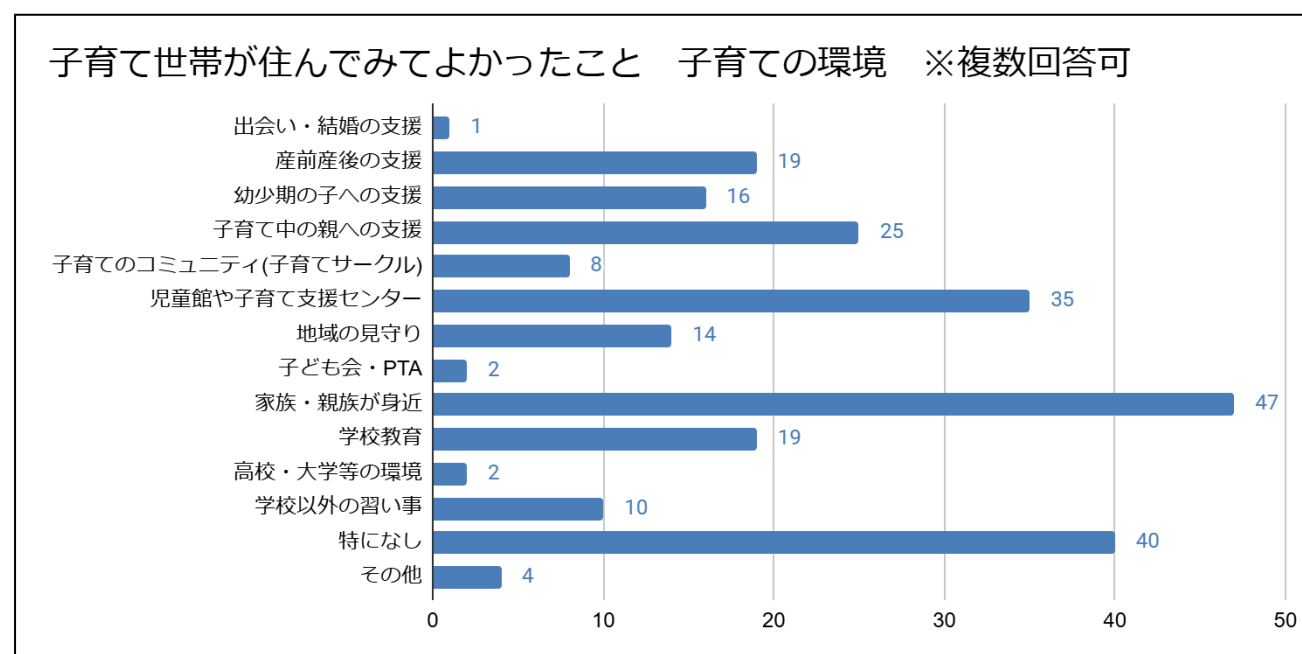
②日常生活の環境(問4.(子育て世帯)× 問31.)

子育て世帯が住んでみてよかったこと 日常生活の環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
商店街	4	2.5%
日用品の買い物先	72	45.0%
デパート・ショッピングセンター	19	11.9%
生活コスト	22	13.8%
公共施設(図書館・文化会館・スポーツ施設など)	26	16.3%
インフラ(道路・公園・下水道など)	25	15.6%
公共交通(鉄道、バス)	12	7.5%
市外へのアクセス(新幹線・高速道路)	52	32.5%
医療・介護・福祉の関連サービス・施設	11	6.9%
特になし	35	21.9%
その他	3	1.9%
回答総数	281	-
回答者数	151	-



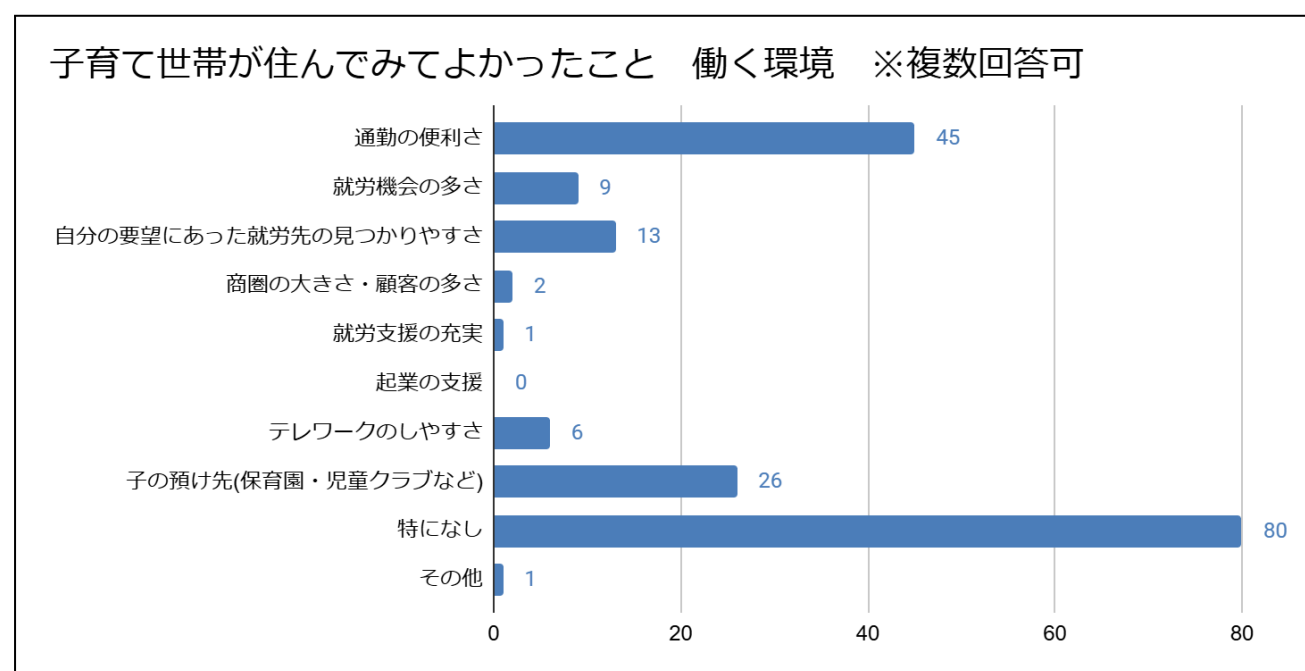
③子育て環境(問4.(子育て世帯)× 問32.)

子育て世帯が住んでみてよかったこと 子育ての環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
出会い・結婚の支援	1	0.6%
産前産後の支援	19	11.9%
幼少期の子への支援	16	10.0%
子育て中の親への支援	25	15.6%
子育てのコミュニティ(子育てサークル)	8	5.0%
児童館や子育て支援センター	35	21.9%
地域の見守り	14	8.8%
子ども会・PTA	2	1.3%
家族・親族が身近	47	29.4%
学校教育	19	11.9%
高校・大学等の環境	2	1.3%
学校以外の習い事	10	6.3%
特になし	40	25.0%
その他	4	2.5%
回答総数	206	-
回答者数	151	-



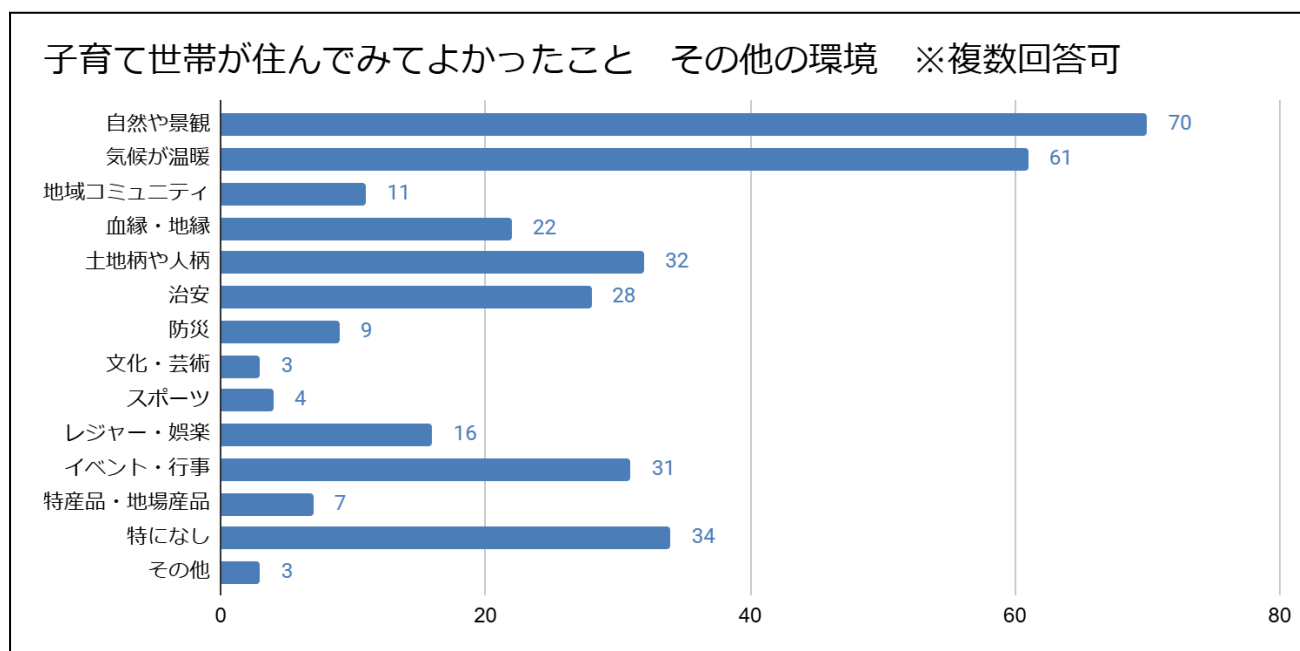
④働く環境(問4.(子育て世帯)×問33.)

子育て世帯が住んでみてよかったこと 働く環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
通勤の便利さ	45	28.1%
就労機会の多さ	9	5.6%
自分の要望にあった就労先の見つけやすさ	13	8.1%
商圏の大きさ・顧客の多さ	2	1.3%
就労支援の充実	1	0.6%
起業の支援	0	0.0%
テレワークのしやすさ	6	3.8%
子の預け先(保育園・児童クラブなど)	26	16.3%
特になし	80	50.0%
その他	1	0.6%
回答総数	183	-
回答者数	151	-



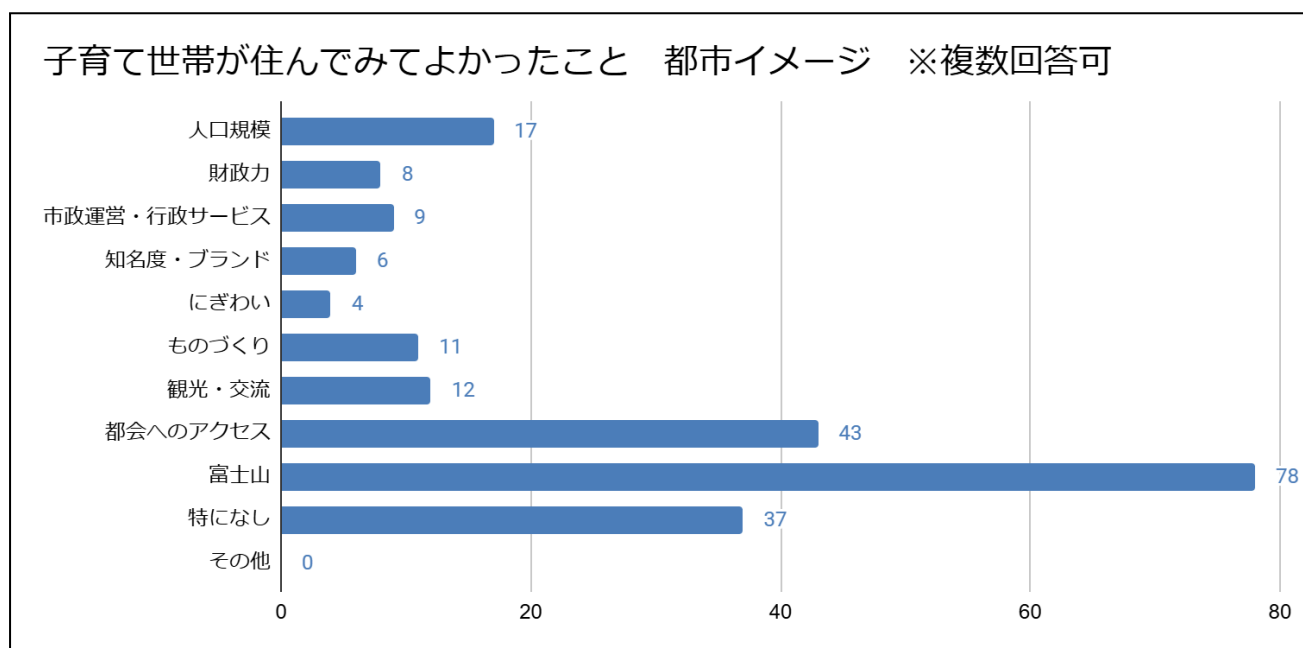
⑤その他の環境(問4.(子育て世帯)× 問34.)

子育て世帯が住んでみてよかったこと その他の環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
自然や景観	70	43.8%
気候が温暖	61	38.1%
地域コミュニティ	11	6.9%
血縁・地縁	22	13.8%
土地柄や人柄	32	20.0%
治安	28	17.5%
防災	9	5.6%
文化・芸術	3	1.9%
スポーツ	4	2.5%
レジャー・娯楽	16	10.0%
イベント・行事	31	19.4%
特産品・地場産品	7	4.4%
特になし	34	21.3%
その他	3	1.9%
回答総数	189	-
回答者数	151	-



⑥都市イメージ(問4.(子育て世帯)× 問35.)

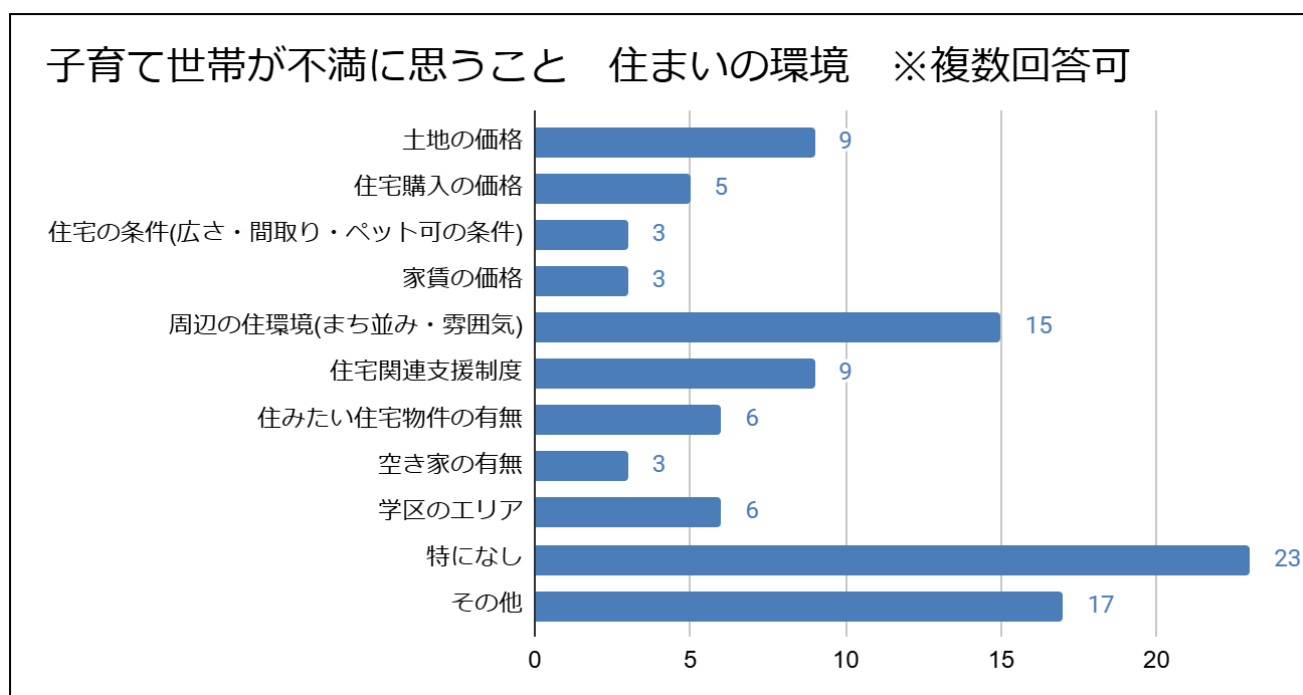
子育て世帯が住んでみてよかったこと 都市イメージ ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
人口規模	17	10.6%
財政力	8	5.0%
市政運営・行政サービス	9	5.6%
知名度・ブランド	6	3.8%
にぎわい	4	2.5%
ものづくり	11	6.9%
観光・交流	12	7.5%
都会へのアクセス	43	26.9%
富士山	78	48.8%
特になし	37	23.1%
その他	0	0.0%
回答総数	225	-
回答者数	151	-



(6)子育て世帯が不満に思うこと

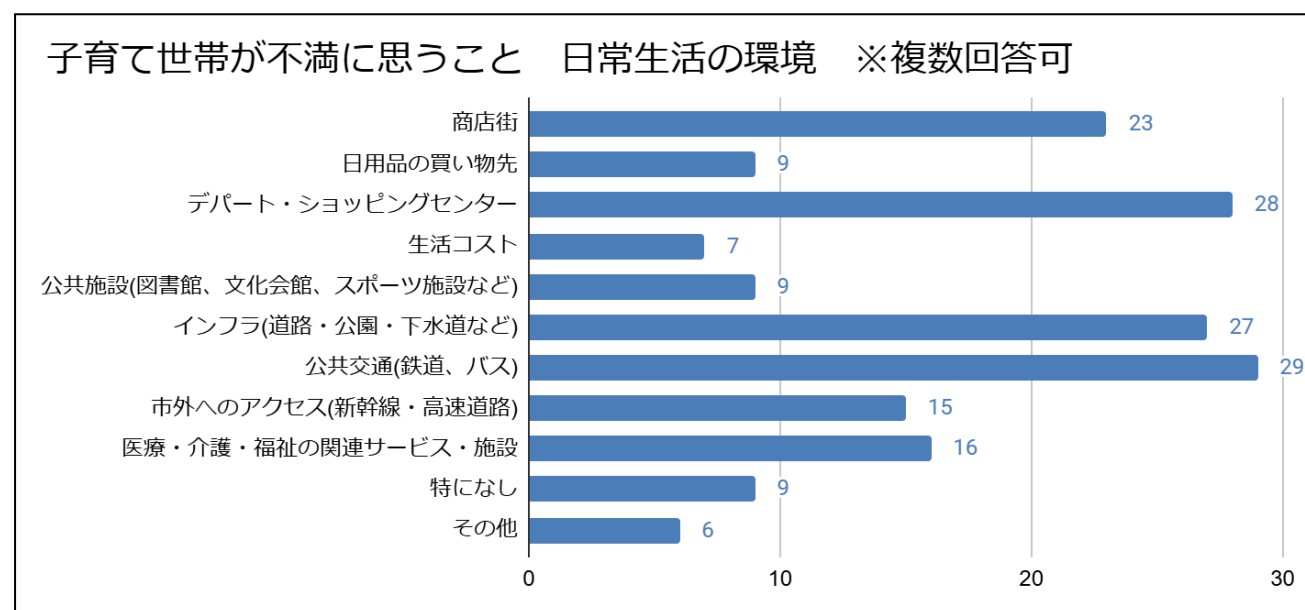
①住まいの環境 (問4.(子育て世帯)× 問37.)

子育て世帯が不満に思うこと 住まいの環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
土地の価格	9	13.6%
住宅購入の価格	5	7.6%
住宅の条件(広さ・間取り・ペット可の条件)	3	4.5%
家賃の価格	3	4.5%
周辺の住環境(まち並み・雰囲気)	15	22.7%
住宅関連支援制度	9	13.6%
住みたい住宅物件の有無	6	9.1%
空き家の有無	3	4.5%
学区のエリア	6	9.1%
特になし	23	34.8%
その他	17	25.8%
回答総数	99	-
回答者数	66	-



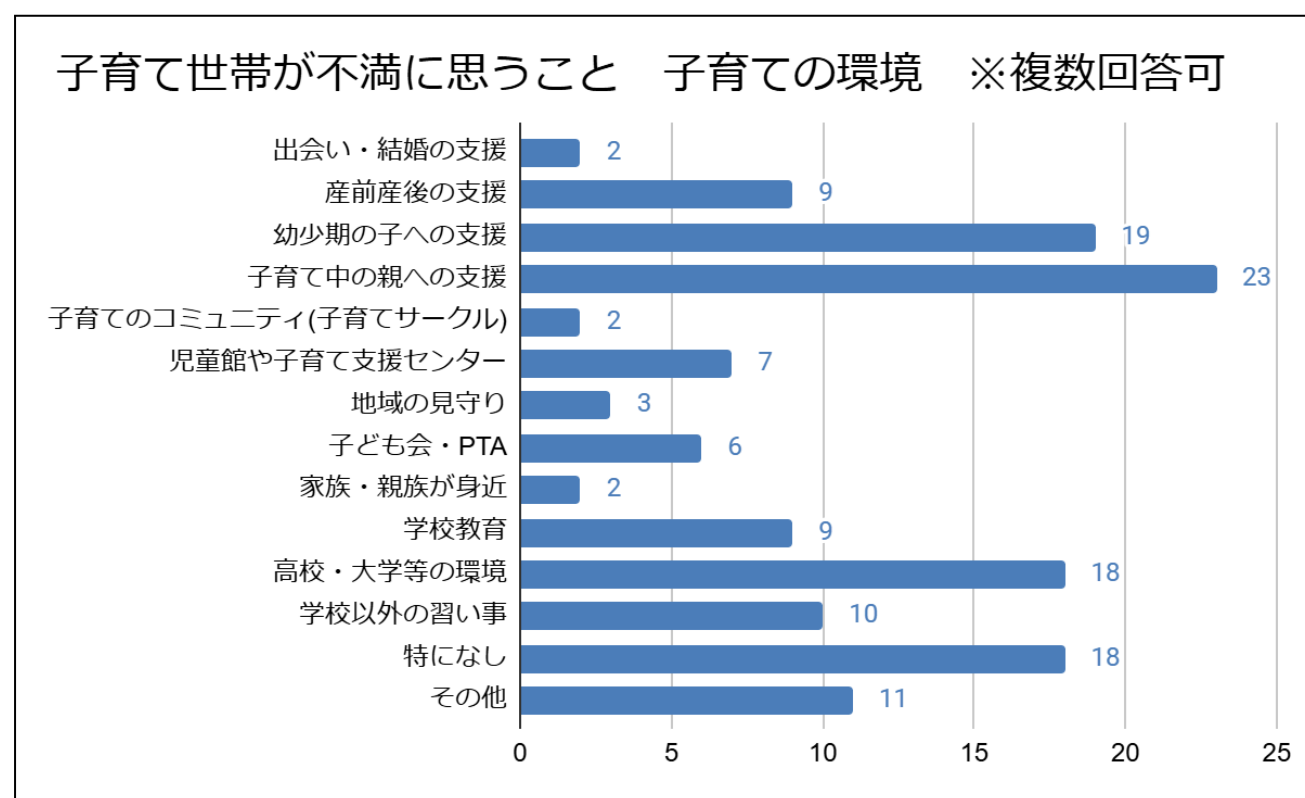
②日常生活の環境(問4.(子育て世帯)× 問38.)

子育て世帯が不満に思うこと 日常生活の環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
商店街	23	34.8%
日用品の買い物先	9	13.6%
デパート・ショッピングセンター	28	42.4%
生活コスト	7	10.6%
公共施設(図書館、文化会館、スポーツ施設など)	9	13.6%
インフラ(道路・公園・下水道など)	27	40.9%
公共交通(鉄道、バス)	29	43.9%
市外へのアクセス(新幹線・高速道路)	15	22.7%
医療・介護・福祉の関連サービス・施設	16	24.2%
特になし	9	13.6%
その他	6	9.1%
回答総数	178	-
回答者数	66	-



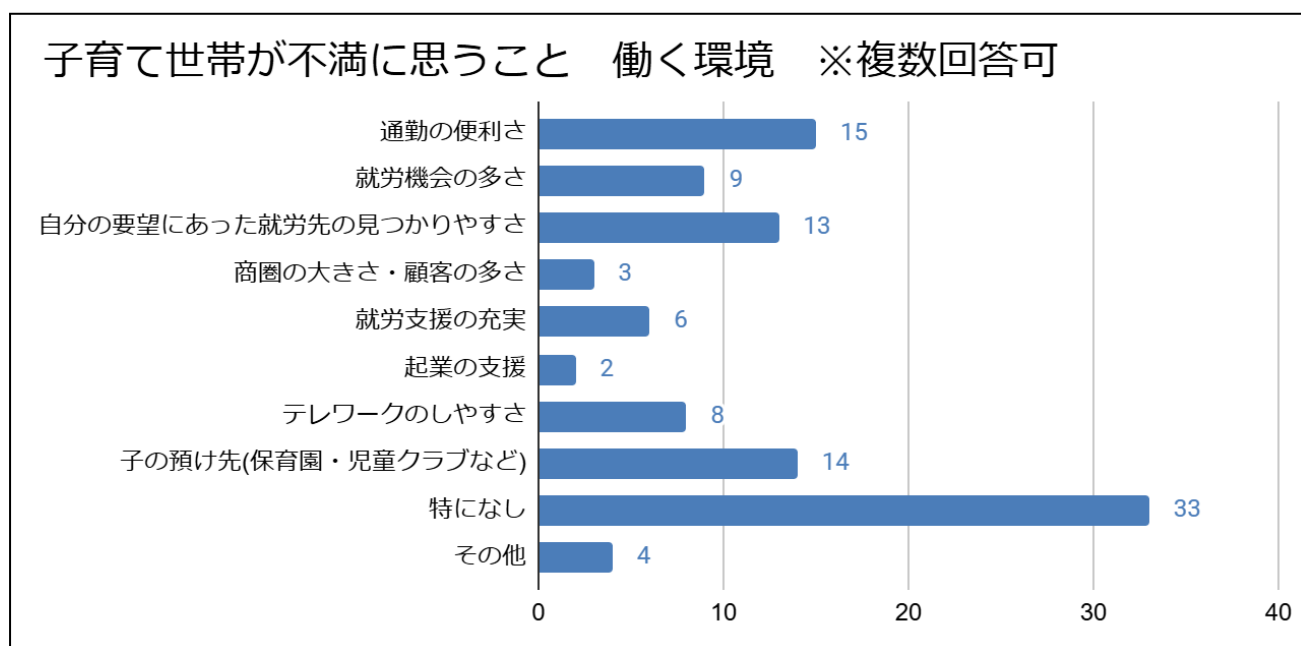
③子育て環境(問4.(子育て世帯)× 問39.)

子育て世帯が不満に思うこと 子育ての環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
出会い・結婚の支援	2	3.0%
産前産後の支援	9	13.6%
幼少期の子への支援	19	28.8%
子育て中の親への支援	23	34.8%
子育てのコミュニティ(子育てサークル)	2	3.0%
児童館や子育て支援センター	7	10.6%
地域の見守り	3	4.5%
子ども会・PTA	6	9.1%
家族・親族が身近	2	3.0%
学校教育	9	13.6%
高校・大学等の環境	18	27.3%
学校以外の習い事	10	15.2%
特になし	18	27.3%
その他	11	16.7%
回答総数	139	-
回答者数	66	-



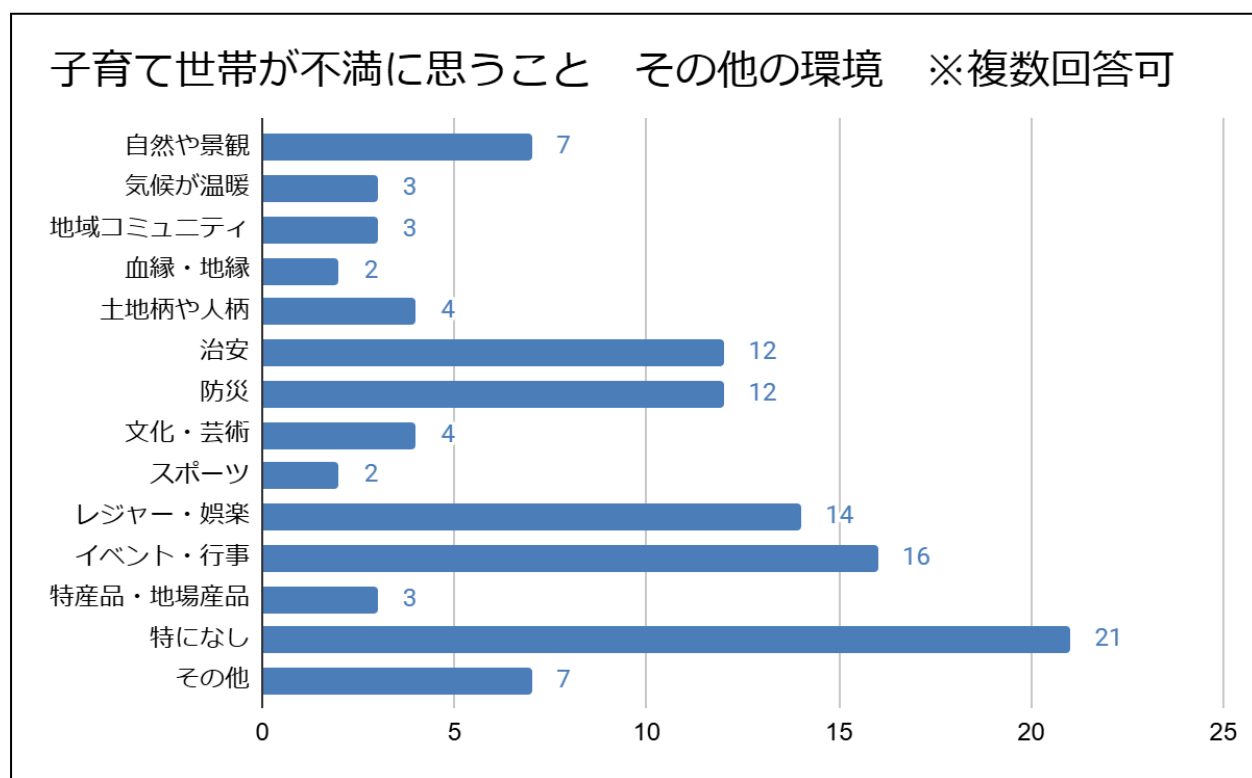
④働く環境(問4.(子育て世帯)× 問40.)

子育て世帯が不満に思うこと 働く環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
通勤の便利さ	15	22.7%
就労機会の多さ	9	13.6%
自分の要望にあった就労先の見つけやすさ	13	19.7%
商圏の大きさ・顧客の多さ	3	4.5%
就労支援の充実	6	9.1%
起業の支援	2	3.0%
テレワークのしやすさ	8	12.1%
子の預け先(保育園・児童クラブなど)	14	21.2%
特になし	33	50.0%
その他	4	6.1%
回答総数	107	-
回答者数	66	-



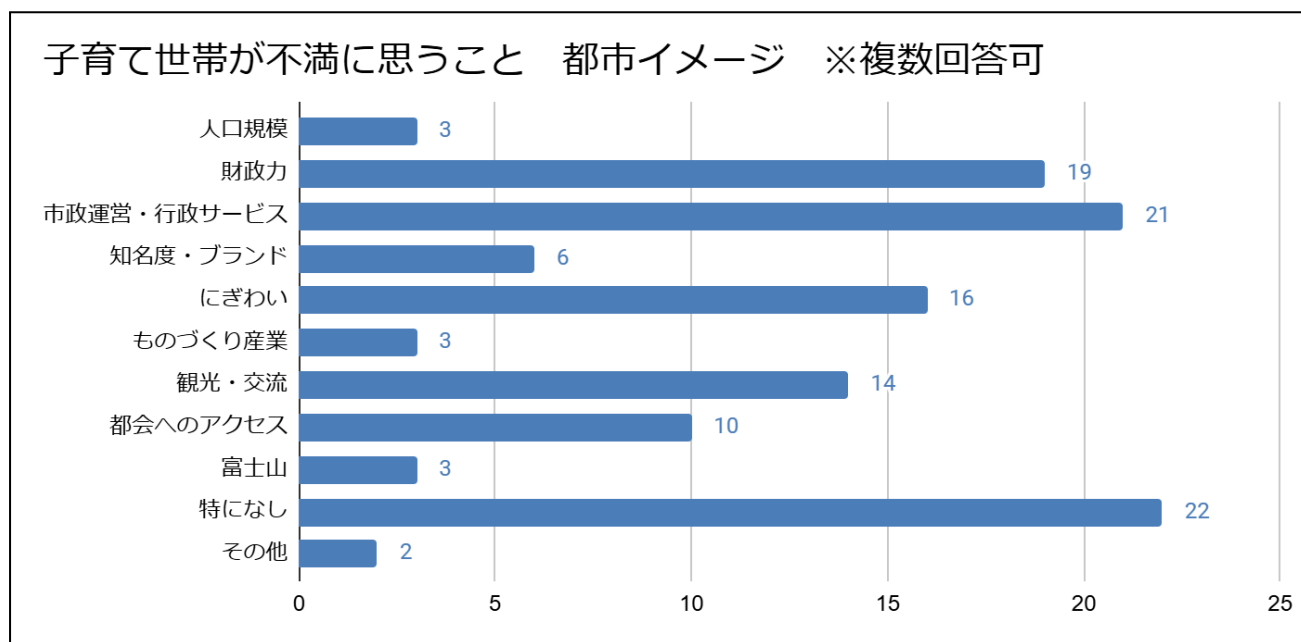
⑤その他の環境(問4.(子育て世帯)× 問41.)

子育て世帯が不満に思うこと その他の環境 ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
自然や景観	7	10.6%
気候が温暖	3	4.5%
地域コミュニティ	3	4.5%
血縁・地縁	2	3.0%
土地柄や人柄	4	6.1%
治安	12	18.2%
防災	12	18.2%
文化・芸術	4	6.1%
スポーツ	2	3.0%
レジャー・娯楽	14	21.2%
イベント・行事	16	24.2%
特産品・地場産品	3	4.5%
特になし	21	31.8%
その他	7	10.6%
回答総数	110	-
回答者数	66	-



⑥都市イメージ(問4.(子育て世帯)× 問42.)

子育て世帯が不満に思うこと 都市イメージ ※複数回答可	回答数	割合(回答者数)
人口規模	3	4.5%
財政力	19	28.8%
市政運営・行政サービス	21	31.8%
知名度・ブランド	6	9.1%
にぎわい	16	24.2%
ものづくり産業	3	4.5%
観光・交流	14	21.2%
都会へのアクセス	10	15.2%
富士山	3	4.5%
特になし	22	33.3%
その他	2	3.0%
回答総数	119	-
回答者数	66	-

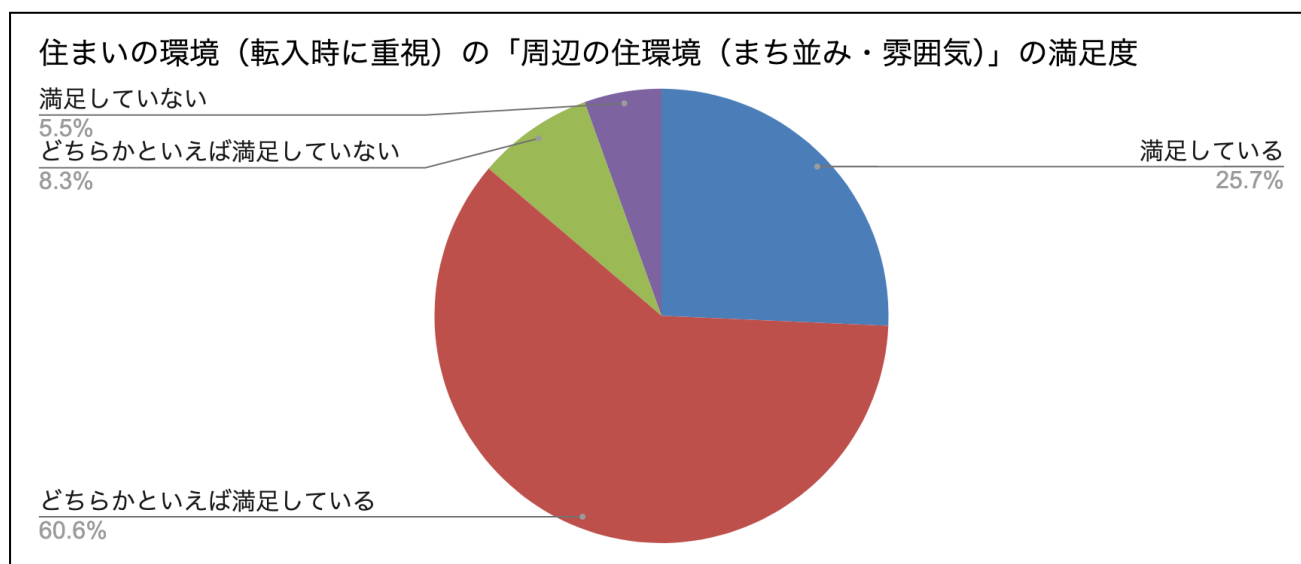


4.その他

(1) 転入時に重視していた項目と満足度の関係

①「周辺の住環境を重視」していた人の暮らしの満足度(問12×問26)

住まいの環境(転入時に重視)の「周辺の住環境(まち並み・雰囲気)」	回答数	割合
満足している	28	25.7%
どちらかといえば満足している	66	60.6%
どちらかといえば満足していない	9	8.3%
満足していない	6	5.5%
総計	109	-



▼解説

「どちらかといえば満足している」が66件(60.6%)で最も多く、次いで「満足している」が28件(25.7%)となっている。

▼考察

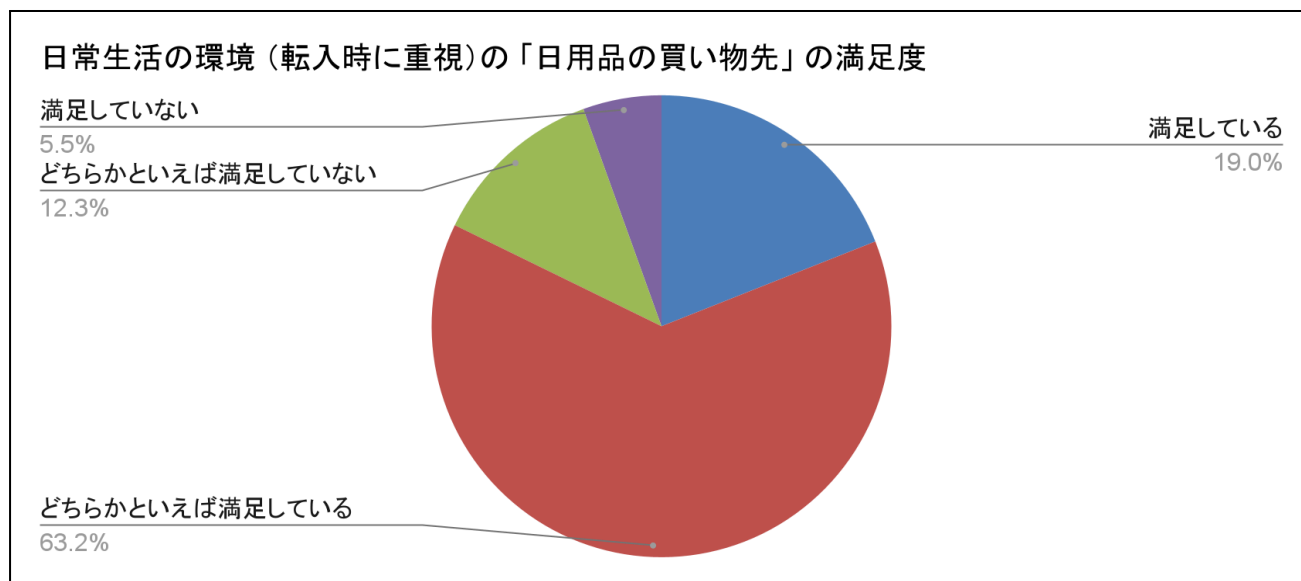
肯定的な回答(満足・どちらかといえば満足)を合計86.3%がしている。転入後の住環境に対して好意的な評価をしていることが分かる。

一方で、合わせて13.8%の人が満足していない、またはどちらかといえば満足していないと回答し、一定数の不満も存在する。

全体の約6割が「どちらかといえば満足している」と回答していることから、転入者の多くが住環境に対して一定の満足を感じつつも、何かしら改善や配慮の余地を感じていることが伺える。

②「日用品の買い物先を重視」していた人の暮らしの満足度(問13×問26)

日常生活の環境（転入時に重視）の「日用品の買い物先」	回答数	割合
満足している	31	19.0%
どちらかといえば満足している	103	63.2%
どちらかといえば満足していない	20	12.3%
満足していない	9	5.5%
回答総数	163	-



▼解説

「どちらかといえば満足している」が103件(63.2%)で最も多く、次いで「満足している」が31件(19.0%)となっている。

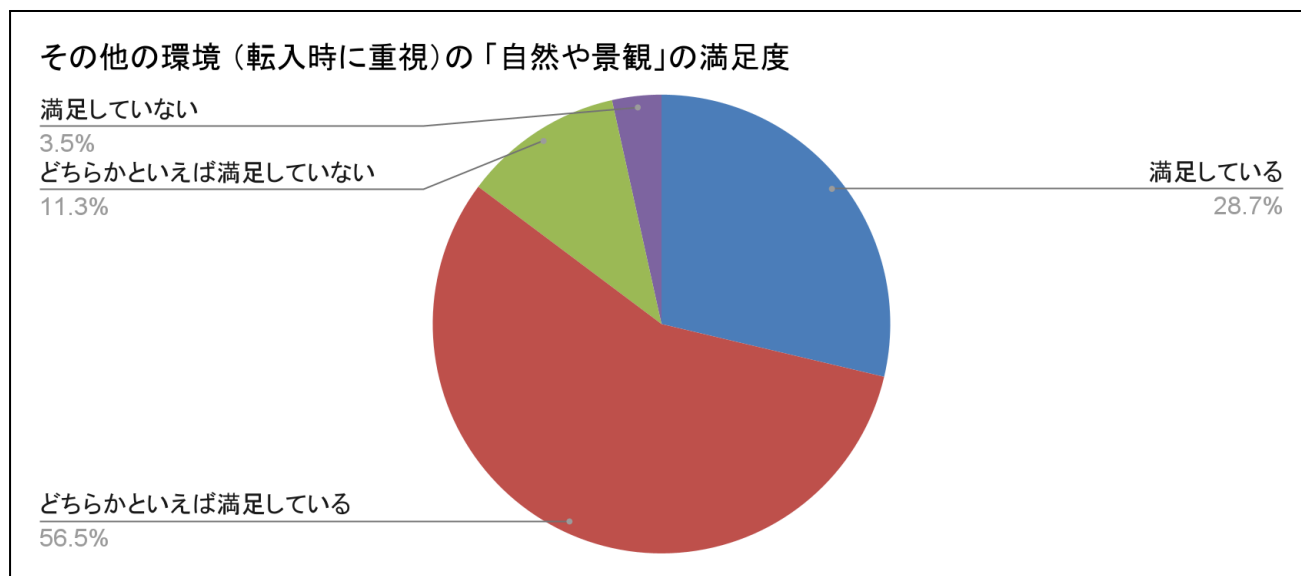
▼考察

肯定的な回答(満足・どちらかといえば満足)を合計82.2%がしている。転入時に日用品の買い物先の利便性や環境を重視した人の大半が、引っ越し先での買い物環境に満足していることを示唆している。多くの人が満足を感じるのは、重視した買い物環境が実際の生活で役立っていることを意味している。

一方で、合わせて17.8%の人が満足していない、またはどちらかといえば満足していないと回答している。

③「自然や景観を重視」していた人の暮らしの満足度(問16×問26)

その他の環境（転入時に重視）の「自然や景観」	回答数	割合
満足している	33	28.7%
どちらかといえば満足している	65	56.5%
どちらかといえば満足していない	13	11.3%
満足していない	4	3.5%
総計	115	-



▼解説

「どちらかといえば満足している」が65件(56.5%)で最も多く、次いで「満足している」が33件(28.7%)となっている。

▼考察

肯定的な回答(満足・どちらかといえば満足)を合計85.2%がしている。自然や景観に関しては一定の満足を得ていることがわかる。

一方で、合わせて14.8%の人が満足していない、またはどちらかといえば満足していないと回答している。

富士市

転入者アンケート調査 結果報告書

令和6年(2024年)12月

富士市 総務部 シティプロモーション課 移住定住推進室

〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地

電話: (0545) 55-2930

メールアドレス: kurasu@div.city.fuji.shizuoka.jp